

# 農業者アンケート調査報告書

令和4年7月  
川越市

## 目 次

1 川越市の農業に関する農業者アンケート概要 .....	1
2 調査結果 .....	2
あなたとご家族についてお伺いします。.....	2
農業経営の状況についてお伺いします。.....	6
地産地消の取り組みについてお伺いします。.....	29
農産物のブランド化・環境保全型農業についてお伺いします。.....	37
農業の担い手についてお伺いします。.....	42
農地についてお伺いします。.....	47
生産緑地についてお伺いします。.....	55
農業従事者以外の方々との交流についてお伺いします。.....	58
市の施策について.....	62

# 1 川越市の農業に関する農業者アンケート概要

## (1) 調査の目的

川越市における農業施策の指針となる「川越市農業振興計画」の策定に向け、川越市の 農業・農産物に対して広くご意見を伺い、計画を定めるにあたっての参考とするため、アンケート調査を実施しました。

## (2) アンケート調査の概要

調査場所	川越市全域
対象	農業者 4,017 人
調査方法	川越市内に 10 a 以上の農地を所有する方を抽出
実施方法	郵送による配布、郵送及び WEB による回収
実施期間	令和 4 年 6 月 20 日～7 月 25 日
有効回収	1,412 (内 WEB 84 件)
有効回収率	35.2%

## (3) 集計上の留意点

- ①調査結果の比率はその設問の回答者数を母数 (N) として、小数第 2 位を四捨五入して算出しています。そのため、比率については、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合や加減の結果が一致しない場合もあります。
- ②複数回答形式の場合、回答比率の合計は 100%を超えます。

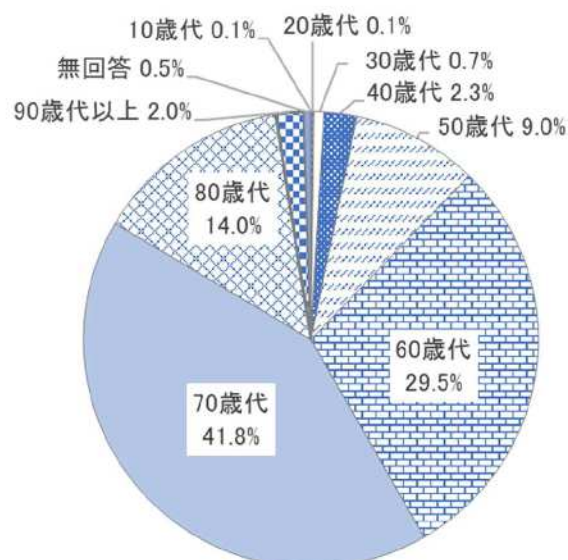
## 2 調査結果

### あなたとご家族についてお伺いします。

#### 問1 あなたの年齢はおいくつですか。(1つに○)

年齢では、「70歳代」が41.8%と最も多く、次いで「60歳代」が29.5%、「80歳代」が14.0%となっています。

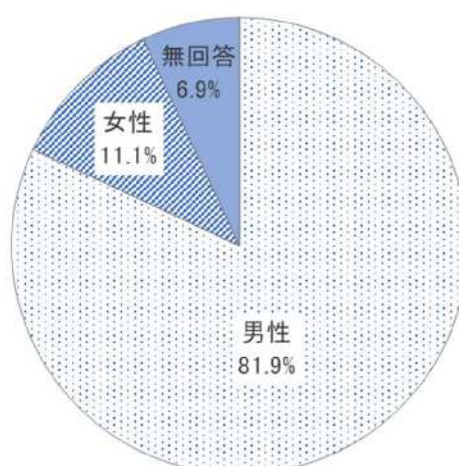
年齢	回答数	割合(%)
10歳代	1	0.1%
20歳代	2	0.1%
30歳代	10	0.7%
40歳代	33	2.3%
50歳代	127	9.0%
60歳代	416	29.5%
70歳代	590	41.8%
80歳代	198	14.0%
90歳代以上	28	2.0%
無回答	7	0.5%
回答者数	1,412	100.0%



#### 問2 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

性別では、「男性」が81.9%、「女性」が11.1%となっています。

性別	回答数	割合(%)
男性	1157	81.9%
女性	157	11.1%
無回答	98	6.9%
回答者数	1,412	100.0%





### 問3 お住まいの地区をお答えください。(1つに○)

お住まいの地区では、「福原地区」が12.9%と最も多く、次いで「本庁地区」が11.6%、「芳野地区」が11.4%となっています。

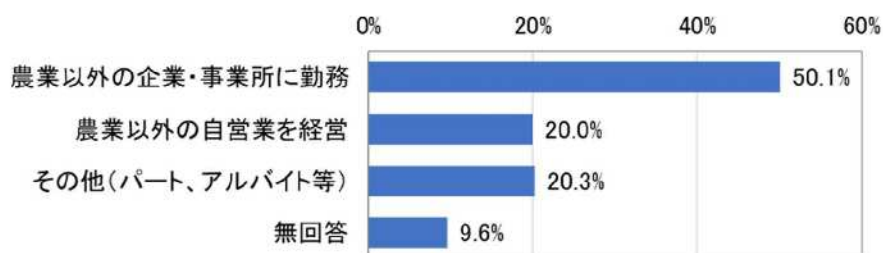
居住地区	回答数	割合(%)
福原地区	182	12.9%
本庁地区	164	11.6%
芳野地区	161	11.4%
大東地区	156	11.0%
古谷地区	149	10.6%
南古谷地区	145	10.3%
名細地区	132	9.3%
霞ヶ関地区	123	8.7%
山田地区	93	6.6%
高階地区	82	5.8%
霞ヶ関北地区	5	0.4%
川鶴地区	4	0.3%
市外	3	0.2%
無回答	13	0.9%
回答者数	1,412	100.0%



### 問4 あなたとあなたのご家族のうち農業以外の産業への就業の状況についてお教えください。(あてはまるものすべてに○をつけ、人数を記入してください)

農業以外の産業への就業の状況については、「農業以外の企業・事業所に勤務」が50.1%、「農業以外の自営業を経営」が20.0%、「その他(パート、アルバイト等)」が20.3%となっています。

家族の農業以外の就業状況	回答数	割合(%)
農業以外の企業・事業所に勤務	708	50.1%
農業以外の自営業を経営	282	20.0%
その他(パート、アルバイト等)	286	20.3%
無回答	136	9.6%
回答者数	1,412	



### 【農業以外の企業・事業所に勤務の人数】

農業以外の企業・事業所へ勤務している人数では、「1人」が28.3%と最も多く、次いで「2人」が14.6%となっています。

農業以外の企業・事業所に勤務	回答数	割合(%)
1人	400	28.3%
2人	206	14.6%
3人	51	3.6%
4人以上	11	0.8%
無回答	40	2.8%
回答者数	708	50.1%

### 【農業以外の自営業を経営の人数】

農業以外の自営業を経営している人数では、「1人」が10.7%と最も多くなっています。

農業以外の自営業を経営	回答数	割合(%)
1人	151	10.7%
2人	68	4.8%
3人	24	1.7%
4人以上	3	0.2%
無回答	36	2.5%
回答者数	282	20.0%

### 【その他(パート、アルバイト等)の人数】

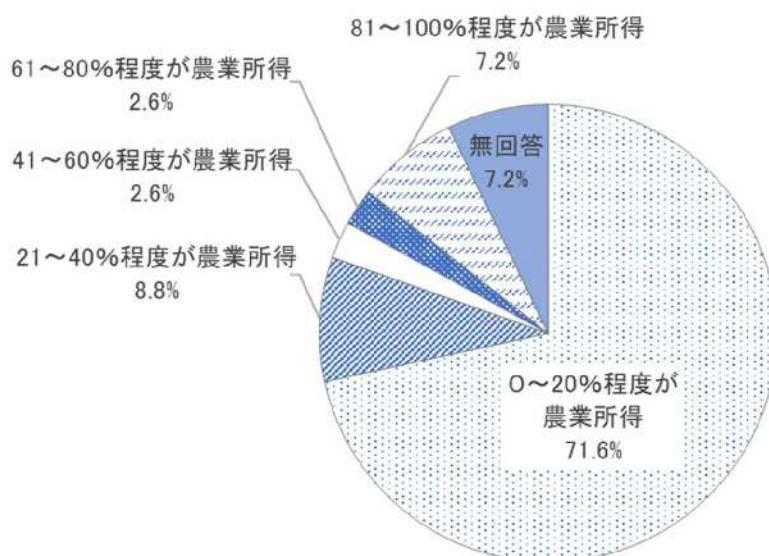
その他(パート、アルバイト等)の人数では、「1人」が14.9%と最も多くなっています。

その他(パート、アルバイト等)	回答数	割合(%)
1人	211	14.9%
2人	41	2.9%
3人	6	0.4%
4人以上	0	0.0%
無回答	28	2.0%
回答者数	286	20.3%

問5 あなたとあなたのご家族の全収入のうち、農業所得が占める割合を教えてください。

家族の全収入のうち、農業所得が占める割合では、「0～20%程度が農業所得」が71.6%と最も多く、次いで「21～40%程度が農業所得」が8.8%となっています。

農業所得が占める割合	回答数	割合(%)
0～20%程度が農業所得	1011	71.6%
21～40%程度が農業所得	124	8.8%
41～60%程度が農業所得	37	2.6%
61～80%程度が農業所得	37	2.6%
81～100%程度が農業所得	102	7.2%
無回答	101	7.2%
回答者数	1,412	100.0%

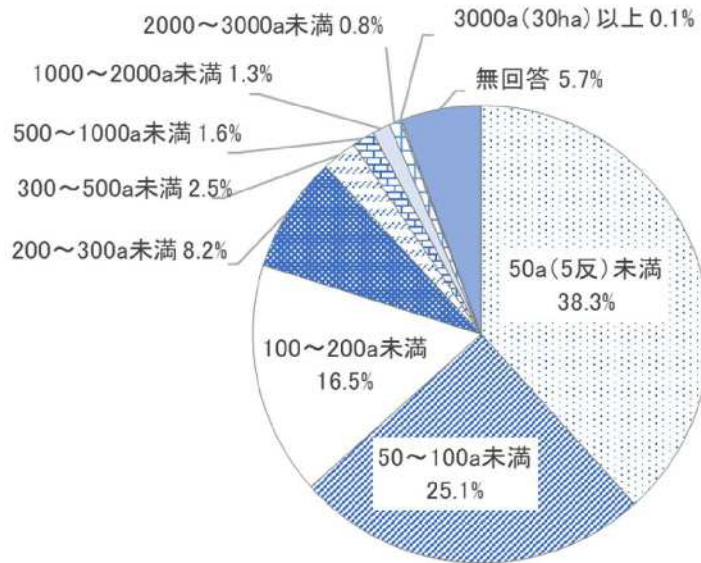


## 農業経営の状況についてお伺いします。

問6 あなたの農業経営規模（農地面積）をお教えてください（借入れ農地を含む）。（1つに○）（注）1反は10aとしてください。

農業経営規模（農地面積）では、「50a（5反）未満」が38.3%と最も多く、次いで「50～100a未満」が25.1%、「100～200a未満」が16.5%となっています。

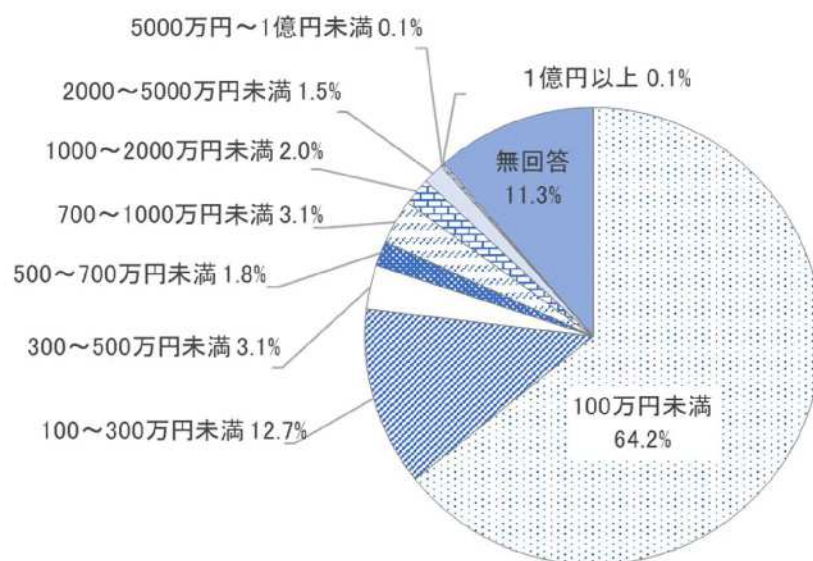
経営面積	回答数	割合(%)
50a(5反)未満	541	38.3%
50～100a未満	354	25.1%
100～200a未満	233	16.5%
200～300a未満	116	8.2%
300～500a未満	35	2.5%
500～1000a未満	22	1.6%
1000～2000a未満	18	1.3%
2000～3000a未満	11	0.8%
3000a(30ha)以上	2	0.1%
無回答	80	5.7%
回答者数	1,412	100.0%



問7 あなたの年間の農業収入について教えてください。(1つに○)

農業収入では、「100万円未満」が64.2%と最も多く、次いで「100～300万円未満」が12.7%、「300～500万円未満」、「700～1000万円未満」がともに3.1%となっています。

農業収入	回答数	割合(%)
100万円未満	907	64.2%
100～300万円未満	179	12.7%
300～500万円未満	44	3.1%
500～700万円未満	25	1.8%
700～1000万円未満	44	3.1%
1000～2000万円未満	28	2.0%
2000～5000万円未満	21	1.5%
5000万円～1億円未満	2	0.1%
1億円以上	2	0.1%
無回答	160	11.3%
回答者数	1,412	100.0%

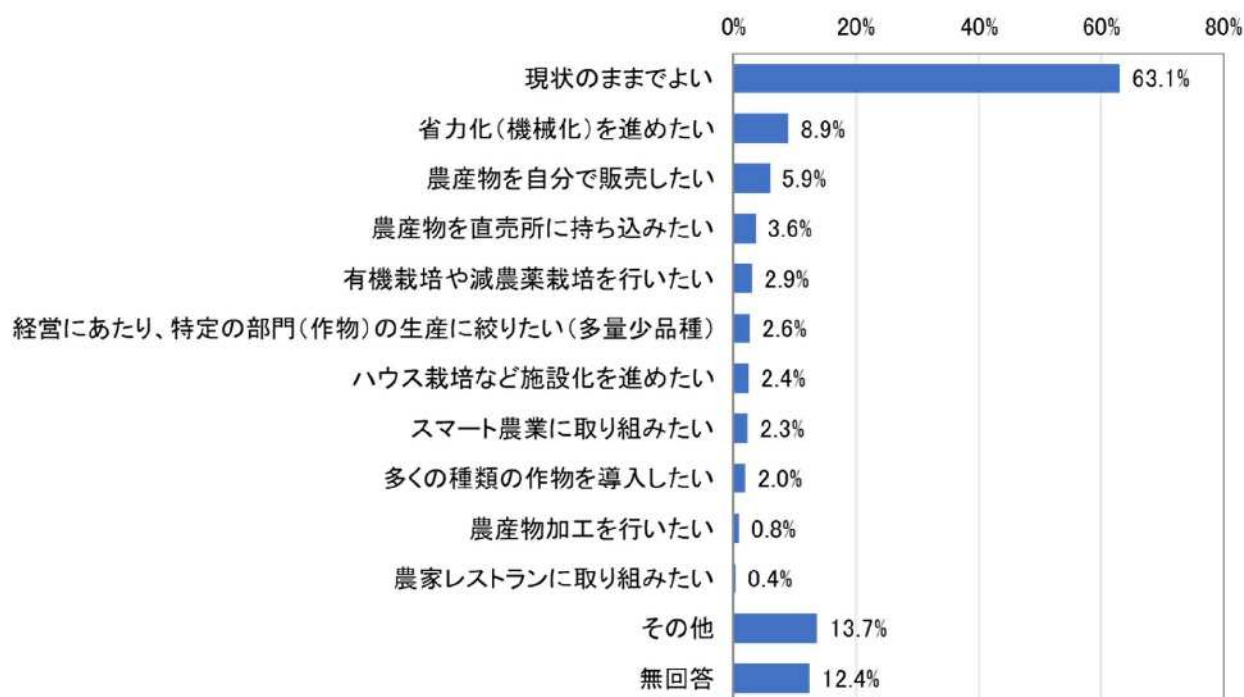




問8 今後の農業経営について、どのようにしていきたいと考えますか。(3つまで○)

今後の農業経営では、「現状のままでよい」が 63.1%と最も多く、次いで「省力化（機械化）を進めたい」が 8.9%、「農産物を自分で販売したい」が 5.9%となっています。

今後の農業経営	回答数	割合(%)
現状のままでよい	891	63.1%
省力化(機械化)を進めたい	126	8.9%
農産物を自分で販売したい	84	5.9%
農産物を直売所に持ち込みたい	51	3.6%
有機栽培や減農薬栽培を行いたい	41	2.9%
経営にあたり、特定の部門(作物)の生産に絞りたい(多量少品種)	37	2.6%
ハウス栽培など施設化を進めたい	34	2.4%
スマート農業に取り組みたい	32	2.3%
多くの種類の作物を導入したい	28	2.0%
農産物加工を行いたい	12	0.8%
農家レストランに取り組みたい	5	0.4%
その他	193	13.7%
無回答	175	12.4%
回答者数	1,412	



## その他の回答

- ・ 農業をやめたい。(33 件)
  - ・ 廃業したい。(7 件)
  - ・ 農地を売りたい。(4 件)
  - ・ 田畑を処分したい (3 件)
  - ・ 撤退、今年からやめる。
  - ・ 次世代に迷惑かけないよう離農したい。
  - ・ 未定だが自分の代で終了することになるだろう。
  - ・ 廃業、農機具を購入する経済力なし。体力なし。
  - ・ 家族用のため該当しない。考えていない。やめたい。
  - ・ 田、畑売却したい。現在友人に貸しているが、今後何年出来るか心配。
  - ・ 年齢的に拡大や投資は考えられない、止める事を前提とした考え。
- 
- ・ 縮小したい。(11 件)
  - ・ 徐々に縮小する。(2 件)
  - ・ 減反を進める。
  - ・ 減反したい。
  - ・ 米農業には希望が持てない。規模縮小していく。
  - ・ 機械の老朽化と体力低下に伴って縮小していく。
  - ・ 賃貸
- 
- ・ 委託したい (3 件)
  - ・ 農地を貸したい。(2 件)
  - ・ 長男に任せる。
  - ・ 農地の借り手があれば農業経営から撤退したい。
  - ・ 遊休地(田)を貸したい。
  - ・ 土地はなかなか手離せないで、安心して貸せる組織が好ましい。
  - ・ 後期高齢。今後できれば周辺が農地予定の為、耕作放棄地になる前に貸したい。
  - ・ 無償で良いので耕作をして貰いたい。
  - ・ 野菜、米づくりなどをしたい人に借りてもらいたい。
  - ・ 現在、田は耕作を依頼し、自宅脇の畑以外は休耕地。
  - ・ 畑・自家用野菜。田は貸したい。
  - ・ 私共は 20a 未満なので企業農家などに委託したい。
- 
- ・ 耕作、管理地を 150a 位にしたい。
  - ・ 耕地拡大
  - ・ 地域の農業者の実状を考慮の上、経営総合も視野に大規模稲作経営を目指す。
  - ・ 利益率を上げるよう栽培管理、品種構成を考える。
  - ・ 米、野菜割合の検討。味の向上。売れる野菜の探求。
  - ・ 労働負荷の小さい作物に転換する。
  - ・ 集約化
  - ・ 農業の企業化
  - ・ 省力化の複数農家で行い、赤字経営から抜けたい。
  - ・ 直接販売
  - ・ 直売、精米所を作りたい。
  - ・ 「農産物を自分で販売したい」と「農産物を直売所に持ち込みたい」は定年してから行ってみたい。
  - ・ 現在の米作地域は生活インフラが整備されていないため、高齢者は大変なので事業ではなく開発を考えている。

- ・ 自家消費（5件）
- ・ 「現状のままでよい」については年金がすべて。農業は自宅で食べる。
- ・ 家族だけの食料、子供たち3家族
- ・ 自家用の野菜と草花を作っている年金生活者
- ・ 農地が少ないので家庭菜園です。
  
- ・ 農業していません。（7件）、
- ・ 農業以外の土地活用で農業はしない。
- ・ 農業経営は考えていない。
- ・ 農業経営はしたくない。
- ・ 営農しておらず、他に有効な土地利用を考えたい。
- ・ 農地をできたら他の産業に利用したい。
- ・ 休耕状態なので何とも言えません。
  
- ・ 農業をする人がいない。（2件）
- ・ 後継者がいない。
- ・ 後継者がどの家にもおらず会社組織として取り組んでもらいたい。
- ・ 後10年もしたら何も出来なくなります。
- ・ 高齢になり大変になってきているので考え中です。
- ・ 年齢的にできない。
- ・ 体力、気力、家庭の状況により継続できないと考えます。
- ・ 労働力不足
- ・ 本人、障害1級ですが、納税猶予の農地のため頑張っているが、いつまでできるか。
- ・ 現状でよいと思っていないが、他の仕事があるので現状でやるしかない。
- ・ 米価、耕地の状況から、そして年齢から考えると現状から抜けられない。
  
- ・ 米の単価を上げてもらいたい。
- ・ 今後は、農業はだめです。
- ・ 全く衰退してしまう。
- ・ 定年以降に考えたい。
- ・ 国営農業、コンサルタント。
- ・ 本気、本業に夢を持っている人のみ、川越市の必要としている農地とし、他は住宅、工場等の用地として考えてく。
- ・ 養鶏業
- ・ 小、整理
- ・ 田んぼの維持だけから脱却したいと思う。
- ・ 市内のスーパーで直売としてすべて販売している。



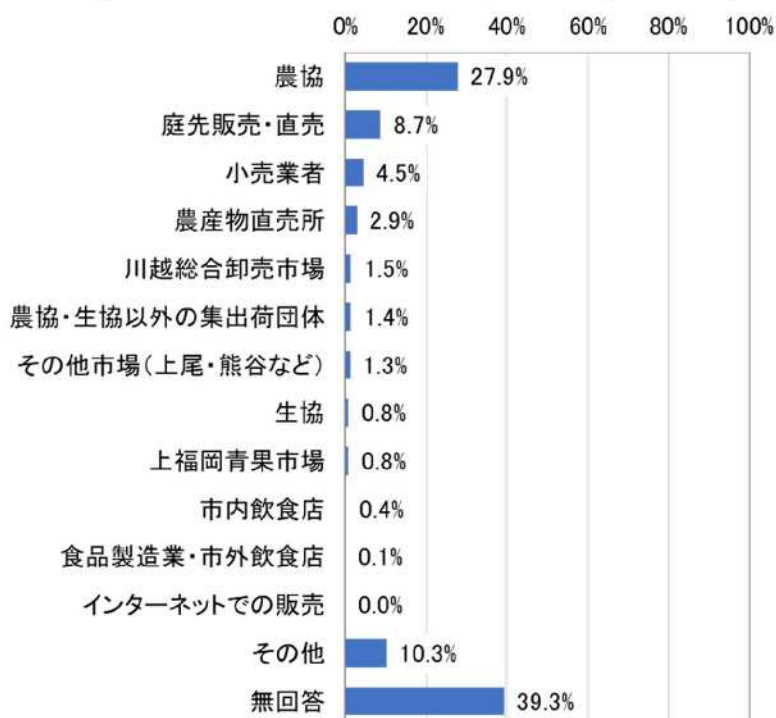
問9 あなたが生産している農産物の主な出荷先について以下の選択肢にある番号を記入してください。(多い順に3つまで記入) また、近年(5年間程度)売上げが増減した出荷先がありましたら、以下の選択肢にある番号を記入してください。(2つまで記入)

【農産物の主な出荷先】

1位

生産している農産物の出荷先が1位の回答では、「農協」が27.9%と最も多く、次いで「庭先販売・直売」が8.7%、「小売業者」が4.5%となっています。

出荷先	1位	
	回答数	割合(%)
農協	394	27.9%
庭先販売・直売	123	8.7%
小売業者	64	4.5%
農産物直売所	41	2.9%
川越総合卸売市場	21	1.5%
農協・生協以外の集出荷団体	20	1.4%
その他市場(上尾・熊谷など)	18	1.3%
生協	12	0.8%
上福岡青果市場	12	0.8%
市内飲食店	5	0.4%
食品製造業・市外飲食店	2	0.1%
インターネットでの販売	0	0.0%
その他	145	10.3%
無回答	555	39.3%
回答者数	1,412	100.0%



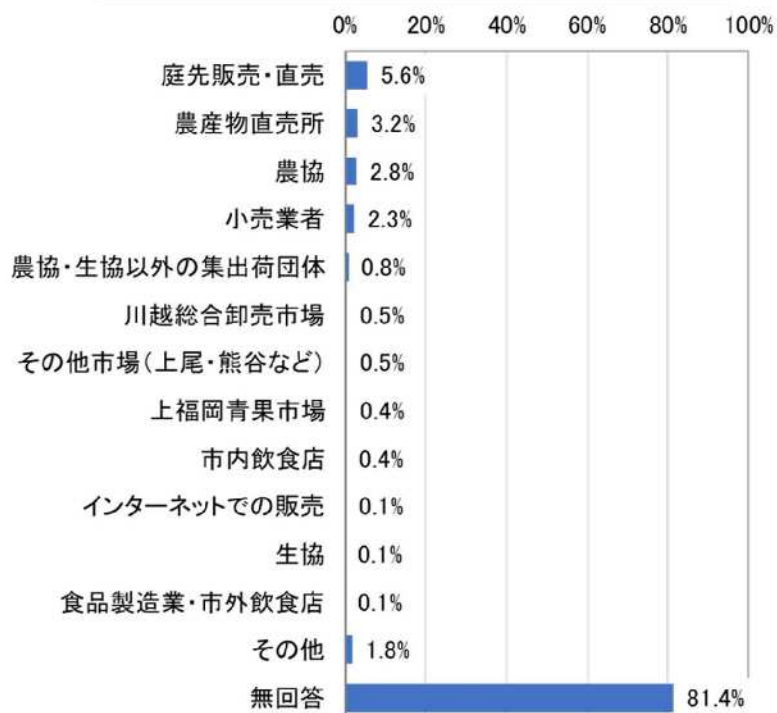
### **その他の回答**

- ・ 自家消費 (43 件)
- ・ 自宅用、家族、親戚にわかる。(8 件)
- ・ スーパーマーケット (2 件)
- ・ 浦和青果市場
- ・ 集荷業者
- ・ 自宅販売
- ・ 農協を経由してスーパーで直売
- ・ ひとり暮らしで不能です。
- ・ 不動産屋
- ・ 出荷していない。(39 件)
- ・ 友人、知人、隣近所 (8 件)
- ・ 芋掘りの観光
- ・ 豊島青果
- ・ 米直売
- ・ 友達への販売
- ・ 田畑は貸している。
- ・ 不労

## 2位

生産している農産物の出荷先が2位の回答では、「庭先販売・直売」が5.6%と最も多く、次いで「農産物直売所」が3.2%となっています。

出荷先	2位	
	回答数	割合(%)
庭先販売・直売	79	5.6%
農産物直売所	45	3.2%
農協	40	2.8%
小売業者	33	2.3%
農協・生協以外の集出荷団体	12	0.8%
川越総合卸売市場	7	0.5%
その他市場(上尾・熊谷など)	7	0.5%
上福岡青果市場	6	0.4%
市内飲食店	5	0.4%
インターネットでの販売	2	0.1%
生協	1	0.1%
食品製造業・市外飲食店	1	0.1%
その他	25	1.8%
無回答	1149	81.4%
回答者数	1,412	100.0%



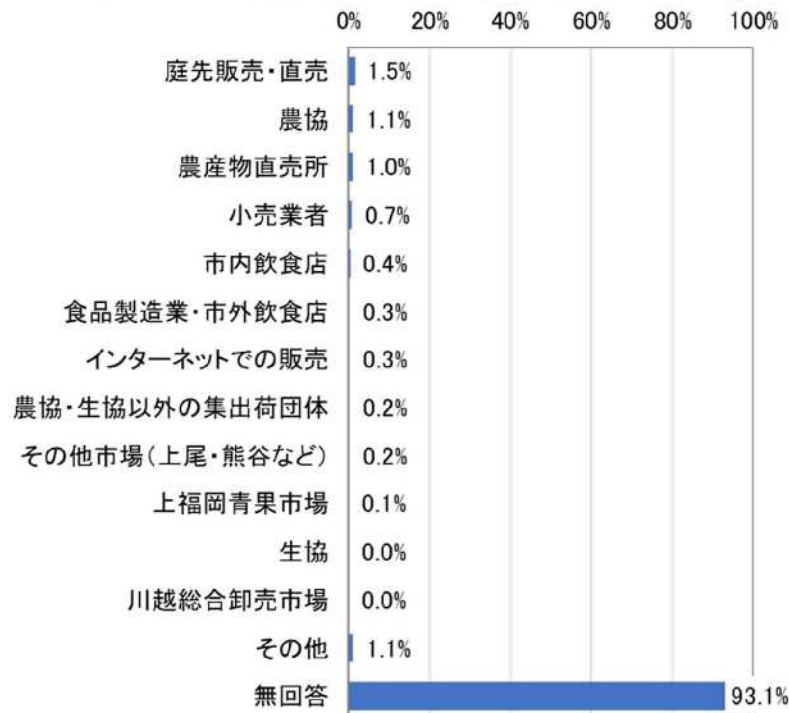
## その他の回答

- ・ 個人 (5件)
- ・ 個別販売 (2件)
- ・ 自分の店のところの材料、カフェ
- ・ 百貨店
- ・ 知人、縁故者 (3件)
- ・ 出荷していない。(2件)
- ・ 東京都板橋市場

### 3位

生産している農産物の出荷先が3位の回答では、「庭先販売・直売」が1.5%と最も多く、次いで「農協」が1.1%となっています。

出荷先	3位	
	回答数	割合(%)
庭先販売・直売	21	1.5%
農協	15	1.1%
農産物直売所	14	1.0%
小売業者	10	0.7%
市内飲食店	5	0.4%
食品製造業・市外飲食店	4	0.3%
インターネットでの販売	4	0.3%
農協・生協以外の集出荷団体	3	0.2%
その他市場(上尾・熊谷など)	3	0.2%
上福岡青果市場	2	0.1%
生協	0	0.0%
川越総合卸売市場	0	0.0%
その他	16	1.1%
無回答	1315	93.1%
回答者数	1,412	100.0%



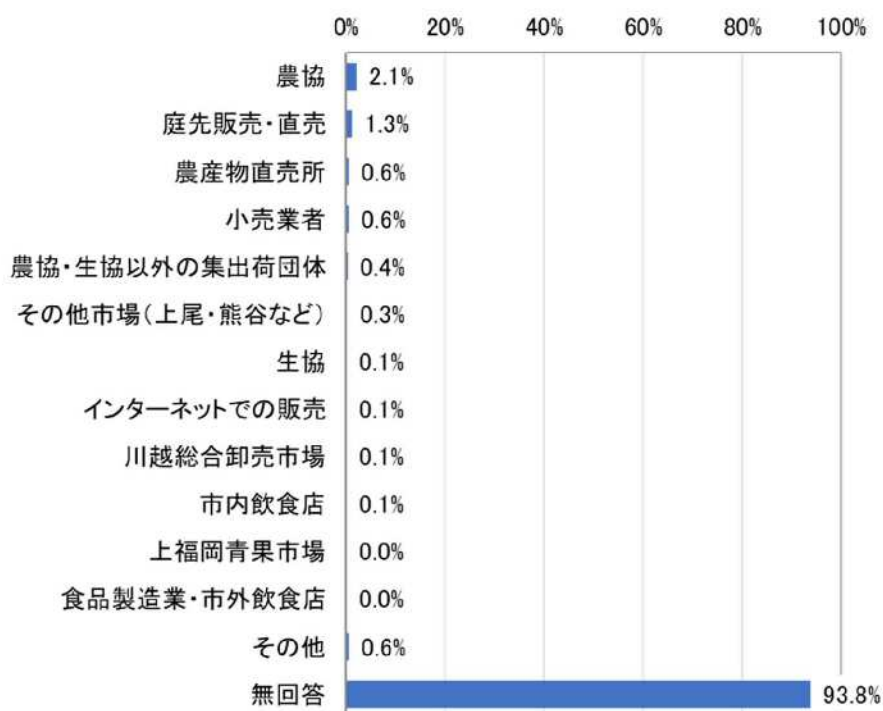
### その他の回答

- ・ 親戚や知り合い (6件)
- ・ 市外飲食店
- ・ 米屋
- ・ 出荷していない。(3件)
- ・ 自家消費
- ・ 農協、直売所以外の販売は無い。

### 【特に売り上げが増加した出荷先】

特に売り上げが増加した出荷先では、「農協」が 2.1%と多く、次いで「庭先販売・直売」が 1.3%となっています。

特に売り上げが増加した出荷先	回答数	割合(%)
農協	30	2.1%
庭先販売・直売	18	1.3%
農産物直売所	8	0.6%
小売業者	8	0.6%
農協・生協以外の集出荷団体	5	0.4%
その他市場(上尾・熊谷など)	4	0.3%
生協	2	0.1%
インターネットでの販売	2	0.1%
川越総合卸売市場	1	0.1%
市内飲食店	1	0.1%
上福岡青果市場	0	0.0%
食品製造業・市外飲食店	0	0.0%
その他	9	0.6%
無回答	1,324	93.8%
回答者数	1,412	



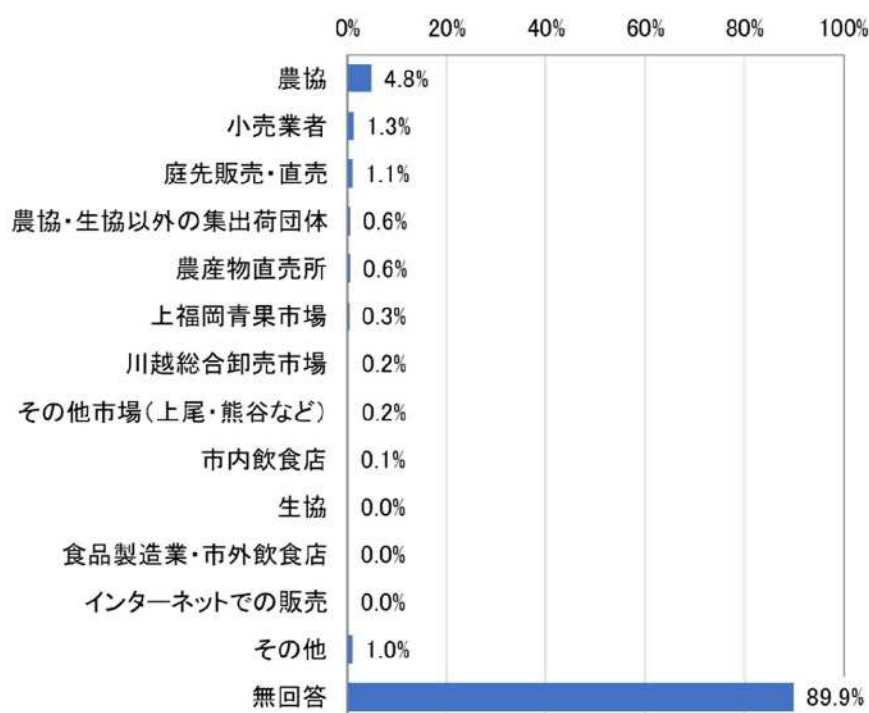
### その他の回答

- ・ 増加していない。(4件)
- ・ 友人等
- ・ 一般人
- ・ 出荷していない。(2件)
- ・ 温泉内店舗
- ・ 自家消費

### 【特に売上げが減少した出荷先】

特に売上げが減少した出荷先では、「農協」が 4.8%と多く、次いで「小売業者」が 1.3%となっています。

特に売上げが減少した出荷先	回答数	割合(%)
農協	68	4.8%
小売業者	18	1.3%
庭先販売・直売	15	1.1%
農協・生協以外の集出荷団体	8	0.6%
農産物直売所	8	0.6%
上福岡青果市場	4	0.3%
川越総合卸売市場	3	0.2%
その他市場(上尾・熊谷など)	3	0.2%
市内飲食店	2	0.1%
生協	0	0.0%
食品製造業・市外飲食店	0	0.0%
インターネットでの販売	0	0.0%
その他	14	1.0%
無回答	1,269	89.9%
回答者数	1,412	



### その他の回答

- ・ 出荷していない。(5件)
- ・ 個人、友人、知人 (2件)
- ・ 親戚
- ・ 自家消費
- ・ 一般人
- ・ 自家直売
- ・ 集荷業者

問10 あなたが生産している農産物について、生産額が多い順に3つ、以下の選択肢にある番号を記入してください。(3つまで記入)

1位

生産額が1位の農産物では、「米」が52.3%と最も多く、次いで「ほうれんそう」が5.6%、「じゃがいも」が4.9%となっています。

農産物【1位】	回答数	割合(%)	農産物	回答数	割合(%)
米	609	52.3%	小麦	1	0.1%
ほうれんそう	65	5.6%	そば・雑穀	1	0.1%
じゃがいも	57	4.9%	茶	1	0.1%
さといも	46	4.0%	はくさい	1	0.1%
サツマイモ	20	1.7%	ブロッコリー	1	0.1%
小松菜	17	1.5%	トウモロコシ	1	0.1%
トマト	15	1.3%	なす	1	0.1%
だいこん	13	1.1%	すいか	1	0.1%
たまねぎ	11	0.9%	梨	1	0.1%
えだまめ	11	0.9%	卵	1	0.1%
ちんげんさい	10	0.9%	大豆	0	0.0%
カブ	10	0.9%	キャベツ	0	0.0%
ぶどう	10	0.9%	ごぼう	0	0.0%
ネギ	8	0.7%	レタス	0	0.0%
きゅうり	7	0.6%	ピーマン	0	0.0%
鉢花	6	0.5%	かんぎつ類	0	0.0%
切り花	6	0.5%	マンゴー	0	0.0%
かき	5	0.4%	ブルーベリー	0	0.0%
くり	5	0.4%	メロン	0	0.0%
にんじん	4	0.3%	肉用牛	0	0.0%
うめ	4	0.3%	豚肉	0	0.0%
小豆・他豆類	3	0.3%	鶏肉	0	0.0%
いちご	3	0.3%	その他	35	3.0%
やまのいも	2	0.2%	無回答	418	35.9%
キウイフルーツ	2	0.2%	回答者数	1,412	





### その他の回答

- ・ 出荷していない。(8件)
- ・ タケノコ (3件)
- ・ キヌサヤ
- ・ 自然薯
- ・ みつば
- ・ 花苗

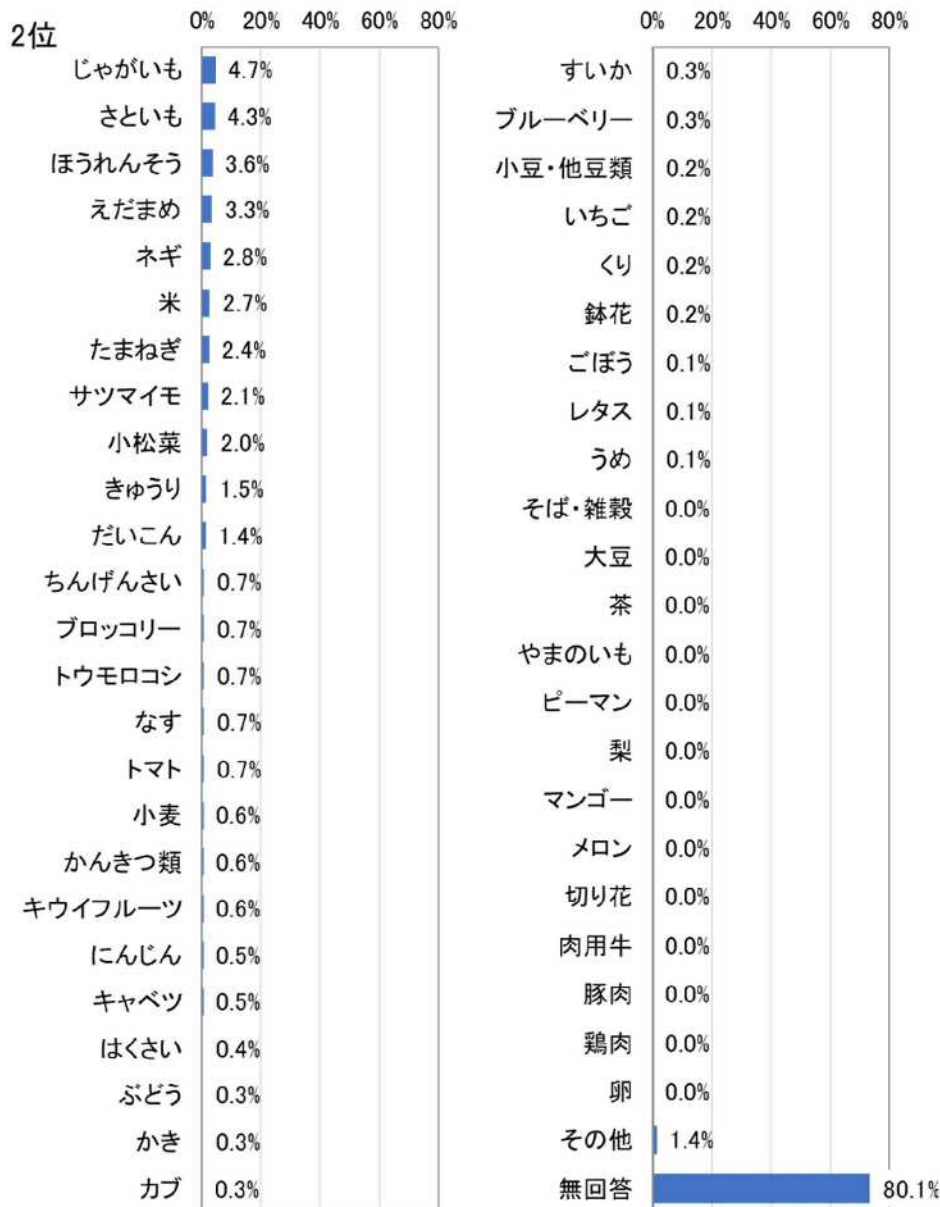
- ・ 家族で食べる分のみ。(5件)
- ・ タケノコ、あしたば
- ・ 南瓜
- ・ 葉大根
- ・ 野菜類のみです (家庭利用品)



2位

生産額が2位の農産物では、「じゃがいも」が4.7%と最も多く、次いで「さといも」が4.3%、「ほうれんそう」が3.6%となっています。

農産物【2位】	回答数	割合(%)	農産物【2位】	回答数	割合(%)
じゃがいも	55	4.7%	すいか	3	0.3%
さといも	50	4.3%	ブルーベリー	3	0.3%
ほうれんそう	42	3.6%	小豆・他豆類	2	0.2%
えだまめ	38	3.3%	いちご	2	0.2%
ネギ	33	2.8%	くり	2	0.2%
米	31	2.7%	鉢花	2	0.2%
たまねぎ	28	2.4%	ごぼう	1	0.1%
サツマイモ	25	2.1%	レタス	1	0.1%
小松菜	23	2.0%	うめ	1	0.1%
きゅうり	17	1.5%	そば・雑穀	0	0.0%
だいこん	16	1.4%	大豆	0	0.0%
ちんげんさい	8	0.7%	茶	0	0.0%
ブロッコリー	8	0.7%	やまのいも	0	0.0%
トウモロコシ	8	0.7%	ピーマン	0	0.0%
なす	8	0.7%	梨	0	0.0%
トマト	8	0.7%	マンゴー	0	0.0%
小麦	7	0.6%	メロン	0	0.0%
かんぎつ類	7	0.6%	切り花	0	0.0%
キウイフルーツ	7	0.6%	肉用牛	0	0.0%
にんじん	6	0.5%	豚肉	0	0.0%
キャベツ	6	0.5%	鶏肉	0	0.0%
はくさい	5	0.4%	卵	0	0.0%
ぶどう	4	0.3%	その他	16	1.4%
かき	4	0.3%	無回答	932	80.1%
カブ	3	0.3%	回答者数	1,412	



### その他の回答

- ・ 出荷していない。(2件)
- ・ モロヘイヤ
- ・ みょうが
- ・ 菊芋
- ・ 野菜苗

- ・ 花苗
- ・ 桃
- ・ 花木
- ・ 近所の方に作って頂いている。

3位

生産額が3位の農産物では、「じゃがいも」が3.5%と最も多く、次いで「ネギ」が3.1%、「さといも」が2.1%となっています。

農産物【3位】	回答数	割合(%)	農産物	回答数	割合(%)
じゃがいも	41	3.5%	ピーマン	3	0.3%
ネギ	36	3.1%	くり	3	0.3%
さといも	25	2.1%	にんじん	2	0.2%
ほうれんそう	23	2.0%	いちご	2	0.2%
きゅうり	23	2.0%	かんきつ類	2	0.2%
小松菜	22	1.9%	ぶどう	2	0.2%
たまねぎ	19	1.6%	かき	2	0.2%
なす	19	1.6%	そば・雑穀	1	0.1%
えだまめ	18	1.5%	茶	1	0.1%
だいこん	17	1.5%	カブ	1	0.1%
米	14	1.2%	やまのいも	0	0.0%
トマト	12	1.0%	ごぼう	0	0.0%
はくさい	11	0.9%	梨	0	0.0%
トウモロコシ	10	0.9%	キウイフルーツ	0	0.0%
サツマイモ	9	0.8%	マンゴー	0	0.0%
キャベツ	8	0.7%	メロン	0	0.0%
ブロッコリー	7	0.6%	鉢花	0	0.0%
大豆	6	0.5%	切り花	0	0.0%
ブルーベリー	6	0.5%	肉用牛	0	0.0%
小豆・他豆類	5	0.4%	豚肉	0	0.0%
すいか	4	0.3%	鶏肉	0	0.0%
うめ	4	0.3%	卵	0	0.0%
小麦	3	0.3%	その他	10	0.9%
ちんげんさい	3	0.3%	無回答	1035	73.3%
レタス	3	0.3%	回答者数	1,412	



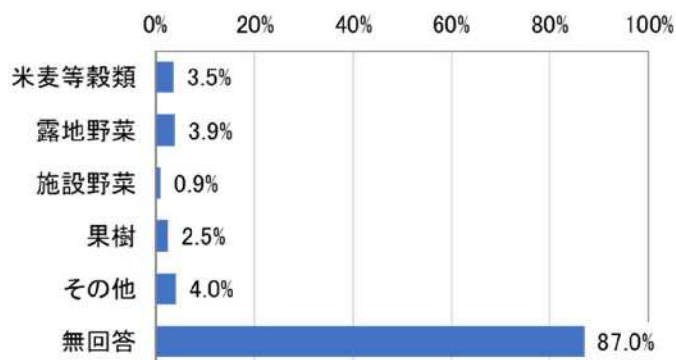
**その他の回答**

- ・ 出荷していない。(2件)
- ・ オクラ
- ・ ぶどう
- ・ 柑橘類
- ・ カボチャ
- ・ 栗

問11 あなたの農業経営において、新たに導入したいとお考えの品目があれば、以下からお選びいただき、具体的な品目想定があればお書きください。(あてはまるものすべてに○)

新たに導入したい農産物の品目では、「露地野菜」が3.9%と最も多く、次いで「米麦等穀類」が3.5%、「果樹」が2.5%となっています。

農産物の品目	回答数	割合(%)
米麦等穀類	50	3.5%
露地野菜	55	3.9%
施設野菜	13	0.9%
果樹	36	2.5%
その他	57	4.0%
無回答	1,228	87.0%
回答者数	1,412	



### 【具体的な品目】

米麦等穀類	露地野菜	施設野菜	果樹	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・米</li> <li>・小麦</li> <li>・麦</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里芋</li> <li>・人参</li> <li>・ネギ</li> <li>・枝豆</li> <li>等 かぶ</li> <li>・茄子</li> <li>・キュウリ</li> <li>・ほうれん草</li> <li>・小松菜</li> <li>・キャベツ</li> <li>・ブロッコリー</li> <li>・とうもろこし</li> <li>・ハーブ</li> <li>・ネギ</li> <li>・にんにく</li> <li>・ズッキーニ</li> <li>・ジャガイモ</li> <li>・玉ねぎ</li> <li>・葉物類</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブロッコリー</li> <li>・キノコ</li> <li>・トマト</li> <li>・ネギ</li> <li>・サニーレタス(冬季)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イチゴ</li> <li>・いちじく</li> <li>・オリーブ</li> <li>・柑橘類</li> <li>・キウイ</li> <li>・レモン</li> <li>等 栗</li> <li>・パパイヤ</li> <li>・びわ</li> <li>・ブルーベリー</li> <li>・みかん</li> <li>・りんご</li> <li>・ぶどう</li> <li>・かき</li> <li>・他品種のぶどう</li> <li>・欧州系ぶどう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すいか</li> <li>・バナナ</li> <li>・パパイヤ</li> <li>・アボカド</li> <li>・切り花</li> <li>・ヤマメ</li> <li>・イワナ</li> </ul>

### 米麦等穀類の回答

- ・ 米 (3件)
- ・ 水稲のみ
- ・ 米価を 30 kg、1 万円で安定してほしい。
- ・ コシヒカリ以外の多品種の作付
- ・ 主食用米の供給状況を注視しつつ、輸出米及び加工米等
- ・ 水田を増やしたい。
- ・ 東北、北陸地方の新品種の来の種子がほしい。
- ・ 加工して商品化で直接消費者に販売
- ・ 現状
- ・ 麦、小麦 (3件)
- ・ 水稲 コシヒカリ
- ・ 米の価格が下がっている為、麦作に換える。
- ・ 自動直進機 (トラクター・田植え機)
- ・ 多品目の有機栽培
- ・ 乾燥貯蔵施設
- ・ 加工米用の取組

### 露地野菜の回答

- ・ ほうれん草、小松菜、キャベツ (5件)
- ・ 枝豆 (2件)
- ・ ズッキーニ (2件)
- ・ 枝豆、かぶ
- ・ ブロッコリー、とうもろこし
- ・ ジャガイモ、人参
- ・ ハーブ
- ・ ハウス
- ・ 平成時代、農協直売ができた時、出荷したがやめることになり全部やめた。
- ・ 全て直売なので年間 30 品目位作付けしているが品目を絞っていく方向です。
- ・ 里いも、人参、ネギ (3件)
- ・ にんにく (2件)
- ・ 葉物類
- ・ 茄子、キュウリ
- ・ とうもろこし
- ・ ジャガイモ、玉ねぎ
- ・ ネギ
- ・ 自家販売

### 露地野菜の回答

- ・ ブロッコリー
- ・ 自動開閉装置
- ・ ネギ
- ・ サニーレタス (冬季)
- ・ キノコ
- ・ トマトなど
- ・ 環境制御システム、ヒートポンプ

### 果物の回答

- ・ 柑橘類、キウイ、レモン (5件)
- ・ ぶどう (3件)
- ・ ぶどう、ぐみ (果樹酒)
- ・ イチゴ
- ・ りんご
- ・ オリーブ
- ・ ブルーベリー (3件)
- ・ みかん、栗 (3件)
- ・ ぶどう、かき
- ・ びわ
- ・ いちじく
- ・ パパイヤ

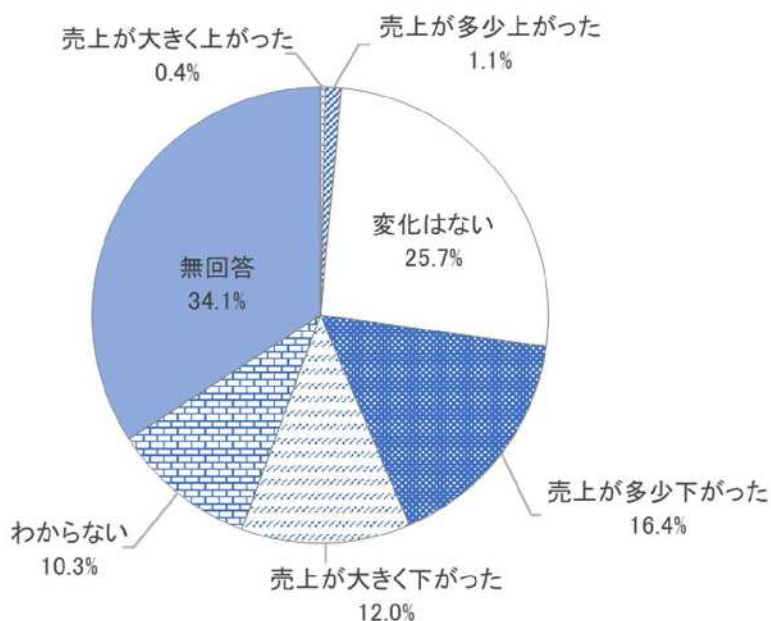
### その他の回答

- ・ すいか
- ・ 温室でのバナナ、パパイヤ、アボカド
- ・ 自家消費
- ・ ヤマメ、イワナなどの養殖
- ・ 年でもうできない。
- ・ 導入したいものはない。
- ・ 農業はやめたい。
- ・ 上手な経営者がいれば相談させていただきたいと思います。
- ・ そもそも、農業経営で売り上げ増加等を考えていない。
- ・ ぶどう狩りやいちご狩りのように、タケノコ狩りが出来ないか。
- ・ 今までと同じ様に作物を作ります。
- ・ 切り花出荷
- ・ 市に田畑を買い取ってもらいたい。
- ・ 現状維持
- ・ 土地を太陽光発電施設に利用したい。
- ・ 農業はたいへんだ。
- ・ 体調があまり良くないので作れません。

問12 新型コロナウイルス感染拡大により、農業分野の売上にどのような変化がありましたか。(1つに○)

新型コロナウイルス感染拡大による、農業分野の売上げの変化では、「売上が多少下がった」「売上が大きく下がった」を合わせた『下がった』が28.4%、「売上が大きく上がった」「売上が多少上がった」を合わせた『上がった』が1.5%、「変化はない」が25.7%となっています。

新型コロナウイルスによる影響	回答数	割合(%)
売上が大きく上がった	5	0.4%
売上が多少上がった	16	1.1%
変化はない	363	25.7%
売上が多少下がった	232	16.4%
売上が大きく下がった	169	12.0%
わからない	145	10.3%
無回答	482	34.1%
回答者数	1,412	100.0%





問13 新型コロナを想定した「新しい生活様式」の時代における農業経営について、必要と思う支援策があればご記入ください。

歳代	性別	記述
30	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 直で売れる場所を増やしてほしい。</li> <li>・ JA、行政、地域の人々の有機農業への理解を深め、広げていくための支援。新規就農の簡略化。</li> <li>・ マスクやアクリル板の配布。</li> <li>・ 機械購入費補助。</li> </ul>
40	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水稲はすべて直播で実施しております。米の生産過剰が課題の中、直播と減肥栽培の組み合わせで生じる収量の減少への支援策を充実させてほしい。もしくは直播や減肥により反収を削減しつつ、作付面積を減らさない取組をもっと奨励してほしい（水田環境維持の為）。</li> <li>・ 田んぼはいらぬ。何とかしてほしいです。</li> <li>・ 雇用に対する支援。</li> <li>・ 家で過ごすことの多い時に、簡単なレシピなどを周知したり、マスコミなどの力も借りていくことが大切だと思う。また、なぜか川越市の給食にはチンゲンサイや水菜は使うのに、小松菜を使わないことに納得がいかない。</li> <li>・ 資材、肥料、人件費等値上がりばかり。段階的に最大 60%も上がっております。正直、息子には継がせたくないと思う。資材、肥料の補助が急務と感じます。三芳町の資材補助を聞くと羨ましく思います。川越市は農業経営者に対し積極的な支援は期待できないと思いました。</li> <li>・ 広告宣伝を行う取り組みが支援策として望ましい。</li> </ul>
50	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産がないので早急に田畑を処分したい。</li> <li>・ 地産地消。</li> <li>・ 消毒液、手袋等の消耗品の支援（助成）。</li> <li>・ 米を生産しておりますが、新型コロナをきっかけに日本人のコメ離れが加速したと感じます。合わせて米価急落により、経営の厳しさが増しております。生産環境も高齢化が進み定年間近となると生産委託をお願いされるケースが年々増えてくる状況。地域農業を守る意識だけで踏ん張っているのが実態であります。当面の間、農業収入で機械をはじめ設備投資ができる支援策がないとジリ貧となる可能性あり。地産地消も支援策の一つと考えます。</li> <li>・ 肥料高騰の補助。機械（農業器具の補助）の補助金制度。資材の補助全制度。兼業農家への補助金。</li> <li>・ 価格補填。</li> <li>・ 低品質や規格外扱いの商品化。</li> </ul>
60	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 肥料等の値上げに対する助成。</li> <li>・ 農機具のリース。</li> <li>・ 肥料などの支援。</li> <li>・ 機械の購入の時に支援してほしい。</li> <li>・ 価格の安定につながる様な支援をお願いしたい。</li> <li>・ 補助事業。</li> <li>・ 需要の落ち込みからの不耕作農地への支援（農業環境の整備）。</li> <li>・ 農業法人が運営する水耕栽培。</li> <li>・ 支援がほしいです。</li> <li>・ 政府が農業に対して全く無関心です。日本の農業はもはや 0 に近い。国家議員たちは自分のことだけです。</li> <li>・ 米の消費をもっと拡大してほしい。学校給食や弁当の会社へ参入。</li> </ul>



歳代	性別	記述
60	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経費が上がりすぎて経営が成り立たなくなっている。</li> <li>・ 消毒（手洗い）。マスク。</li> <li>・ 感染等した場合の農業経営継続施策（労働力、資金等）</li> <li>・ SDGs</li> <li>・ 米価の値下げから米の価格維持、支援策を導入すべき。</li> <li>・ 米価の下落が進むのに行政は何もしないのはなぜ。15年間で半値近くまで下がっているのになぜ。また消費者に価格が下がらないのはなぜ。誰が儲けているの。</li> <li>・ 農業資材費の高騰対応としての支援金支払い。地産地消促進のための家庭レシピを作成しPR（広報誌へ掲載）など。</li> <li>・ 米の生産は機械が大型でも1枚の面積が小さすぎる。利益が出ない。</li> <li>・ 水田（米）作付け農家も高齢化及び後継者も減少のため、農家を守る施策の中で企業が一体的に広範囲で水田を貸借していただければ農家も守れるのではないかと思います。また、もう一方で農地を開発地域へ転換するという考えもあります。</li> <li>・ 経営は無理</li> <li>・ 外国で食糧が足りない国などに余剰米を支援していただき、その財源で米を買い取り、流通をよくして安定した販売価格を確保（支援）してほしい。</li> <li>・ 行政を巻き込んで対策を打ってほしい。</li> <li>・ 今年は酷暑なので暑さ対策の農業資材を助成してほしい。または助成金が欲しいです。毎年川越市も異常な暑さが続き生産量が落ちるので、上記の支援があると助かります。</li> <li>・ 市場の要求物（季節野菜、等）の情報と販売ルートを確立できる地域組織が必要。</li> <li>・ 米を使った商品開発で流通米の削減。（但しもう遅すぎると思う。農業を続けるには市役所は何をしてくれるのですか？）</li> <li>・ 現状はコロナ対策ではなく、ウクライナ、円安による資材価格の倍近い高騰、エネルギー価格の高騰に対する支援。</li> <li>・ 年齢的に自給自足を念頭にした（晴耕雨読の）農業なので、当家に対する支援は必要ないと思う。</li> <li>・ 新型コロナの影響ではないが、農業資材、肥料の高騰化に対する抑制策を検討してほしい。又は、購入時の補助など。</li> </ul>
	女	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 米の60kg買取価格を設定し最低保証をしてほしい。昨年のように極端に下げられ経費は上がっているのでは農業などやってられません。作らない人の支援ではなく作っている人に保障を。</li> <li>・ 補助金がない。</li> </ul>
	不明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 米作ですが他のものが2割上がっているのに米価については何の対策もされず下がったままというのはおかしいのではないかと。何の支援策もやってくれないのはおかしい。</li> <li>・ 赤字の経営から黒字の経営にすること。</li> </ul>
70	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナは数年で解消するので、このことを考えるよりも他の施策に取り組むべきである。</li> <li>・ やめたい。</li> <li>・ 経営助成金が必要と思います。</li> <li>・ マーケティング指導から、農業経営のコロナ時代に対処していくノウハウを国、県、市町村（農協含む）本気で強い基幹作を作る。</li> <li>・ JA いるま野の販売課の対応で価格が変わる。</li> </ul>

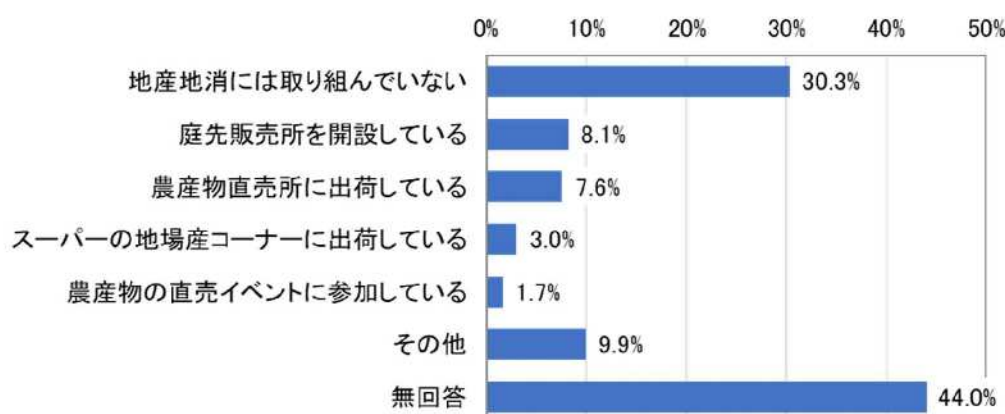
歳代	性別	記述
70	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 米の価格（農協等）の暴落に依る生産意欲に欠如している農家が多く、持続化給付金みたいな制度を考えないと日本の食料自給率は更に減退し、田畑には野生動物が増加し大変な結果が予想される。</li> <li>・ 米作農家の収入が少なすぎる。農機具購入の資金を補助してほしい。</li> <li>・ 農作物は生きる上に最も大事と考えます。外国から輸入して、それでいいと考えるからいざとなればマスコミが騒ぎます。しかし農家が苦勞していることは全く報じないのは、なぜでしょうか。農家をゴミの如しとしか思っていないのではないでしょうか。農政課の人々の意見はいかが？と考えます。</li> <li>・ 自家野菜しか作っていないので支援不要。</li> <li>・ 米の食方法を考えたい。</li> <li>・ 収入額が減り農機具の更新が必要であったが更新できず大変困っている。そのため零細農家においても助成金が必要である。</li> <li>・ 田畑を買うための資金援助。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症で害虫に関係するのでしょうか。</li> <li>・ 生産資材高騰対策</li> <li>・ 地産地消の推進</li> <li>・ 山田地域は耕作面積も多く、高齢化も目立つ。農地維持が喫緊の課題。JA 等が中心となり企業化し、所得保障と提供面積に応じた配分等を行う。企業経営上の利益は見込めないことから政府、行政からの資金補助を希望する。</li> <li>・ すべての品目をボードンに入れて直接手に触れないように心掛けている。</li> <li>・ 安定価格。</li> <li>・ 米価の低価格を何とかしていただきたい。</li> <li>・ 農協を中心とした横のつながりを強くしたい。</li> <li>・ 米価の下落による減収を補う補助金の支援。</li> <li>・ ネット販売など宅配が主流となる時代になる。パソコンの導入及び知識習得が必要でその資金援助と指導講習会をお願いしたい。</li> <li>・ 川越市は住宅地が拡大している。若い高齢者も増えてくるので、彼らの生き甲斐の一つに農作業を勧める宣伝・施策の拡大が有効では。</li> <li>・ 地産地消</li> </ul>
	不明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前年より 2 割～4 割売り上げが下がった場合の支援策</li> <li>・ 米作の収入が極端に下がり、続けることに不安を感じています。継続の支援が必要と思います。</li> </ul>
80	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 草農地多し。農地改良必要。</li> <li>・ 肥料資材等高騰、対応策を。また、肥料安定確保を切に望む。価格安定基準値を（最低値）設定し、マイナスの場合は支援策等。</li> <li>・ 米の高価買入</li> <li>・ 農業は何をやってもだめ。</li> </ul>
	女	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家では農業をやる人がいないので、今は他人に米を作ってもらっています。収入は 1 円もありません。それどころか作って頂くために水利日は全部私達貸している人が全部の田んぼの費用を払っているのです。赤字です。</li> </ul>
	不明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若い人が農業に従事したいと考える支援。現金収入面で。</li> </ul>

## 地産地消の取り組みについてお伺いします。

問14 川越市民などへの農産物の提供（地産地消）の状況をお教えてください。（あてはまるものすべてに○）

川越市民などへの農産物の提供（地産地消）の状況では、「地産地消には取り組んでいない」が30.3%と最も多くなっています。一方、「提供している」側の回答では、「庭先販売所を開設している」が8.1%、「農産物直売所に出荷している」が7.6%となっています。

地産地消の農産物の提供	回答数	割合(%)
地産地消には取り組んでいない	428	30.3%
庭先販売所を開設している	115	8.1%
農産物直売所に出荷している	107	7.6%
スーパーの地場産コーナーに出荷している	43	3.0%
農産物の直売イベントに参加している	24	1.7%
その他	140	9.9%
無回答	621	44.0%
回答者数	1,412	



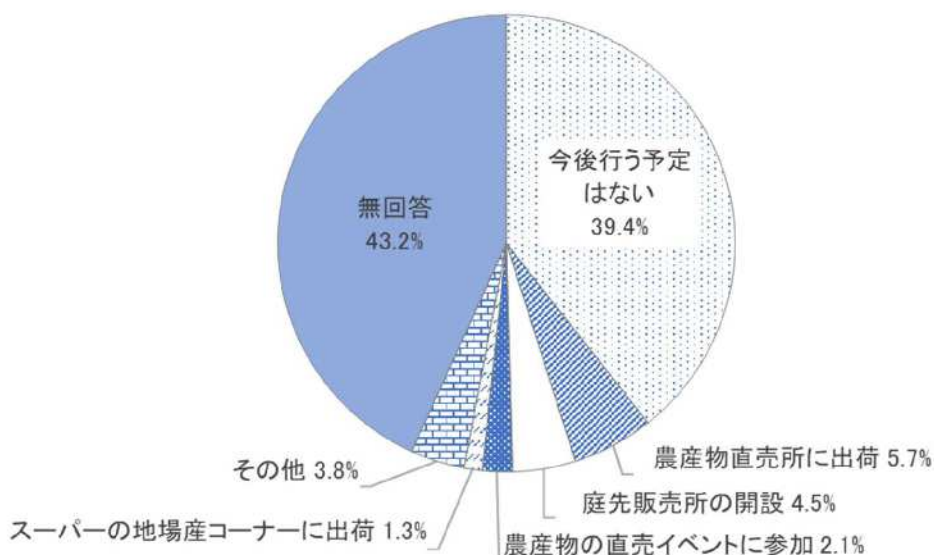
### その他の回答

- ・ 自家用のみ（22件）
- ・ 料理店等に直売（7件）
- ・ 近所への直売（5件）
- ・ カントリーエレベーターに出荷（2件）
- ・ 提供していない、現在休んでいる（2件）
- ・ 小売業者
- ・ 飲食店で店頭販売
- ・ 上福岡市場
- ・ 収穫体験
- ・ 准組合員
- ・ ひとりですので対応できておりません。
- ・ 出荷先のJAが地産地消に取り組んでいると思う。
- ・ 法人農業の展開による多岐にわたるサービスをしている。
- ・ 親戚、友人に配布（9件）
- ・ 知人、親戚への販売（6件）
- ・ 農協出荷所、JAいるま野への米直接販売（4件）
- ・ 庭先販売、個人販売（2件）
- ・ 契約栽培（必要と満たすだけの）
- ・ 近所の庭先直売所に出荷
- ・ 地元市場
- ・ ハウス内でのシクラメン、パンジーの小売
- ・ 非農家

問15 川越市民などへの農産物の提供（地産地消）について今後行ってみたいと思うものをお教えてください。（1つに○）

今後の川越市民などへの農産物の提供（地産地消）については、「今後行う予定はない」が39.4%と最も多くなっています。一方、「今後行ってみたい」側の回答では、「農産物直売所に出荷」が5.7%、「庭先販売所の開設」が4.5%となっています。

今後行ってみたい地産地消の取組	回答数	割合(%)
今後行う予定はない	556	39.4%
農産物直売所に出荷	81	5.7%
庭先販売所の開設	63	4.5%
農産物の直売イベントに参加	30	2.1%
スーパーの地場産コーナーに出荷	18	1.3%
その他	54	3.8%
無回答	610	43.2%
回答者数	1,412	100.0%



**その他の回答**

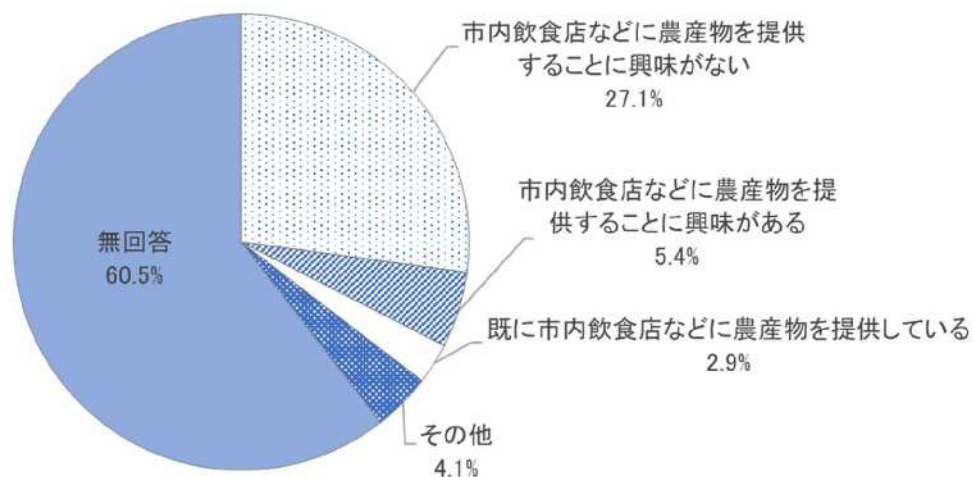
- ・ 希望なし（3件）
- ・ 敷地内への自動販売機の設置（2件）
- ・ 地元民への直販
- ・ 近所、知り合いに食べてほしい。
- ・ 畑での販売。（畑にあるもの）
- ・ 思案中
- ・ 実家消費と友人、知人 etc へのプレゼント
- ・ 労働力がないので取り組めない。
- ・ 法人農業の展開による多岐にわたるサービスをしている。
- ・ たいていの農業にあって、鳥が実を食べている柿を大々的に商品化出来ないのか？JA などの指導により、高品質化する必要があるが。干し柿など。
- ・ 考えなくはないが、誰が農家のことを考えていらっしゃるのか。詳しく具体的にお知らせください。
- ・ 道路沿いの農地であって、大手コンビニから土地の借用相談があっても、農地の為、不採用。このような時は相談に載って欲しい。
- ・ インターネット販売（2件）
- ・ 現状のまま（2件）
- ・ ボランティア団体に寄付
- ・ 庭先販売所の拡大
- ・ 要望する人のみへの販売を心掛ける。
- ・ 現在は自家消費のみで不明です。
- ・ 農協から
- ・ 非農家



問16 市内飲食店、小売店や加工販売店への農産物の提供についてお教えてください。(1つに○)

市内飲食店、小売店や加工販売店への農産物の提供については、「市内飲食店などに農産物を提供することに興味がない」が27.1%と最も多く、次いで「市内飲食店などに農産物を提供することに興味がある」が5.4%、「既に市内飲食店などに農産物を提供している」が2.9%となっています。

市内の飲食店などへの農産物の提供	回答数	割合(%)
市内飲食店などに農産物を提供することに興味がない	383	27.1%
市内飲食店などに農産物を提供することに興味がある	76	5.4%
既に市内飲食店などに農産物を提供している	41	2.9%
その他	58	4.1%
無回答	854	60.5%
回答者数	1,412	100.0%



**その他の回答**

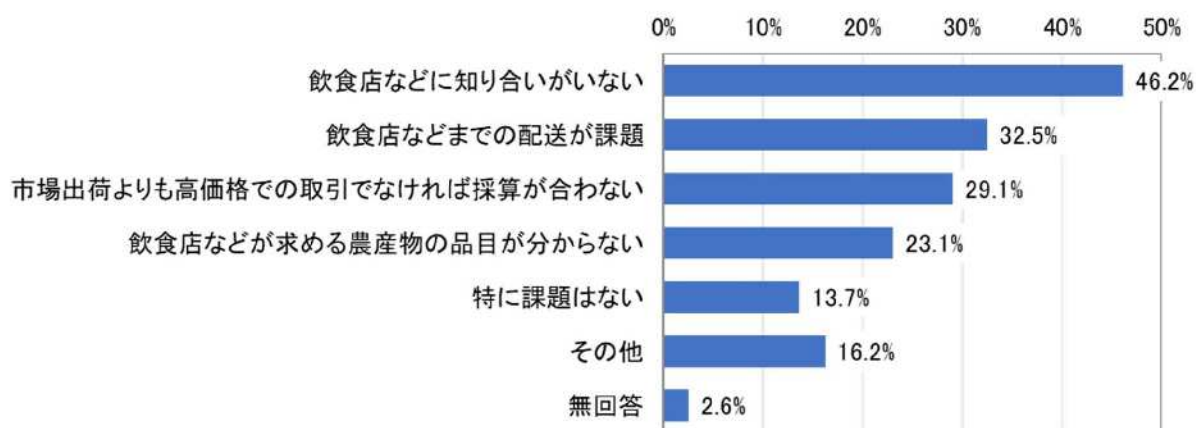
- ・ 提供なし。(14件)
- ・ 自家消費のみ(7件)
- ・ 小規模な生産のため提供不可(4件)
- ・ 農協出荷。(3件)
- ・ 年齢的に無理(2件)
- ・ 個人販売(3件)
- ・ 川越市場に出荷
- ・ すでに客がいる
- ・ 興味がないわけではないが、検討していない。
- ・ 条件に折り合いがつけば検討する。
- ・ 経営状況次第
- ・ スーパーの地場産コーナーを通じて買っただけ。
- ・ 生産技術・量・質を習得しなければならないので難しい。

問 16 で「既に市内飲食店などに農産物を提供している」または「市内飲食店などに農産物を提供することに興味がある」と回答した方

問17 市内飲食店などとの取引に向けて課題となるのは何でしょうか。(あてはまるものすべてに○)

市内飲食店などとの取引に向けての課題では、「飲食店などに知り合いがない」が 46.2%と最も多く、次いで「飲食店などまでの配送が課題」が 32.5%、「市場出荷よりも高価格での取引でなければ採算が合わない」が 29.1%となっています。

市内飲食店との取引の課題	回答数	割合(%)
飲食店などに知り合いがない	54	46.2%
飲食店などまでの配送が課題	38	32.5%
市場出荷よりも高価格での取引でなければ採算が合わない	34	29.1%
飲食店などが求める農産物の品目が分からない	27	23.1%
特に課題はない	16	13.7%
その他	19	16.2%
無回答	3	2.6%
回答者数	117	



#### その他の回答

- ・ 安定供給 (3 件)
- ・ 安定的に提供できるか保証がない。(いつ打ち切られるかわからない)
- ・ 市場出荷と同価格で取引してもらえない。
- ・ 米の食が少ない。
- ・ 少量取引では、採算が合わない。
- ・ 品質を高めるための機械導入
- ・ ブドウを作っているが、どの飲食店が求めているのかわからない。
- ・ 品質のレベルをどの程度にするか 機械、施設の費用対効果による。
- ・ 種類が少なかったり、規格はどうなっているのか。
- ・ すでに出荷しているお店以外の新規が難しい。
- ・ 知人として利益なしで提供
- ・ 価格設定がわからない (2 件)
- ・ 自分がノルマこなせるか不安になる。
- ・ 量が少ない。
- ・ 商品に自信がない。
- ・ 更なるブランド力の向上

問18 地産地消について、ご意見があればご記入ください。

歳代	性別	記 述
30	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ もっと自然体が食べ物に力を入れてほしい。</li> <li>・ 輸送コスト、ガソリン代節約などが全体的に考えれば積極的に取り組んだほうがよい。</li> <li>・ 重要なテーマなのでぜひ推進して欲しい。地産地消でオーガニックに取り組む農家にインセンティブを上げて欲しい。学校給食に地元の有機米を導入して欲しい。</li> <li>・ 品目を絞ったブランド化事業</li> </ul>
40	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハウスでトマト生産しているが重油が高くなって温度設定を低くしているので赤くならない。</li> <li>・ 各経営規模に合わせて対応すればよいと思う。</li> <li>・ 給食では、平等に地元野菜の品目を使うべき。</li> </ul>
40	不明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 回の出荷量が多ければ取り組んでもよい。</li> <li>・ 必要とされているところへ行ってほしいと思います。</li> </ul>
50	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いつも同じ品質の作物が出来るわけではない。</li> <li>・ 地球温暖化防止のために、化石燃料の消費を減少させる効果が期待できると思います。</li> <li>・ 給食センターを活用して、市内の野菜、果物を加工させて川越オリジナルブランド（オール川越）の商品を作る。そして学校給食やふるさと納税品等にす。商品化にかかるパッケージ代等は川越市がケチらないこと。農家売上増→納税額増（将来に期待してください）。</li> <li>・ 小中校で最大限の取り組みを願いたい。</li> <li>・ 単なるサプライチェーンの構築でなく人口減少、少子化による高齢化が加速することを想定し、相互が利益を適正化できる量より質に目を向けた体制作りが必要であると感じます。</li> <li>・ 農業経営を考えれば近郊に東京などの大消費地があるので意味があまりないと思います。</li> <li>・ 飲食店は1店舗当たりの消費量が少ないので厳しい。</li> <li>・ 地産地消は良い。</li> </ul>
60	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地産地消はとても良いことだと思いますが、我が家では皆サラリーマン等をしているし、小規模なので農作物を提供することは出来ません。今後、定年を迎えて、特殊な野菜作り、飲食店に提供することが出来るようにできたらいいなどは少し考えたりする。</li> <li>・ 形や大きさにうるさく面倒。</li> <li>・ 自身の生産スタイルを判ってもらい顔の見える生産者を目指し安心安全な食を提供してこそ地産地消と考えています。</li> <li>・ 米だけの出荷で、米価が上がらないので意欲がわからない。</li> <li>・ 一定基準のもと安心、安全な農作物を作らなければならないため、「市場」へ提供することは難しい。自分なりに満足する農産物を友人等に提供し、美味しさ＝地産地消として農業をやっていききたい（生活の収入減が別にある為、安直な考えだと思います）。</li> <li>・ 農産物の契約は難しい。</li> <li>・ 積極的に推進すべき。</li> <li>・ 地産地消については積極的に取り組むべきである。</li> <li>・ 可能な限り実施できれば良いと思います。</li> <li>・ 地産地消も大切。</li> </ul>

歳代	性別	記 述
60	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 物流コストが低くて新鮮な品物が早く手に入り、生産者、消費者共に良いし、地域も発展する。</li> <li>・ 高階地区には人はいるが（需要がある）個人でしか直売所は設営していない。</li> <li>・ 小梅の消費拡大策を強化すべき。</li> <li>・ 重要である。</li> <li>・ 市内レストランで共通メニューの提供（焼き芋など）。</li> <li>・ 大事なことと思う。</li> <li>・ 長い間農業に取り組んできた人たちなら地産地消に取り組めるとは思いますが、定年までサラリーマンをしてきた人に農家は難しいです。できたものが何でも引き受けてくれるとは思えません。作る人も受ける人もそれなりにプライドがあります。農業はそれなりに経験と技術がいります。</li> <li>・ 農家は飯は食えない。</li> <li>・ 今後もますます必要。全面的にアピールしてほしい。</li> <li>・ 学校給食に地産地消を多く使用していただきたい。</li> <li>・ 農家で廃棄されている規格外品を安く市民や市内飲食店や給食に販売出来る仕組み作りをシステム化してはどうでしょうか。SDGs に成るのでは。</li> <li>・ 最近では地元スーパーで地元野菜を扱っているが品数や量が少なく、夕方には売り切れていることが多い。あぐれっしゅ川越に行かなくても地元スーパーで地元野菜が買えると良いと思う。</li> <li>・ 移動販売</li> <li>・ 良いと思うが生産規模拡大するつもりは無い。</li> <li>・ 道路沿いの農地であって、大手コンビニから土地の借用相談があっても、農地の為、不採用。このような時は相談に載って欲しい。</li> <li>・ 市内の人に野菜を提供できれば、物理的距離が短い事を活かして新鮮な物を消費してもらえと思う。</li> </ul>
70	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 良いと思う。飲食店であれば、規格外でも加工して使えるので、どのようなニーズがあるのか？具体的に検討してみてもどうか。</li> <li>・ 輸送コストが低いので環境に優しい。</li> <li>・ 田んぼも畑も何もいらぬ。10R、1万円でも買ってくれる人を見つけたい。</li> <li>・ 庭先販売などより、直売所の方が良いと思うが、設置には高額な費用がかかる。JAに出す補助金を増額するなどして進めてほしい。</li> <li>・ 地産地消自体はエコの関係で良い。</li> <li>・ 出来過ぎた野菜を無料で配れる仕組みがあると無駄にならない。</li> <li>・ 野菜の庭先販売をしていますが、地域の消費のニーズに答えるのが 70 代では大変です。</li> <li>・ JA 次第</li> <li>・ 農業は循環型農業を展開していかないと消費者が求める品物に巡りつくことは難しいと思う。美味しいものを作る昔の米の検査員ではないが、土壤に適した作物、農薬、流通経路を研究し、農業を守ることだけでなく、農家の生産意欲を駆立てる政策も早急に必要である。</li> <li>・ 家庭菜園程度なので自家消費</li> <li>・ 良いことではないかと考えます。しかし契約した農家が 1 つ、2 つだけで対応できるとは思えませんが。大勢でやれる状況を計画されないと安定とはならないのではないのでしょうか。地本と世界状況を考えないからこのようなことを言われるのではと思われませんが。いかがですか。</li> <li>・ 新型コロナで料理屋が縮小、廃業のため、納品していたが農産物が売れなくなりました。</li> </ul>



歳代	性別	記述
70	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自家消費のみですので意見ございません。</li> <li>・ 地元の生産物は地域の方に食べてもらったら良いですね。(小さな販売所の設置など)</li> <li>・ 大切なことと思う。</li> <li>・ 食生活につながり健康(安心安全)につながる。輸入食品は心配です。</li> <li>・ 大変良いと思います。</li> <li>・ お米だけなのでJAに出荷でよいと思う。</li> <li>・ 並の商品はそこそこできる。しかし、いいものを常に作りたいと生産者は日々努力、競争している。土地柄、気候、風土でだいたい決まる。プラス生産者の知恵がある。地産地消の品物を選ぶのに非常に重要だ。年老いた人が昔言っていたことを今かみしめてわかるようになった。どこの地域は何がうまいと地産地消、地域に合った最高の品物を作りたい、理想。</li> <li>・ あと数年で訪れるであろう食料不足。半径30キロ圏での地産地消プランを作ったらよい。</li> <li>・ 大いに伸ばすべきと思いますが、何分74歳ですので徐々に縮小を考えておりますので誠に残念です。</li> <li>・ 生産品物等計画が立てられない。高齢のためできません。</li> <li>・ 直売所を増やすことが効果的と思う。</li> <li>・ 労働力がない。</li> <li>・ 安い輸入品が入っては地産地消にはならない。</li> <li>・ 地産地消は賛成。JAあぐれっしゅがあるが他にない。行政出資(第3セクター方式)で「道の駅」の開設を希望する。地元の農家が生産した農産物はあぐれっしゅだけでなく、観光で川越に訪れたお客様が市内の農産物を購入していけるような店舗新設計画を検討したらどうかと思う。</li> <li>・ 飲食店にて注文とっても配達、荷造りが難しい。</li> <li>・ 川越産農産物の利用促進は今後とも重要な課題と考えます。</li> <li>・ 高齢化により無理。</li> <li>・ 無農薬、無化学肥料、無除草剤、完全無農薬栽培で米作りをしています。この米完全無農薬を消費者が多く収量が少なく皆様に購入するのに不足気味です。このような百姓がいても良いのではないかと思います。</li> <li>・ 農産物が適正価格でない。</li> <li>・ 生産量が消費量を上回ってしまう(過剰)。</li> <li>・ 賛成、推進すべし。</li> <li>・ 学校給食等でも地産地消を実施していると思うが生産者はどこまで把握しているか。広報等で見える化にしたらどうか。</li> <li>・ おいしい川越を使っています。</li> </ul>
	女	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地産地消も大切であるが、大規模にして効率的な農業にして、遠方にもブランド商品として出荷していきたい。</li> <li>・ ウクライナ戦争のこともあり日本は他国に依存しないで出来るだけ自給自足で頑張りたいです。</li> </ul>
	不明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別栽培農産物(緑肥米)のブランドとして地産地消の意味を深めたい。</li> </ul>

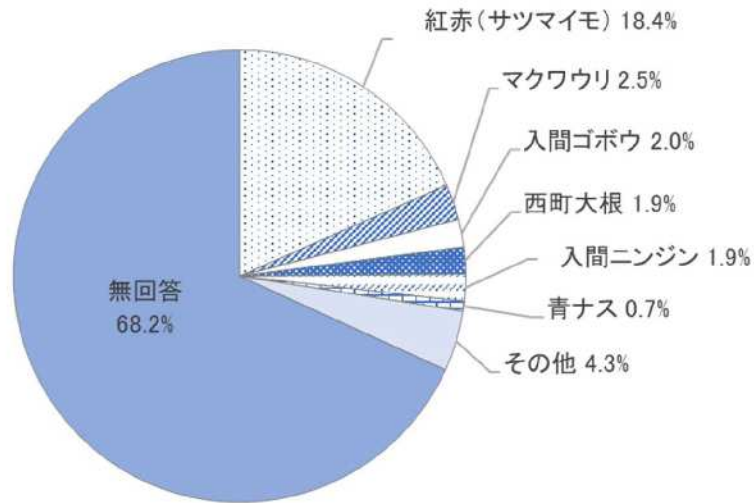
歳代	性別	記 述
80	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商品として出せるものはあまりない為自家用。</li> <li>・ 運転免許なければどこにも来れない。</li> <li>・ 何を買ってもダメ。</li> <li>・ 老人の農業で自作、自消である。また、市街地農業では農地を守るのが精一杯である。</li> <li>・ 野菜は自家消費分のみ。</li> <li>・ サツマイモに関しては、季節的な売り上げ、青果や芋掘りはあるが、飲食での利用加工・地産地消を考えた場合、時期の作物であることもいいが、通年出荷、使用ができる産地である必要はあると思う。個人の農家で貯蔵できる量、施設は限界がある、面積、規模、金銭的に。大きな貯蔵施設があれば、B 品以下のこれまで加工や商品化できなかったサイズ、ものが、より地元「川越産」として使用できると思う。</li> </ul>
	女	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農産物がなし。</li> </ul>
	不明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地産地消をどんどん進めなければならない。</li> </ul>

## 農産物のブランド化・環境保全型農業についてお伺いします。

問19 川越の伝統野菜として、生産拡大・復活してみたら良いと思う野菜をお教えてください。(1つに○)

川越の伝統野菜として、生産拡大・復活してみたら良いと思う野菜では、「紅赤（サツマイモ）」が18.4%と最も多く、次いで「マクワウリ」が2.5%、「入間ゴボウ」が2.0%となっています。

川越の伝統野菜として、生産拡大・復活してみたら良いと思う野菜	回答数	割合(%)
紅赤(サツマイモ)	260	18.4%
マクワウリ	36	2.5%
入間ゴボウ	28	2.0%
西町大根	27	1.9%
入間ニンジン	27	1.9%
青ナス	10	0.7%
その他	61	4.3%
無回答	963	68.2%
回答者数	1,412	100.0%



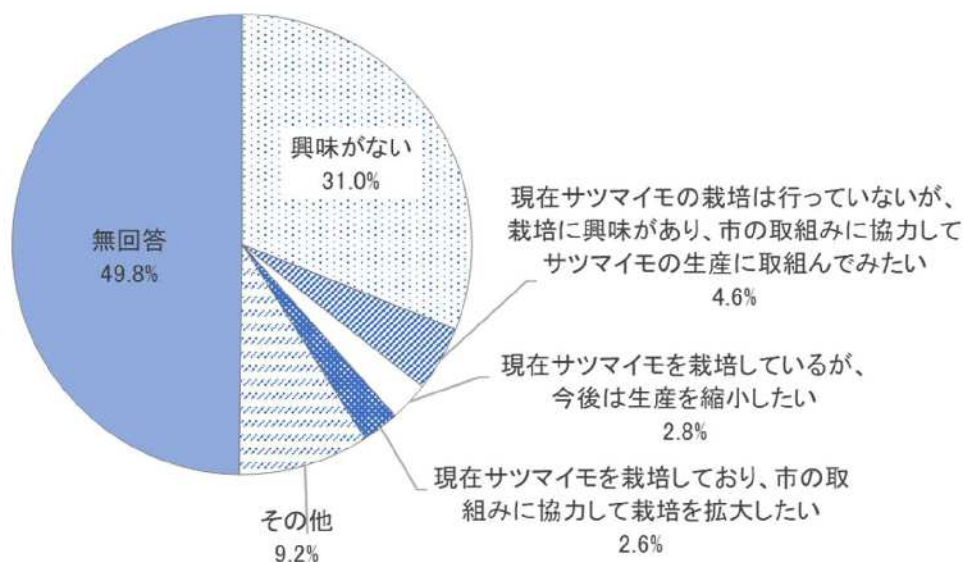
### その他の回答

- ・ ほうれん草 (2件)
- ・ 米の販売
- ・ 白いぼきゅうり
- ・ 伝統野菜は市場性がないので反対
- ・ 紅はるか
- ・ 野菜としてはなし
- ・ 新たな特産野菜を生み出したい
- ・ 冬瓜
- ・ 巨峰
- ・ 里いも
- ・ 水田のみ
- ・ 伝統野菜を知らない
- ・ 枝豆
- ・ 緑肥(レンゲ草)による「レンゲ米」
- ・ 川越独自の物は無いのでは。
- ・ 他にやるつもりはない。作っていません。

問20 市ではサツマイモの産地化を広める取組みとして、サツマイモの栽培地拡大・生産量増加を目指しています。この取組みに対してお考えを教えてください。(1つに○)

サツマイモの産地化を広める取組みへの考えでは、「興味がない」が31.0%と最も多く、次いで、「現在サツマイモの栽培は行っていないが、栽培に興味があり、市の取組みに協力してサツマイモの生産に取り組んでみたい」が4.6%となっています。

サツマイモの栽培の取組	回答数	割合(%)
興味がない	438	31.0%
現在サツマイモの栽培は行っていないが、栽培に興味があり、市の取組みに協力してサツマイモの生産に取り組んでみたい	65	4.6%
現在サツマイモを栽培しているが、今後は生産を縮小したい	39	2.8%
現在サツマイモを栽培しており、市の取組みに協力して栽培を拡大したい	37	2.6%
その他	130	9.2%
無回答	703	49.8%
回答者数	1,412	100.0%



#### その他の回答

- ・ 土質が合わない。(8件)
- ・ 畑地が少なく栽培に適していない。
- ・ 土がサツマイモ栽培にあっていない。栽培はできるが甘みがのらない。
- ・ そもそも芳野の荒木田土でサツマイモの生産は土質が合わないから無理です。いい芋にならない。
- ・ サツマイモは(残存)窒素の多い畑には無理。
- ・ 土が固いので難しいが、現在3種類の芋を作っている。
- ・ 良い取り組みだと思うがさつまいもは掘り上げが大変な作業なので機械を導入できる規模がないと拡大は難しい。
- ・ 栽培地が拡大しなかった理由の調査から始めた方がよいのでは 例えば土壌調査など。
- ・ 栽培したがよくできなかった。
- ・ 昔、特に紅赤は栽培して難しかったと記憶。
- ・ 水田地帯の為。(4件)
- ・ 地域的に厳しい。

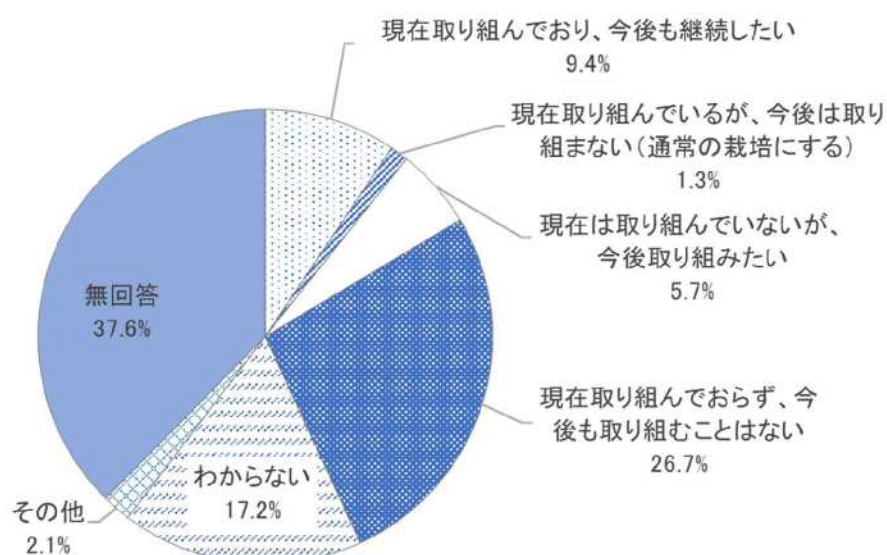
- ・販売チャンネルの確保・拡大。
  - ・余裕ができたなら生産を検討してみる。
  - ・現在、自家消費のみだが、技術講習や販売ルートなどの指導があるなら検討しても良い
  - ・サツマイモ栽培に興味はあるが果たして経営として成り立つか疑問。
  - ・付加価値のある販路が必要と考える。
  - ・跡継ぎの長男が定年で会社が終わり、自宅の畑を耕作したら考えると思います。
- 
- ・良いと思います。(2件)
  - ・何とも思わないが取り組みに関しては良いと思う。
  - ・紅赤栽培の強力な推進。
  - ・サツマイモの川越ブランド化を全面的に市が行う。
  - ・さつま苗の無償提供、普及拡大。
  - ・自分ではなかなか量産できないため、促進してもらいたい。
  - ・サツマイモ農家で協同化して生産量を増やしてほしい(紅赤)。
  - ・サツマイモ以外にもぜひお願いしたい。
  - ・基本的にはいいことと考えます。しかし農家経営にいいねと思われるか疑問です。いかがですか。
  - ・川越芋ブランドとして取り組んだら。
- 
- ・役所がやることではない。
  - ・遅い、20年前であれば、わからないが？
- 
- ・自家消費のみ。(17件)
  - ・サツマイモ栽培は行っているが、規模の拡大、方法等ノウハウがない。
  - ・サツマイモ栽培は考えていないので、「その他」と回答した。
  - ・サツマイモを栽培していますが、どうせなら無野菜栽培に取り組んでいますが、現在できていません。むずかしい。
  - ・栽培はしているが、少量であり拡大の予定もない。
  - ・現在サツマイモを栽培している。現状維持。
  - ・現在、サツマイモを栽培しているが、紅はるか、シルクスイートが主体である。
  - ・水稲1本
  - ・他の人に土地を貸したい。
  - ・他の作物を生産しているのでサツマイモの拡大はできない。人手がない。
  - ・父の時代に紅芋等を栽培していたので大変さがわかっているので、自分が今から栽培しようという気持ちはない。
  - ・設備投資ができない。
  - ・高齢で生産拡大出来ない。
  - ・今は別の果実を栽培したい。
  - ・今のところ栽培するつもりはない。
  - ・今の状況では、サツマイモまでできない。
  - ・売れる商品にするには手間と労力が必要なので無理。
  - ・消費の面で協力したい。
- 
- ・畑がない。(2件)
  - ・作ってないです。
  - ・害獣がいるため、柿の木、キウイフルーツなど全て切ってしまった。



問21 有機農業など、環境に配慮した農業について、あなたの意向をお選びください。(1つに○)

有機農業など、環境に配慮した農業への意向では、「現在取り組んでおらず、今後も取り組むことはない」が26.7%と最も多く、次いで「現在取り組んでおり、今後も継続したい」が9.4%となっています。また、「わからない」が17.2%となっています。

環境に配慮した農業への意向	回答数	割合(%)
現在取り組んでおり、今後も継続したい	133	9.4%
現在取り組んでいるが、今後は取り組まない(通常の栽培にする)	18	1.3%
現在は取り組んでいないが、今後取り組みたい	81	5.7%
現在取り組んでおらず、今後も取り組むことはない	377	26.7%
わからない	243	17.2%
その他	29	2.1%
無回答	531	37.6%
回答者数	1,412	100.0%



**その他の回答**

- ・ 減農薬、減化学肥料 (3件)
- ・ 畑1カ所以外は一切除草剤を使用しておりません。
- ・ 堆肥など使うと周囲から苦情がくる。
- ・ 野焼き、使用は極力少なくしている。
- ・ 何も作ってない。
- ・ 他の人に土地を売りたい。
- ・ 本当の有機農業は難しく、まやかしが多い。
- ・ 有機農業及び土壌改良等には取り組んでいる。
- ・ 有機農業はどこまでが有機農業かわからない。
- ・ それを行うことによって、高価格で取引できるのであれば、取り組む価値はあると思う。
- ・ 特裁をやっていたが、あまり効果もあがらず現在、やめてしまった。
- ・ 費用対効果の問題。消費者の認識。(価格に対して)
- ・ 無理に化学肥料を否定する必要はないと思う。うまく活用すべきだ。
- ・ やったことがあるが、肥料の量や害虫の発生など難しい点が多い。
- ・ 有機農業まではハードルが高いが、農地の集約化による水管理の効率化で減農薬は可能だと常に考えている。
- ・ 良質な作物を栽培するのに必要な時に有機農業に取り組む。

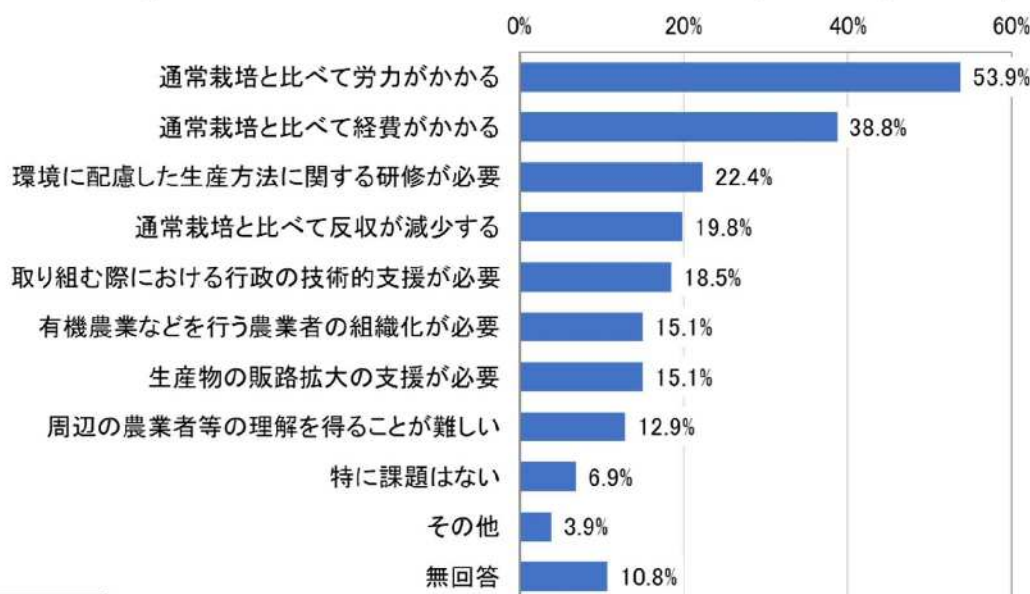


問 21 で「現在取り組んでおり、今後も継続したい」「現在取り組んでいるが、今後は取り組まない（通常の栽培にする）」「現在は取り組んでいないが、今後取り組みたい」のいずれかを回答した方

**問22 有機農業など、環境に配慮した農業の課題は何でしょうか。（あてはまるものすべてに○）**

有機農業など、環境に配慮した農業の課題では、「通常栽培と比べて労力がかかる」が 53.9%と最も多く、次いで「通常栽培と比べて経費がかかる」が 38.8%、「環境に配慮した生産方法に関する研修が必要」が 22.4%となっています。

有機農業など、環境に配慮した農業の課題	回答数	割合(%)
通常栽培と比べて労力がかかる	125	53.9%
通常栽培と比べて経費がかかる	90	38.8%
環境に配慮した生産方法に関する研修が必要	52	22.4%
通常栽培と比べて反収が減少する	46	19.8%
取り組む際における行政の技術的支援が必要	43	18.5%
有機農業などを行う農業者の組織化が必要	35	15.1%
生産物の販路拡大の支援が必要	35	15.1%
周辺の農業者等の理解を得ることが難しい	30	12.9%
特に課題はない	16	6.9%
その他	9	3.9%
無回答	25	10.8%
回答者数	232	



**その他の回答**

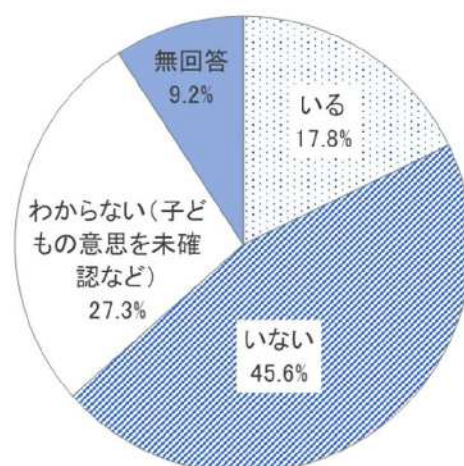
- ・ 環境に配慮する事と有機農法とは別次元と思う。
- ・ 無農薬なのかもしれないが、隣地に虫の発生で迷惑。
- ・ レンゲの種代が高い。
- ・ 虫のついた野菜は好まれない。
- ・ 自家消費のみ。
- ・ 加速している宅地化の中では本当真剣に研究しないと。
- ・ 土壌改良
- ・ 高齢だし後継者もないため新たな取り組みは考えていない。
- ・ 有機農業を行うにあたって認証が必要。特に販売に関しては絶対必要。それに伴う経費がかかりすぎるのが問題。

## 農業の担い手についてお伺いします。

問23 あなたには現在、農業の後継者がいますか。(1 つに○)

現在、農業の後継者がいるかでは、「いる」が 17.8%、「いない」が 45.6%、「わからない(子どもの意思を未確認など)」が 27.3%となっています。

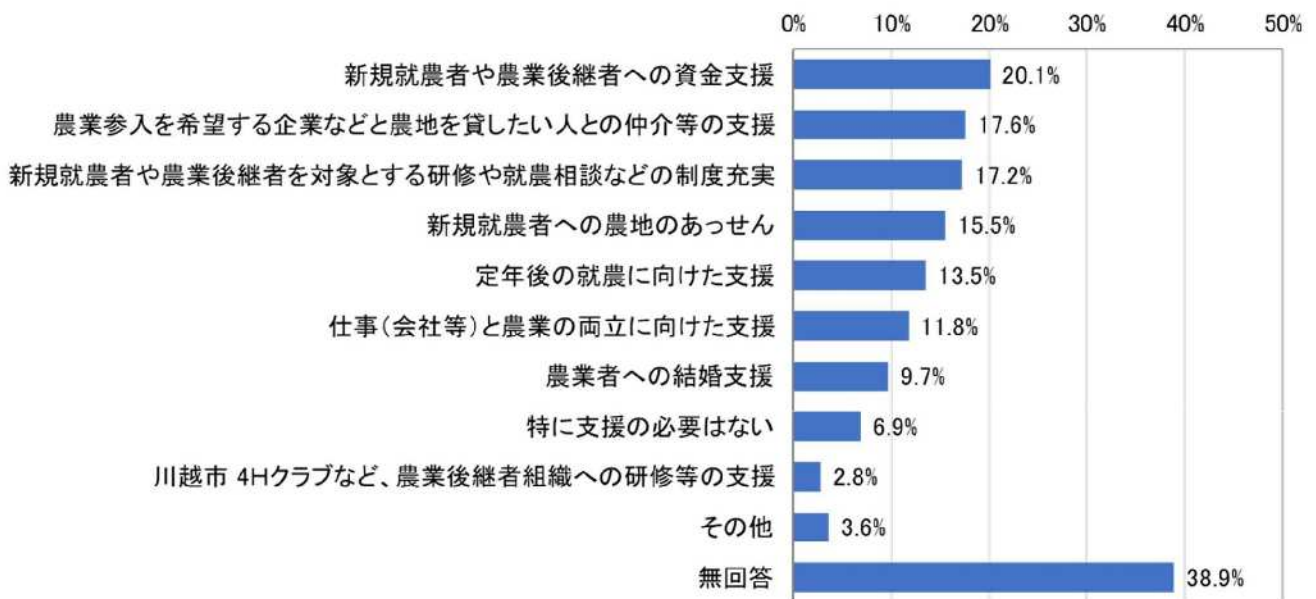
農業の後継者	回答数	割合(%)
いる	252	17.8%
いない	644	45.6%
わからない(子どもの意思を未確認など)	386	27.3%
無回答	130	9.2%
回答者数	1,412	100.0%



問24 新規就農者・農業後継者の育成に向けて、必要な支援を教えてください。(3つまで○)

新規就農者・農業後継者の育成に向けて必要な支援では、「新規就農者や農業後継者への資金支援」が 20.1%と最も多く、次いで「農業参入を希望する企業などと農地を貸したい人との仲介等の支援」が 17.6%、「新規就農者や農業後継者を対象とする研修や就農相談などの制度充実」が 17.2%となっています。

新規就農者・農業後継者の育成に必要な支援	回答数	割合(%)
新規就農者や農業後継者への資金支援	284	20.1%
農業参入を希望する企業などと農地を貸したい人との仲介等の支援	248	17.6%
新規就農者や農業後継者を対象とする研修や就農相談などの制度充実	243	17.2%
新規就農者への農地のあっせん	219	15.5%
定年後の就農に向けた支援	191	13.5%
仕事(会社等)と農業の両立に向けた支援	166	11.8%
農業者への結婚支援	137	9.7%
特に支援の必要はない	97	6.9%
川越市 4Hクラブなど、農業後継者組織への研修等の支援	39	2.8%
その他	51	3.6%
無回答	549	38.9%
回答者数	1,412	100.0%



### その他の回答

- ・ 農業の売上、収入 (3 件)
- ・ 米価が上がる。(3 件)
- ・ 機械の補助金等
- ・ 質問の趣旨とは異なるが、収支が成り立たなければ勧められない。
- ・ 農業収入が一般と同じとなる施策が必要だと思います。百姓だけで生活できないとダメ。
- ・ 農業機械が高いので農業で生活できない。肥料や農薬も高い。
- ・ 農産品価格が高く販売できて生活できるようになってほしい。
- ・ 農業所得の増大。さらに自宅の農業規模だと厚生年金+農業の考え=定年後の就農が目標。
- ・ 年金の資格を得てから就農すればよい。
- ・ 定年したら全部の農地ではないかもしれないがやると思う。今は手伝いだけです。
- ・ 農地集約化に反対する地権者への注意喚起。
- ・ 国家公務員は地方公務員として国営又は県営で農業と農地を維持し国内自給率を上げる。
- ・ 将来のことが3つでまとまるとは思えません。農政課の方々の努力をご期待しております。
- ・ プロスポーツ選手へのセカンドライフ(引退後)プログラムの作成と将来農業参入を希望していない団体、企業への就農PR(営業活動)、農政課が行う。
- ・ 組織化、法人化等の指導、経営感覚の育成(2件)
- ・ 大企業等の農業経営を積極的に導入してほしい。
- ・ 自宅を守るために子どもに教えたい。
- ・ 指導
- ・ 兼業農家の離農が多いので兼業農家への支援が必要。
- ・ 子どもは自分の仕事をしているので農業の手伝い(休日)はしてくれますが、農業での生計は無理なので、しなくても良いかなと思う。
- ・ 数年前に農政課主催の会合に参加したがその際の相談した事も全然進捗してなく非常につかりしている。
- ・ 自分自身の先祖を守るだけ。
- ・ 長女病気。治療中でわからない。

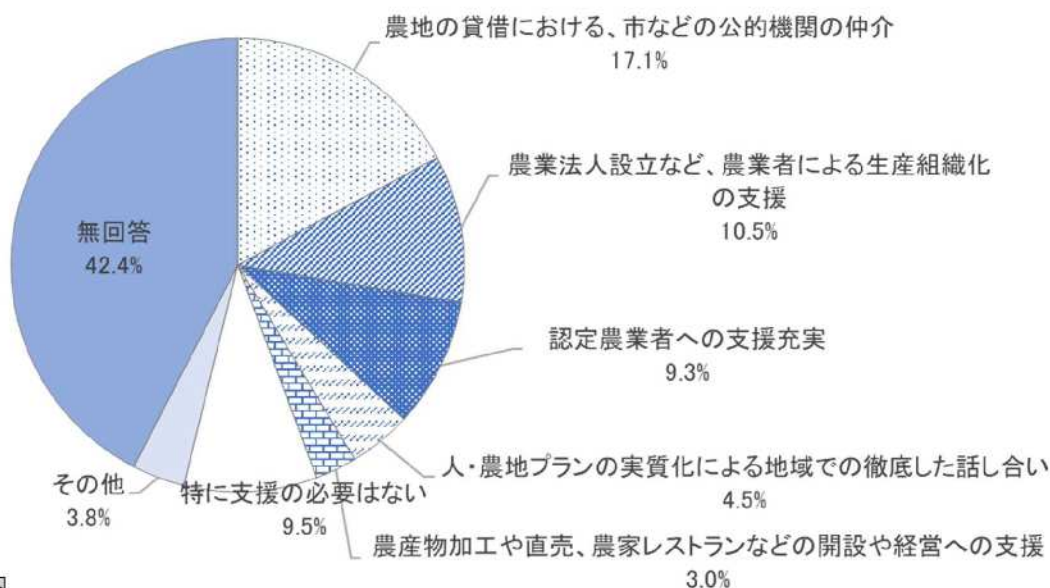


問25 担い手の育成・確保に向けてどのような支援が必要とお考えになりますか。(1つに○)

新規就農者・農業後継者の育成に向けて必要な支援では、「農地の貸借における、市などの公的機関の仲介」が17.1%と最も多く、次いで「農業法人設立など、農業者による生産組織化の支援」が10.5%、「認定農業者への支援充実」が9.3%となっています。

一方、「特に支援の必要はない」が9.5%となっています。

担い手の育成・確保に向けて必要な支援	回答数	割合(%)
農地の貸借における、市などの公的機関の仲介	242	17.1%
農業法人設立など、農業者による生産組織化の支援	148	10.5%
認定農業者への支援充実	131	9.3%
人・農地プランの実質化による地域での徹底した話し合い	63	4.5%
農産物加工や直売、農家レストランなどの開設や経営への支援	42	3.0%
特に支援の必要はない	134	9.5%
その他	53	3.8%
無回答	599	42.4%
回答者数	1,412	100.0%



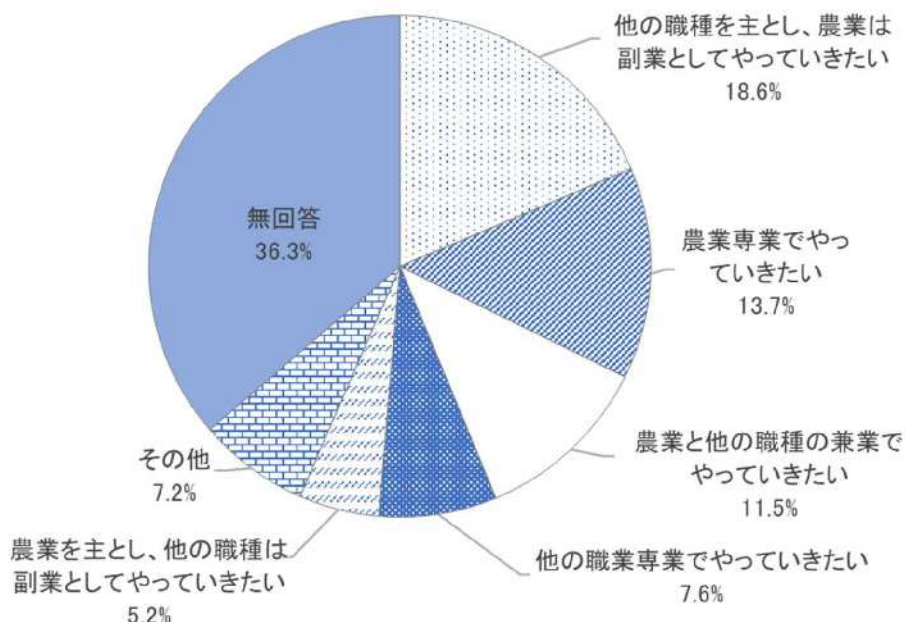
その他の回答

- ・ 収入 up (7 件)
- ・ 農業の法人化への促進 (2 件)
- ・ 耕作放棄地を太陽光発電に利用した方がよい。
- ・ 情報
- ・ 道の駅の販売
- ・ 米を売って農機具が普通に買える米の価格になることが必要。
- ・ 資材、肥料の補助、個人に対してではなく、物に対して補助金を出せば、販売業者からの購入金額が下る。
- ・ 収益の確保できるような支援と農業機械のレンタルなど設備投資を少なくなるような支援など。
- ・ 農地の貸借及び売買の制約をなくし、企業と個人の農業への参入を促進する。
- ・ むずかしい。
- ・ 生活の安定 (2 件)
- ・ 公営農地
- ・ 繁忙期への人的支援制度、フォロー
- ・ 職業としての農業を魅力的にすること
- ・ 税制面を考えてください。

問26 今後のあなたの農業経営における兼業化、副業化の意向を教えてください。(1つに○)

今後の農業経営における兼業化、副業化の意向については、「他の職種を主とし、農業は副業としてやっていきたい」が18.6%と最も多く、次いで「農業専業でやっていきたい」が13.7%、「農業と他の職種の兼業でやっていきたい」が11.5%となっています。

農業経営における兼業化、副業化の意向	回答数	割合(%)
他の職種を主とし、農業は副業としてやっていきたい	263	18.6%
農業専業でやっていきたい	193	13.7%
農業と他の職種の兼業でやっていきたい	162	11.5%
他の職業専業でやっていきたい	107	7.6%
農業を主とし、他の職種は副業としてやっていきたい	73	5.2%
その他	101	7.2%
無回答	513	36.3%
回答者数	1,412	100.0%



**その他の回答**

- ・ 高齢のため考えていない。(8件)
- ・ 自給程度 (9件)
- ・ 離農 (7件)
- ・ 年金生活者と農業 (4件)
- ・ 農地保全のための農業 (2件)
- ・ 未定
- ・ 農業は行わない。
- ・ 今年からやめるので。
- ・ 利益が見込めない為投資はできない現実
- ・ 今更農業では食べていけない。
- ・ 所有地は売却したい。
- ・ 農業を事業としてやっていく。
- ・ 農地を保有しているので管理をどうするかが現状です。
- ・ 農地は貸して、会社で働いていた。
- ・ 農業を継続する場合のアンケート内容であり、答えようがない。
- ・ 農業で自活できる世の中にして欲しかった。
- ・ 公務員として国のために尽くす。
- ・ 長男は「農業と他の職種の兼業でやっていきたい」である。
- ・ 地域開発による環境インフラ等を行い、地域を別な意味で活性化させたい。
- ・ 全作業をお願いしたい。
- ・ 税金が高い。固定資産税+相続税。

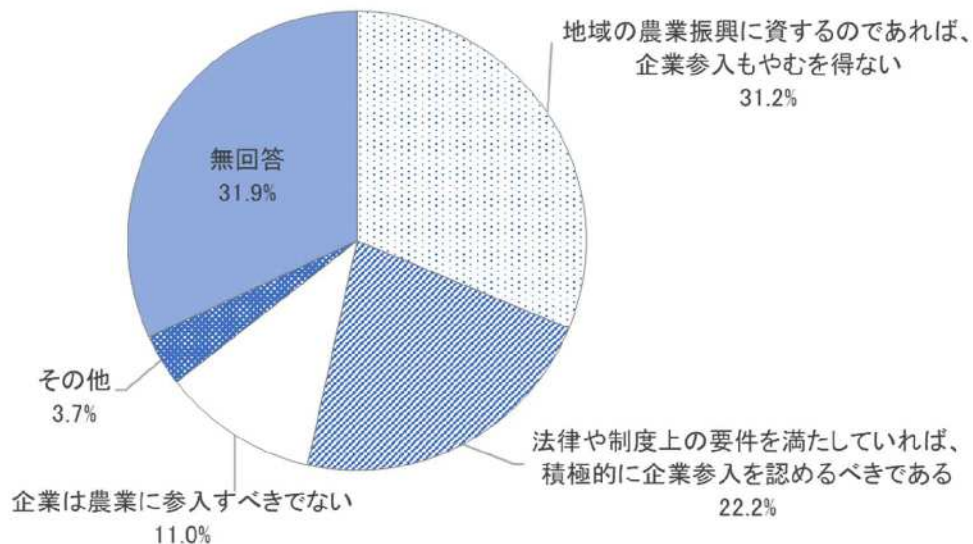


問27 農業の担い手として企業が参入することについて、あなたの考えを教えてください。  
(1つに○)

農業の担い手として企業が参入することについての考えでは、「地域の農業振興に資するのであれば、企業参入もやむを得ない」が31.2%と最も多く、次いで「法律や制度上の要件を満たしていれば、積極的に企業参入を認めるべきである」が22.2%となっています。

一方、「企業は農業に参入すべきでない」が11.0%となっています。

農業の担い手として企業が参入することについて	回答数	割合(%)
地域の農業振興に資するのであれば、企業参入もやむを得ない	441	31.2%
法律や制度上の要件を満たしていれば、積極的に企業参入を認めるべきである	314	22.2%
企業は農業に参入すべきでない	155	11.0%
その他	52	3.7%
無回答	450	31.9%
回答者数	1,412	100.0%



**その他の回答**

- ・ 企業こそが農業をやっていくべき。(2件)
- ・ 企業と我々のコラボなら賛成。(共に発展)
- ・ その前に農業経営者に支援が先だ。
- ・ 企業は市場を荒らす作物はやめてほしいです。
- ・ 企業参入は良いと思うが、地域農業者の雇用等考慮願いたい。
- ・ 企業参入も良いが、倒産や撤退された時、農地はどうなるかを考える必要が重要で、農地が放棄されては困るので「行政」が責任を取れば参入可です。
- ・ まさか中国、韓国等の外国人を許可するのでしょうか。
- ・ 最終的な地権者になってしまうので地域の耕作者の意識の高揚が必要では。
- ・ 企業に限らず良いと思うことは一度やってみる。ダメなら考えるのもいいと思う。
- ・ 現状では衰退の農業ですが利益追求だけの企業の参入を認めていいかどうか迷う。
- ・ 企業に金銭援助をするなら個人に出し、小作人を大切にすべき。
- ・ 企業参入には効率化のための基盤整備が必要です。
- ・ 先祖の残した土地をどうして良いかわからない。(現在、草掃除だけはしております)
- ・ 企業は地域コミュニケーションに責任を持たない。
- ・ 土地は国土という考えに立って、責任ある仕事をする必要あり。
- ・ 地域に担い手が不足しているのであれば、担い手の脅威にならない範囲で参入はやむを得ない。
- ・ 問 25「農地の貸借における、市などの公的機関の仲介」について検討して欲しい。
- ・ 農業ではなく他の産業に生かした方がよい。
- ・ 地域の行事等への理解が必要。草刈等。
- ・ 必ず耕作するなら参入を認める。
- ・ 都市近郊農業の為個人経営を支援してほしい。
- ・ 公営農業

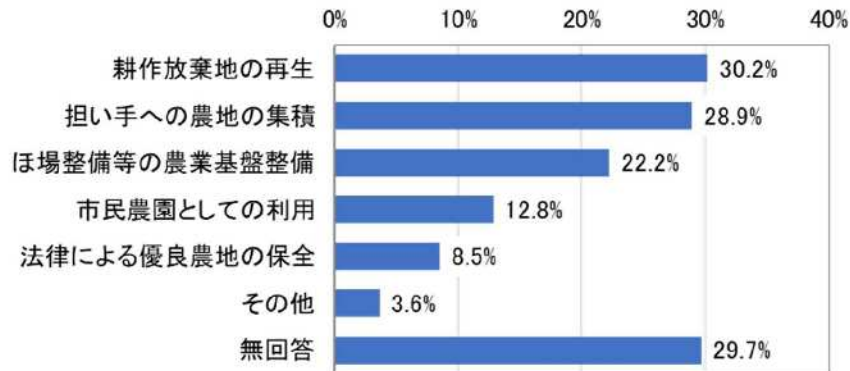


## 農地についてお伺いします。

問28 農地を保全するために必要と思うものをお教えてください。(2つまで○)

農地を保全するために必要と思うものでは、「耕作放棄地の再生」が30.2%と最も多く、次いで「担い手への農地の集積」が28.9%、「ほ場整備等の農業基盤整備」が22.2%となっています。

農地を保全するために必要と思うもの	回答数	割合(%)
耕作放棄地の再生	426	30.2%
担い手への農地の集積	408	28.9%
ほ場整備等の農業基盤整備	314	22.2%
市民農園としての利用	181	12.8%
法律による優良農地の保全	120	8.5%
その他	51	3.6%
無回答	419	29.7%
回答者数	1,412	



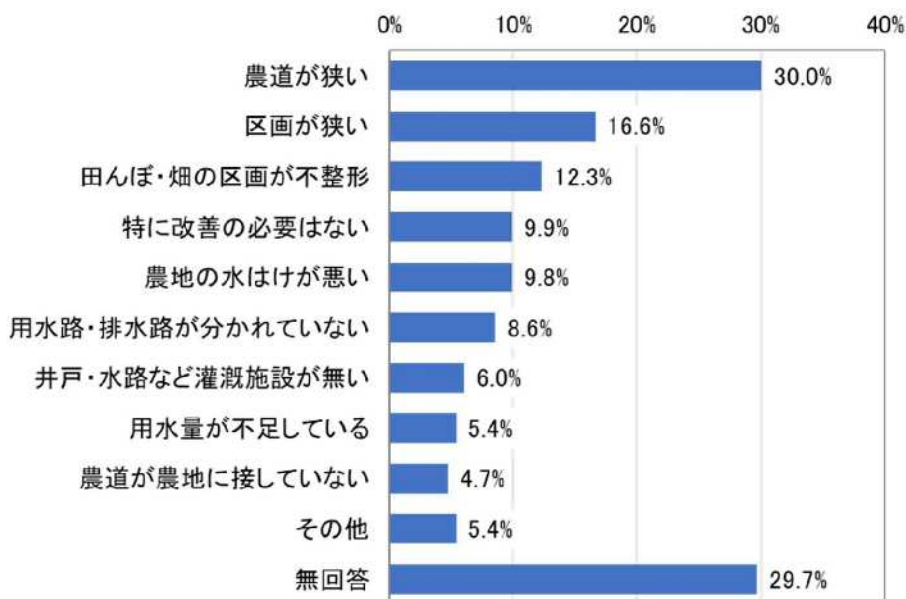
### その他の回答

- ・ 担い手の確保 (2件)
- ・ 開発してほしい。
- ・ ソーラーパネルや遊水地等の転換
- ・ 国営地
- ・ 環境悪化を防ぐための保全、補助金
- ・ 農地(水田)の活用について方向(指針)の明確化。
- ・ 個々の相対で賃借が良いと思う。
- ・ 農地集積、集約化に反対する地権者への注意喚起及び罰則。
- ・ 外国人がいつの間にか住んで国が混乱することはどうなりますか。
- ・ 集積農地付近への住居斡旋。(通い農業は大変です)
- ・ 放棄地地主への罰金を科すなどの法制化。
- ・ 農地は田が約1反あるのみです。
- ・ 空き農地を市の市民の活用場へ変えていく。
- ・ 耕作放棄地をつくらない方法又は、守る組織がほしい。
- ・ 市民生活の上で文化的な環境になれば良い。
- ・ 農業に携わる者の収入の安定化と米消費者の増加策。
- ・ 企業に金銭援助をするなら個人にだし、小作人を大切にすべき。
- ・ 道路の草刈り、年2回
- ・ 売り (2件)
- ・ 農地の開発、売却
- ・ 企業参入の促進
- ・ 保全の必要なし。
- ・ 農地貸し出しのルール化

問29 現在の農業基盤について改善が必要と考えることをお教えてください。(2つまで○)

現在の農業基盤に必要な改善では、「農道が狭い」が 30.0%と最も多く、次いで「区画が狭い」が 16.6%、「田んぼ・畑の区画が不整形」が 12.3%となっています。

農地を保全するために必要と思うもの	回答数	割合(%)
農道が狭い	424	30.0%
区画が狭い	235	16.6%
田んぼ・畑の区画が不整形	174	12.3%
特に改善の必要はない	140	9.9%
農地の水はけが悪い	139	9.8%
用水路・排水路が分かれていない	121	8.6%
井戸・水路など灌漑施設が無い	85	6.0%
用水量が不足している	76	5.4%
農道が農地に接していない	67	4.7%
その他	76	5.4%
無回答	419	29.7%
回答者数	1,412	



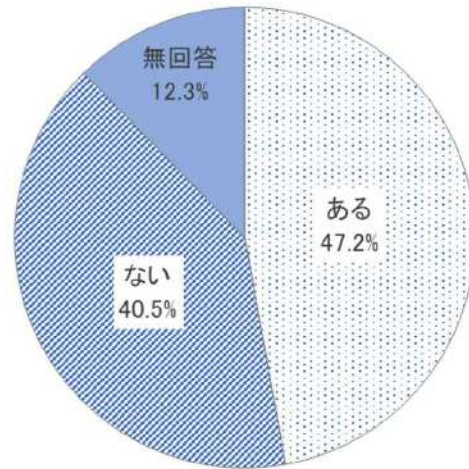
## その他の回答

- ・ 用水路、排水路の整備（8件）
- ・ 雑排水の処理（水質検査）
- ・ かんがい施設は農地の70%位ですが、今日気温（天気）では水が必要。
- ・ 水路が水の通りが悪いので他人に貸したくても貸すこと出来ない。水がないので他人に貸すことも出来ず、収入はなく道幅もないので人に耕してもらおう事も出来ず、除草代ばかりかかって売ろうとしても場所的に売る事も出来ない場所だと農業委員会から言われました。
- ・ 昭和30年初めに実施した暗渠設備が大きく劣化している件。素焼きの土管が劣化。
- ・ 「用水路・排水路が分かれていない」「井戸・水路など灌漑施設が無い」「用水量が不足している」。とにかく悪いところがあり。
- ・ 用地が土壌施設の為、非常に養生（雑草、埋まる等）が必要→パイプライン、U字涌化。
- ・ 農道には大型車の侵入を禁止すべき。（3件）
- ・ 農道への理解がほしいです。
- ・ 未舗装の道がでこぼこ。大仙波の田。
- ・ 農業者でない人に農道を通行され、お互いに邪魔になる。
- ・ 農道を近道にされている。水上公園への近道にもされている。
- ・ 農道の整備がされていない。（地域の人に任されている）
- ・ 雨が降ると軽トラでも進入できない。整備やってもらいたい。
- ・ 水田の深い場所（機械が入らないところ）。
- ・ 農地の地価が安い時に道路を少なくとも6m幅くらい広くした方がよい。（道路のどうあげがあるから）
- ・ 耕作放棄地が多いので農業からの脱却。
- ・ 集約的農地耕作の経営
- ・ 農地の活用方法によって違ってくる。
- ・ スプロール化した農地と田内の再編成
- ・ 休耕地の利用
- ・ 農地集約化に反対する地権者への注意喚起
- ・ 私有地、固有値の管理をきちんとしてほしい。
- ・ 農業基盤は経済面が必要。
- ・ 黒土でない。
- ・ 様子に井戸を使用しているが、毎年多額に電気量がかかる。井戸の整備等にも多くの費用がかかり、組合費ではまかないきれない。
- ・ 田んぼを埋め立てしている。井戸等の負担となるものが多くなりそう。
- ・ 住宅からのクレームがあるので、近くの住民の理解が必要。
- ・ 地域住民との共存共栄は難しい。農業がやりにくくなっている。（調整区域に住宅が建ち始めているため）
- ・ 住宅と農地が接しているため、音、ホコリ、時間等で住民に気兼ね。
- ・ 農業従事者がどうして減少するか考えるのが1番。
- ・ 必要とは考えるが、現状の社会状態では大規模な改善は不可。現状を少しずつ改善していくしかない。
- ・ 農業従事者の意識改革
- ・ 自分の地域に問題なし
- ・ 将来はわかりかねます。

問30 あなたが所有している農地で耕作していない農地はありますか。(1つに○)

所有している農地で耕作していない農地はあるかでは、「ある」が 47.2%、「ない」が 40.5%となっています。

耕作していない農地	回答数	割合(%)
ある	666	47.2%
ない	572	40.5%
無回答	174	12.3%
回答者数	1,412	100.0%

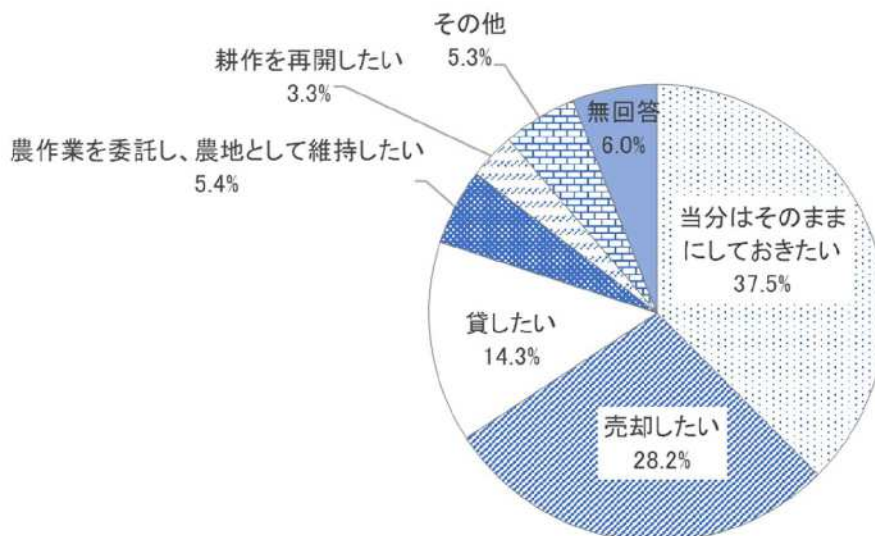


問30で「ある」と回答した方

問31 耕作していない農地を今後どのように利用したいですか。(1つに○)

耕作していない農地の今後の利用法では、「当分はそのままにしておきたい」が 37.5%と最も多く、次いで「売却したい」が 28.2%、「貸したい」が 14.3%となっています。

耕作していない農地の今後の利用法	回答数	割合(%)
当分はそのままにしておきたい	250	37.5%
売却したい	188	28.2%
貸したい	95	14.3%
農作業を委託し、農地として維持したい	36	5.4%
耕作を再開したい	22	3.3%
その他	35	5.3%
無回答	40	6.0%
回答者数	666	100.0%



## その他の回答

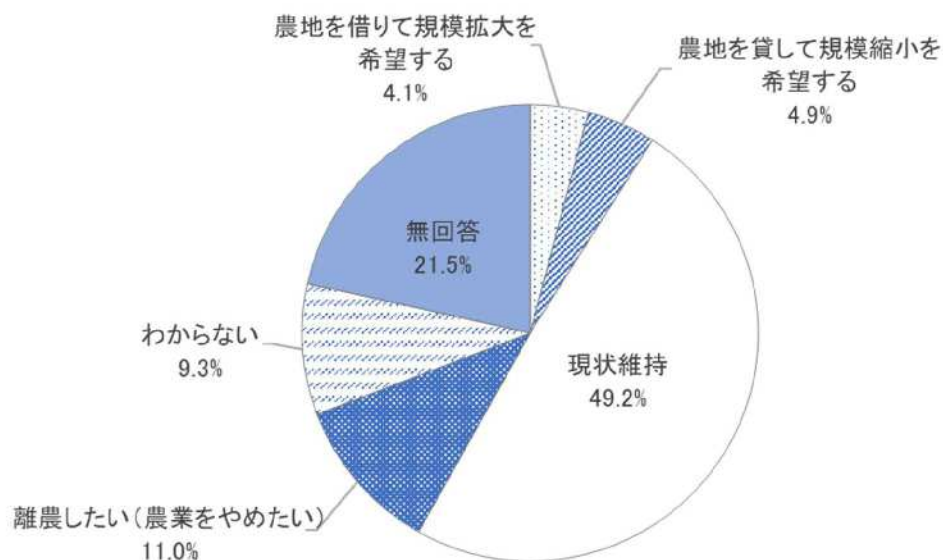
- ・ 川越市古谷上大字握津の土地ですが、国土交通省に買い上げお願いしたい。
- ・ 国にあげたい。
- ・ 無償贈与したい。
- ・ 現在、公園にして、川越市に貸している。
- ・ 市や市民のために必要な施設類であれば売却も検討。
- ・ 売却したくとも買い手がいない。貸したいけど借り手がいない。
- ・ 来年度より貸す予定
- ・ 遠い農地を近い農地と交換を願いたい。
  
- ・ 米の値段が上がれば再開したい。
- ・ 営農していきたい。
- ・ 開発
- ・ 体の具合をみてから。
- ・ 定年したら。
- ・ 障害者施設の人たちと一緒に農業・農地を活用したい。
  
- ・ 未定
- ・ 貸地のままにしておきたい。
- ・ 自己保全
- ・ 連作防止に使用
- ・ 作付土地と休耕地を交互に行っている。
- ・ 農作物を作付けできる環境の場所ではなくなったため、そのままにしておく。
- ・ まわりの方が夏は駐車場に貸していらっしゃるようなので仕方なく、夏は除草剤をときどきふっています。
- ・ 日陰のため。
- ・ 道路と接していないのでどうにもならない。
- ・ 整備されていないため、耕作できない（昔の苗間）かんがいの不備のため区画が狭い。
  
- ・ 農地の一部を子供世帯の住居建築の為、宅地化したい。
- ・ 会社員です。農業してません。



問32 今後の農地の拡大・縮小の意向をお教えてください。(1つに○) 「農地を借りて規模拡大を希望する」「農地を貸して規模縮小を希望する」を選択された方は数字も記入してください。(注) 1反は10aとしてください。

農地の拡大・縮小の意向では、「現状維持」が49.2%と最も多く、「離農したい(農業をやめたい)」が11.0%となっています。

農地の拡大・縮小の意向	回答数	割合(%)
農地を借りて規模拡大を希望する	58	4.1%
農地を貸して規模縮小を希望する	69	4.9%
現状維持	694	49.2%
離農したい(農業をやめたい)	156	11.0%
わからない	131	9.3%
無回答	304	21.5%
回答者数	1,412	100.0%





### 【農地を借りて規模拡大を希望する】

農地を借りて規模拡大を希望すると回答した方の現状では、「100～200a 未満」、「200～300a 未満」がともに 58 件中 11 件と多くなっています。希望では、「50a(5 反) 未満」、「50～100a 未満」、「300～500a 未満」が、いずれも 58 件中 8 件と多くなっています。

増加区分	現状		希望	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
50a(5反) 未満	8	13.8%	8	13.8%
50～100a未満	8	13.8%	8	13.8%
100～200a未満	11	19.0%	6	10.3%
200～300a未満	11	19.0%	6	10.3%
300～500a未満	6	10.3%	8	13.8%
500～1000a未満	2	3.4%	6	10.3%
1000～2000a未満	3	5.2%	3	5.2%
2000～3000a未満	0	0.0%	3	5.2%
3000a(30ha) 以上	1	1.7%	3	5.2%
無回答	8	13.8%	7	12.1%
回答者数	58	100.0%	58	100.0%

※回答が少ないため、表のみ掲載しています。

### 【農地を貸して規模縮小を希望する】

農地を貸して規模縮小を希望すると回答した方の現状では、「50a(5 反) 未満」が 69 件中 17 件と多くなっています。

希望では、「50a(5 反) 未満」が 69 件中 25 件と多くなっています。

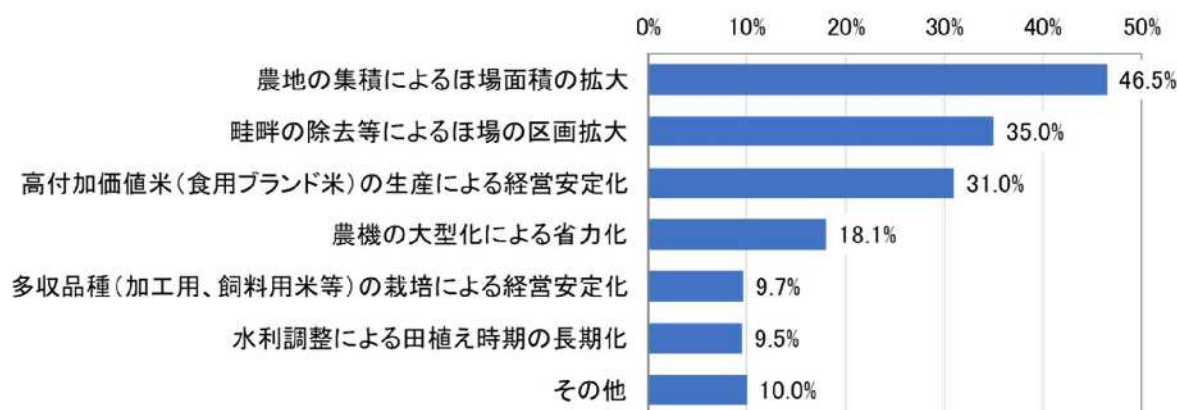
増加区分	現状		希望	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
50a(5反) 未満	17	24.6%	25	36.2%
50～100a未満	16	23.2%	13	18.8%
100～200a未満	11	15.9%	5	7.2%
200～300a未満	9	13.0%	1	1.4%
300～500a未満	0	0.0%	2	2.9%
500～1000a未満	0	0.0%	1	1.4%
無回答	16	23.2%	22	31.9%
回答者数	69	100.0%	69	100.0%

※回答が少ないため、表のみ掲載しています。

問33 水稻を栽培する方にお伺いします。担い手の農業者等が経営規模を拡大するためにはどういった施策が必要とお考えになりますか。(2つまで○)

担い手の農業者等が経営規模を拡大するために必要な施策では、「農地の集積によるほ場面積の拡大」が46.5%と最も多く、次いで「畦畔の除去等によるほ場の区画拡大」が35.0%、「高付加価値米（食用ブランド米）の生産による経営安定化」が31.0%となっています。

担い手の農業者等が経営規模を拡大するのに必要な施策	回答数	割合(%)
農地の集積によるほ場面積の拡大	255	46.5%
畦畔の除去等によるほ場の区画拡大	192	35.0%
高付加価値米(食用ブランド米)の生産による経営安定化	170	31.0%
農機の大型化による省力化	99	18.1%
多収品種(加工用、飼料用米等)の栽培による経営安定化	53	9.7%
水利調整による田植え時期の長期化	52	9.5%
その他	55	10.0%
回答者数	548	



※回答した方のみを母数にしています。

**その他の回答**

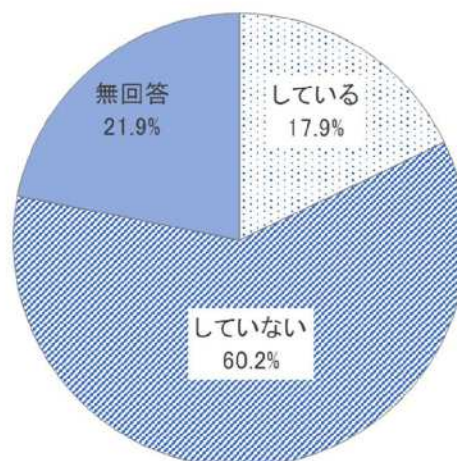
- ・ 米価の価格引き上げ (2件)
- ・ 将来性が悪い。(安すぎる)
- ・ 米の価格がもう少し高くなってくれると良い。
- ・ 米価が暴落。生産コスト15,000円は必要。60K。
- ・ 勤め人と同じように安定した収入でなければやり手はいない。個人経営では。
- ・ 先にも言いましたが、米価が安すぎる。よっぽど大規模にしないと所得につながらない。機械を使うので一町や二町でもマイナスです。
- ・ 農業機械の安値、農地の規制の緩和
- ・ 畦畔の除去等によるほ場の区画拡大 (2件)
- ・ 区画整理
- ・ 「農地の集積によるほ場面積の拡大」に反対する地権者への徹底した注意喚起
- ・ 水利のパイプライン化で水管理の簡便化
- ・ 水路なく、今の米価では利益なく赤字。規模拡大しても赤字では？個別の補助金が必要かも。
- ・ 米消費量の増大方策、ブランド米の輸出方策
- ・ 小麦、大豆を増産する。
- ・ 耕作放棄の多量化
- ・ 今現在工作してもらっている。
- ・ 米価及び資材価格の安定化
- ・ 価格保障
- ・ 米価格の向上。(補助金を入れる)
- ・ 法人化
- ・ 作業しやすい理想のほ場作り
- ・ 水管理の自動化
- ・ 井戸、水路の整備。
- ・ 水稻
- ・ 小麦の裏作
- ・ 水稻栽培なし
- ・ 自作農地があるため農業しています。

## 生産緑地についてお伺いします。

### 問34 あなたは生産緑地を所有していますか。(1つに○)

生産緑地を所有については、所有「している」が17.9%、「していない」が60.2%となっています。

生産緑地を所有	回答数	割合(%)
している	253	17.9%
していない	850	60.2%
無回答	309	21.9%
回答者数	1,412	100.0%



### 問34で「している」と回答した方

### 問35 あなたの所有する生産緑地と、そのうち特定生産緑地制度を利用し10年延長した生産緑地の規模を、それぞれ教えてください。(注) 1反は10aとしてください。

#### 【生産緑地】

生産緑地の規模では、「50a(5反)未満」が44.3%と最も多く、次いで「50～100a未満」が15.0%となっています。

#### 【そのうち、10年延長分】

そのうち、10年延長分では、「50a(5反)未満」が34.0%と最も多く、次いで「50～100a未満」が9.9%となっています。

#### 【生産緑地】

生産緑地	回答数	割合(%)
50a(5反)未満	112	44.3%
50～100a未満	38	15.0%
100～200a未満	27	10.7%
500～1000a未満	1	0.4%
1000～2000a未満	1	0.4%
2000～3000a未満	1	0.4%
無回答	73	28.9%
回答者数	253	100.0%

#### 【そのうち、10年延長分】

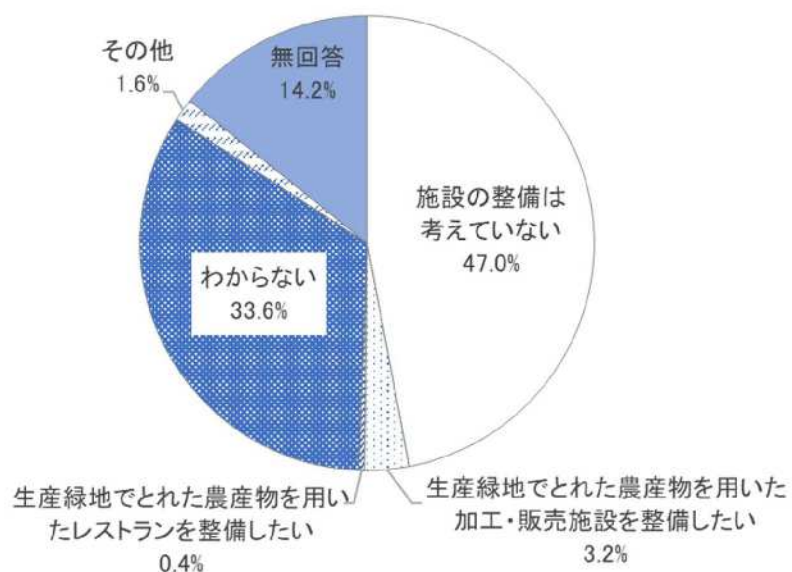
10年延長分	回答数	割合(%)
0(なし)	9	3.6%
50a(5反)未満	86	34.0%
50～100a未満	25	9.9%
100～200a未満	20	7.9%
500～1000a未満	1	0.4%
1000～2000a未満	1	0.4%
無回答	111	43.9%
回答者数	253	100.0%

問36 生産緑地地区内では、農産物直売所や農家レストラン等の設置ができますが、これらについて、どのようにお考えですか。(1つに○)

生産緑地地区内での農産物直売所や農家レストラン等の設置については、「施設の整備は考えていない」が47.0%と最も多くなっています。一方、設置については、「生産緑地でとれた農産物を用いた加工・販売施設を整備したい」が3.2%となっています。

また「わからない」が33.6%となっています。

農産物直売所や農家レストラン等の設置について	回答数	割合(%)
施設の整備は考えていない	119	47.0%
生産緑地でとれた農産物を用いた加工・販売施設を整備したい	8	3.2%
生産緑地でとれた農産物を用いたレストランを整備したい	1	0.4%
わからない	85	33.6%
その他	4	1.6%
無回答	36	14.2%
回答者数	253	100.0%



#### その他の回答

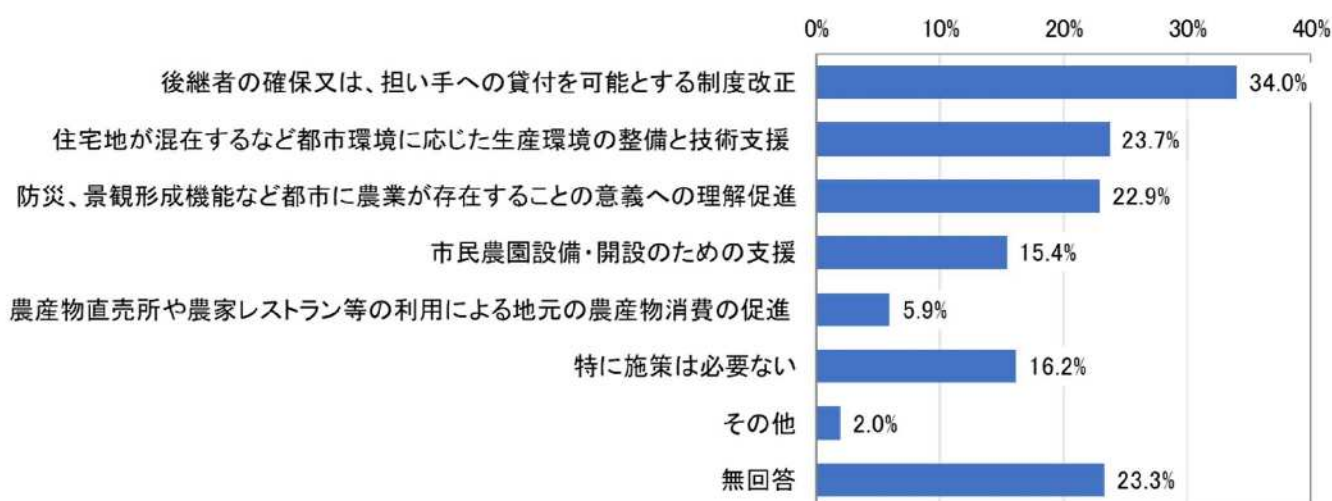
- ・ 生産緑地所有しているが解除したい。
- ・ 後継者に託す。



問37 生産緑地の維持に必要と思われる施策についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

生産緑地の維持に必要と思われる施策では、「後継者の確保又は、担い手への貸付を可能とする制度改正」が 34.0%と最も多く、次いで「住宅地が混在するなど都市環境に応じた生産環境の整備と技術支援」が 23.7%、「防災、景観形成機能など都市に農業が存在することの意義への理解促進」が 22.9%となっています。一方、「特に施策は必要ない」が 16.2%となっています。

生産緑地の維持に必要と思われる施策	回答数	割合(%)
後継者の確保又は、担い手への貸付を可能とする制度改正	86	34.0%
住宅地が混在するなど都市環境に応じた生産環境の整備と技術支援	60	23.7%
防災、景観形成機能など都市に農業が存在することの意義への理解促進	58	22.9%
市民農園設備・開設のための支援	39	15.4%
農産物直売所や農家レストラン等の利用による地元の農産物消費の促進	15	5.9%
特に施策は必要ない	41	16.2%
その他	5	2.0%
無回答	59	23.3%
回答者数	253	



その他の回答

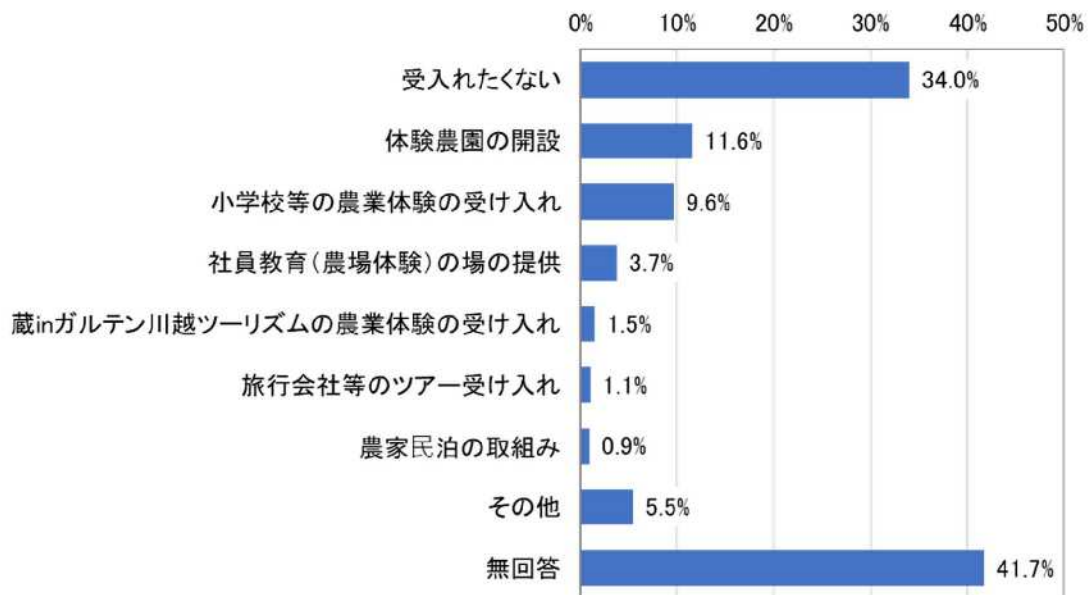
- ・ 農業は儲からない。担い手は居なくなる。

## 農業従事者以外の方々との交流についてお伺いします。

問38 農業者以外の方々との交流について、どのような形であれば受け入れ・参画しても良いとお考えになりますか。(2つまで○)

農業者以外の方々との交流についての考えでは、「受入れたくない」が34.0%と最も多く、次いで「体験農園の開設」が11.6%、「小学校等の農業体験の受け入れ」が9.6%となっています。

農業者以外の方々との交流について	回答数	割合(%)
受入れたくない	480	34.0%
体験農園の開設	164	11.6%
小学校等の農業体験の受け入れ	136	9.6%
社員教育(農場体験)の場の提供	52	3.7%
蔵inガルテン川越ツーリズムの農業体験の受け入れ	21	1.5%
旅行会社等のツアー受け入れ	15	1.1%
農家民泊の取組み	13	0.9%
その他	77	5.5%
無回答	589	41.7%
回答者数	1,412	





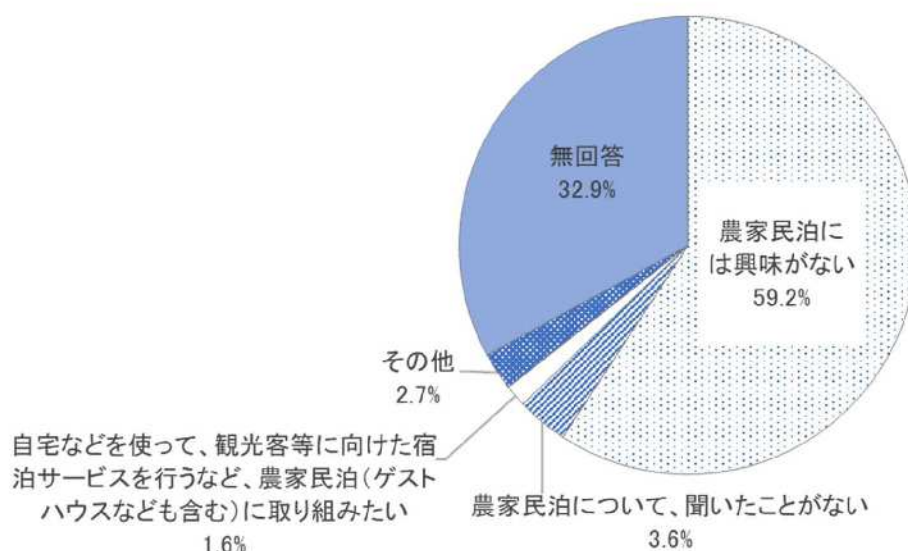
## その他の回答

- ・ 「社員教育（農場体験）の場の提供」、「小学校等の農業体験の受け入れ」とも受け入れています。（広谷小学校）
- ・ 現在、事業として行っています。「体験農園の開設」「旅行会社等のツアー受け入れ」「社員教育（農場体験）の場の提供」「小学校等の農業体験の受け入れ」
- ・ 現在 JA の農協塾の支援をしている。
- ・ すでに行っています。
  
- ・ 技術指導や学習をふまえた体験農園
- ・ 視察等の時の意見（情報）交換
- ・ 障害者施設の人達との農地活用
- ・ 農業大学等の研修生受け入れ
- ・ 今のままで良いです。
- ・ 将来の農業をどのようにしたいか、真剣に考えられる人。
- ・ 検討中
  
- ・ 考えたことがない。(2件)
- ・ 高齢なので受け入れ等は不可能。
- ・ 仕事で手一杯。
- ・ 対応できません。
- ・ 知識がないのでない。
- ・ それほどの広さはない。
- ・ 手間とコストで難しいと思います。
- ・ 年なので（2人とも）受け入れなし。
- ・ 交流の内容を知らないので、コメントは難しい。
- ・ 休耕しているのでわかりません。
- ・ 小規模で該当せず。
  
- ・ 土地は提供するが、自分のみではできない。
- ・ 市役所の方にお任せします。どうぞ使用して下さい。
- ・ 売却以外考えていない。
- ・ やめたい。田んぼいらない。
- ・ レジャー気分では困る。
- ・ 地域の相違が必要。

問39 農家民泊について、取り組んでみたいと思いますか。(1つに〇)

農家民泊については、「農家民泊には興味がない」が 59.2%と最も多く、次いで「農家民泊について、聞いたことがない」が 3.6%、「自宅などを使って、観光客等に向けた宿泊サービスを行うなど、農家民泊(ゲストハウスなども含む)に取り組みたい」が 1.6%となっています。

農家民泊について	回答数	割合(%)
農家民泊には興味がない	836	59.2%
農家民泊について、聞いたことがない	51	3.6%
自宅などを使って、観光客等に向けた宿泊サービスを行うなど、農家民泊(ゲストハウスなども含む)に取り組みたい	22	1.6%
その他	38	2.7%
無回答	465	32.9%
回答者数	1,412	100.0%



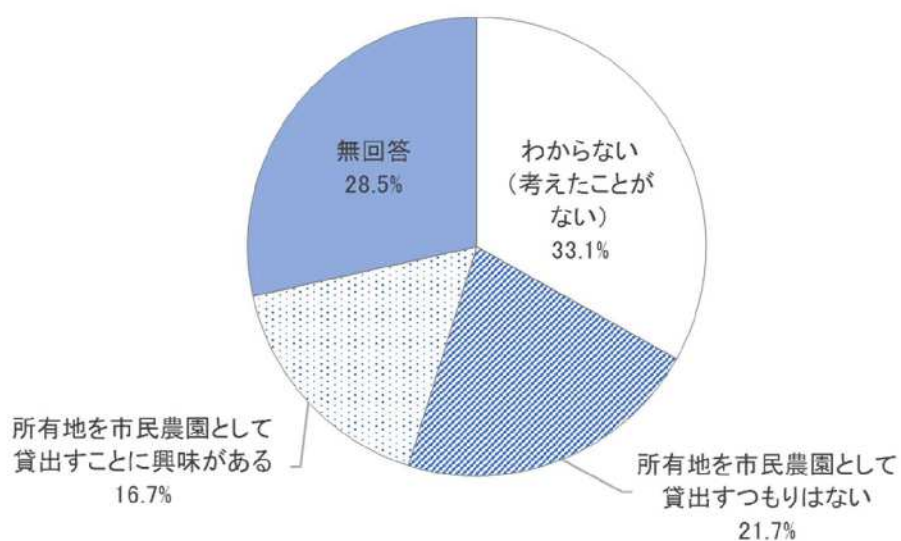
**その他の回答**

- ・ 宿泊施設をしっかり作るべき。
- ・ 家族の協力が必要。現状、話に出ない。
- ・ 興味はあるが取り組むには課題がある。
- ・ 高齢なので受け入れ等は不可能。
- ・ 自分でやりたいと思わないが希望者が行うのは良い取り組みだと思う。
- ・ 小規模で該当せず。
- ・ 知識がないのでない。
- ・ できない。
- ・ 年のことを考えると考えたくない。
- ・ 年を取り過ぎました。現状のみ。
- ・ どなたか考えていただけましたら嬉しいです。
- ・ どの程度の民泊を想定しているかが不明のため検討できない。
- ・ 農業体験と農家民泊を同時に行うことに興味がある。
- ・ 老人のため。
- ・ 思わない。
- ・ 休耕しているのでわかりません。
- ・ 後継者に託す。

問40 市民農園として、農地を貸出すことについてどのようにお考えですか。(1つに○)

市民農園として、農地を貸出すことについては、「わからない(考えたことがない)」が33.1%と最も多く、次いで「所有地を市民農園として貸出すつもりはない」が21.7%、「所有地を市民農園として貸出すことに興味がある」が16.7%となっています。

市民農園として、農地を貸出すことについて	回答数	割合(%)
わからない(考えたことがない)	468	33.1%
所有地を市民農園として貸出すつもりはない	306	21.7%
所有地を市民農園として貸出すことに興味がある	236	16.7%
無回答	402	28.5%
回答者数	1,412	100.0%

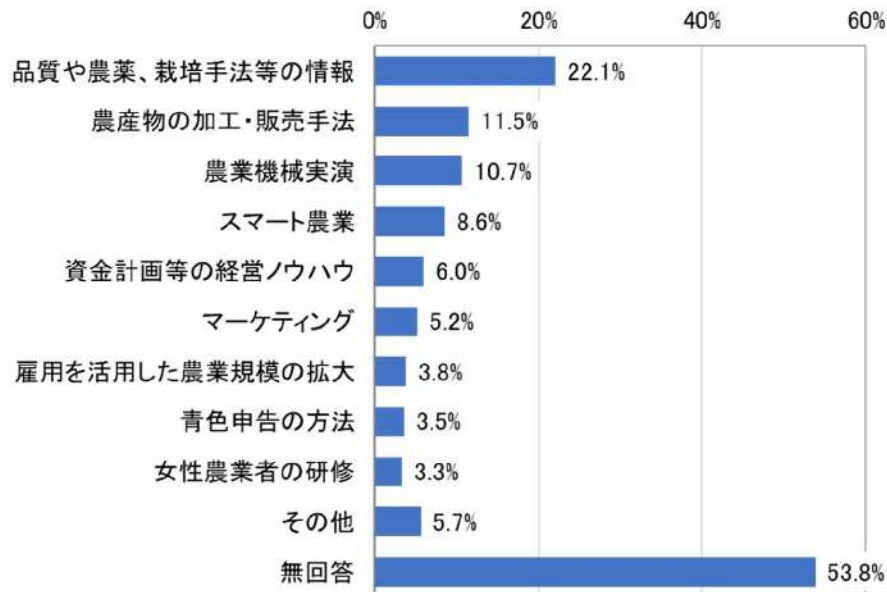


## 市の施策について

問41 川越市農業ふれあいセンターは農業者の皆様の研修の場になっています。どういった内容の研修（講習）に参加してみたいですか。（あてはまるものすべてに○）

参加してみたい農業者の研修（講習）では、「品質や農薬、栽培手法等の情報」が 22.1%と最も多く、次いで「農産物の加工・販売手法」が 11.5%、「農業機械実演」が 10.7%となっています。

川越市農業ふれあいセンターで参加してみたい研修内容	回答数	割合(%)
品質や農薬、栽培手法等の情報	312	22.1%
農産物の加工・販売手法	162	11.5%
農業機械実演	151	10.7%
スマート農業	121	8.6%
資金計画等の経営ノウハウ	85	6.0%
マーケティング	74	5.2%
雇用を活用した農業規模の拡大	54	3.8%
青色申告の方法	50	3.5%
女性農業者の研修	47	3.3%
その他	80	5.7%
無回答	760	53.8%
回答者数	1,412	



### その他の回答

- ・ 参加希望なし。(8件)
- ・ 今のままで良いです。(3件)
- ・ 農業技術の講習会(2件)
- ・ 農業書籍の閲覧
- ・ 農業から他の産業への業態移行、土地利用に関する研修。
- ・ 農業を行っていないのでわからない。
- ・ 該当しませんが、このようなバックアップが必要では。
- ・ 高齢のため参加出来ない。(3件)
- ・ 農業からの脱却。(2件)
- ・ 困ったときにすぐに相談に乗ってくれる体制
- ・ 研修開催スケジュールが知りたい。

問42 以下に示す16項目の川越市の農業振興施策の重要度と満足度について、あなたのお考えを教えてください。(重要度と満足度、それぞれあてはまる番号1つに○)

【農業振興施策についての重要度】

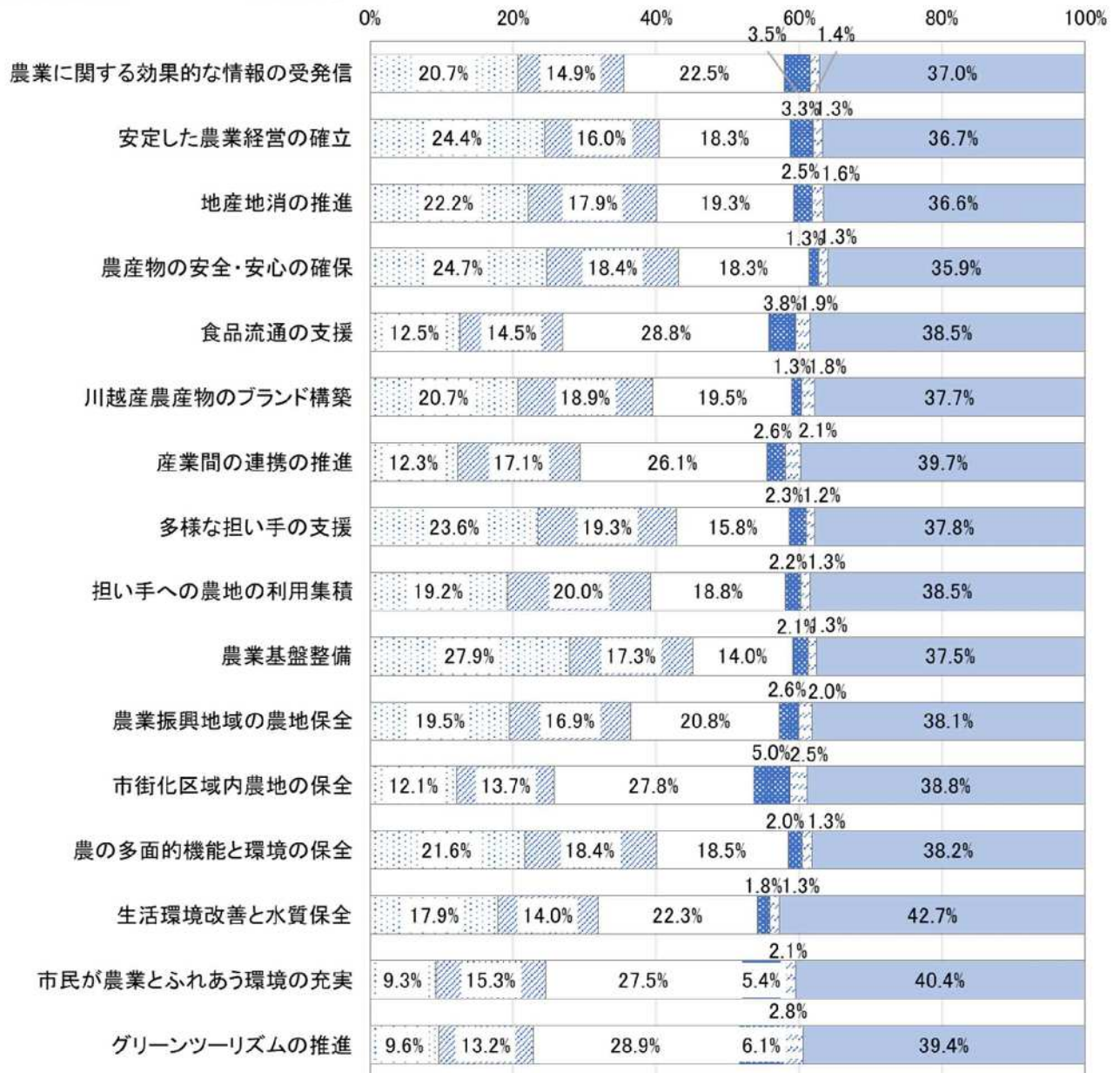
「重要である」「やや重要である」を合わせた『重要である』という回答が最も多い項目は、「農業基盤整備」(45.2%)で、次いで「農産物の安全・安心の確保」(43.1%)、「多様な担い手の支援」(42.8%)となっています。

一方、「あまり重要でない」「重要でない」を合わせた『重要でない』という回答が最も多い項目は、「グリーンツーリズムの推進」(8.9%)で、次いで「市街化区域内農地の保全」、「市民が農業とふれあう環境の充実」(ともに7.5%)となっています。

農業振興施策についての重要度	重要である	やや重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	無回答	合計
農業に関する効果的な情報の受発信	292 20.7%	210 14.9%	317 22.5%	50 3.5%	20 1.4%	523 37.0%	1,412 100.0%
安定した農業経営の確立	345 24.4%	226 16.0%	258 18.3%	46 3.3%	19 1.3%	518 36.7%	1,412 100.0%
地産地消の推進	313 22.2%	253 17.9%	272 19.3%	35 2.5%	22 1.6%	517 36.6%	1,412 100.0%
農産物の安全・安心の確保	349 24.7%	260 18.4%	259 18.3%	18 1.3%	19 1.3%	507 35.9%	1,412 100.0%
食品流通の支援	177 12.5%	205 14.5%	407 28.8%	53 3.8%	27 1.9%	543 38.5%	1,412 100.0%
川越産農産物のブランド構築	292 20.7%	267 18.9%	275 19.5%	19 1.3%	26 1.8%	533 37.7%	1,412 100.0%
産業間の連携の推進	173 12.3%	242 17.1%	369 26.1%	37 2.6%	30 2.1%	561 39.7%	1,412 100.0%
多様な担い手の支援	333 23.6%	272 19.3%	223 15.8%	33 2.3%	17 1.2%	534 37.8%	1,412 100.0%
担い手への農地の利用集積	271 19.2%	283 20.0%	266 18.8%	31 2.2%	18 1.3%	543 38.5%	1,412 100.0%
農業基盤整備	394 27.9%	244 17.3%	198 14.0%	29 2.1%	18 1.3%	529 37.5%	1,412 100.0%
農業振興地域の農地保全	276 19.5%	239 16.9%	294 20.8%	37 2.6%	28 2.0%	538 38.1%	1,412 100.0%
市街化区域内農地の保全	171 12.1%	194 13.7%	393 27.8%	71 5.0%	35 2.5%	548 38.8%	1,412 100.0%
農の多面的機能と環境の保全	305 21.6%	260 18.4%	261 18.5%	28 2.0%	19 1.3%	539 38.2%	1,412 100.0%
生活環境改善と水質保全	253 17.9%	197 14.0%	315 22.3%	25 1.8%	19 1.3%	603 42.7%	1,412 100.0%
市民が農業とふれあう環境の充実	131 9.3%	216 15.3%	388 27.5%	76 5.4%	30 2.1%	571 40.4%	1,412 100.0%
グリーンツーリズムの推進	136 9.6%	186 13.2%	408 28.9%	86 6.1%	40 2.8%	556 39.4%	1,412 100.0%



【農業振興施策についての重要度】



重要である   
 やや重要である   
 ふつう   
 あまり重要でない   
 重要でない   
 無回答

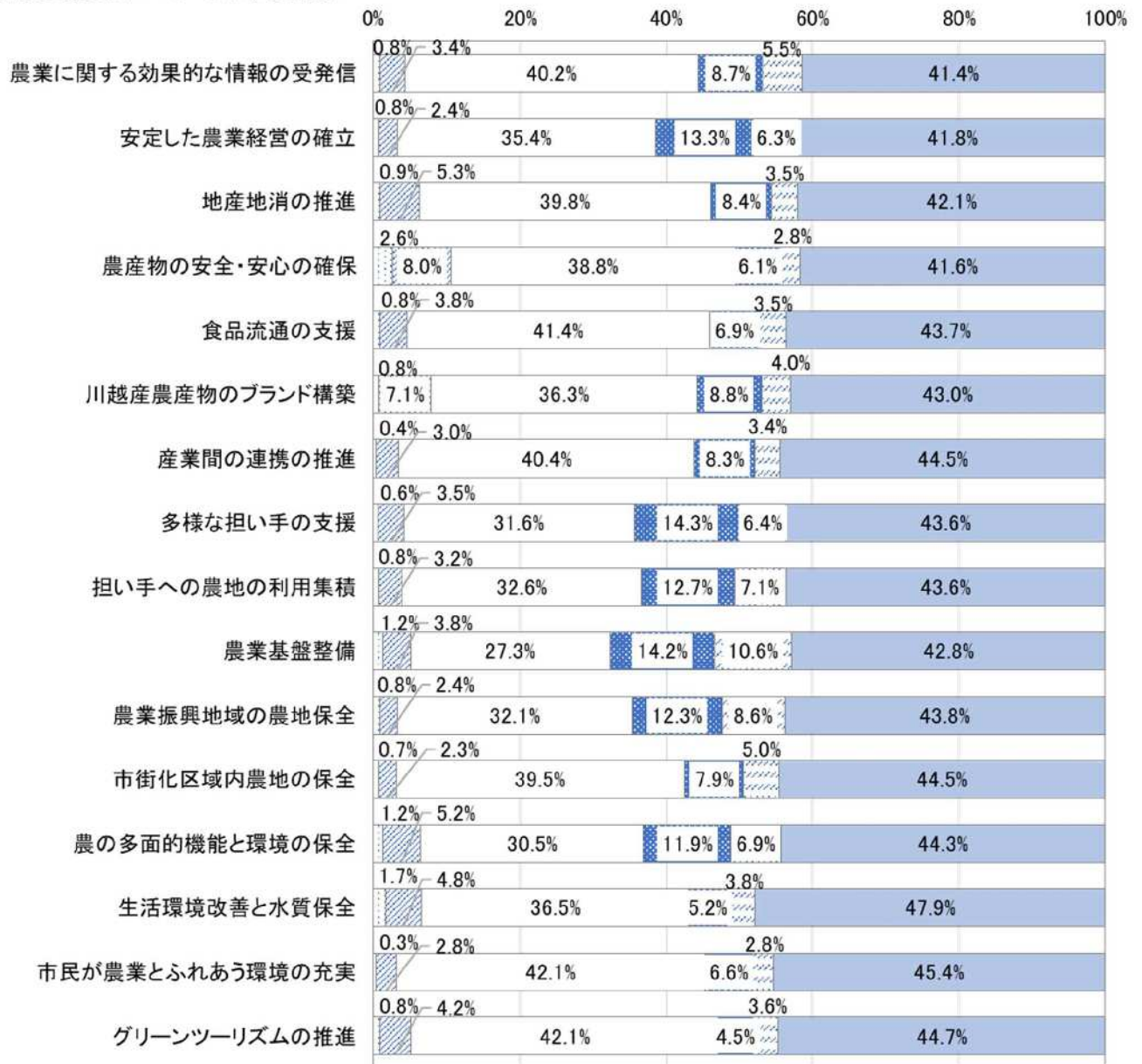
### 【農業振興施策についての満足度】

「満足である」「やや満足である」を合わせた『満足である』という回答が、最も多い項目は、「農産物の安全・安心の確保」(10.6%)で、次いで「川越産農産物のブランド構築」(7.9%)、「生活環境改善と水質保全」(6.5%)となっています。

一方、「やや不満である」「不満である」を合わせた『不満である』という回答が最も多い項目は、「農業基盤整備」(24.8%)で、次いで「農業振興地域の農地保全」(20.8%)、「多様な担い手の支援」(20.7%)となっています。

農業振興施策についての満足度	満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である	無回答	合計
農業に関する効果的な情報の受発信	12 0.8%	48 3.4%	567 40.2%	123 8.7%	77 5.5%	585 41.4%	1,412 100.0%
安定した農業経営の確立	11 0.8%	34 2.4%	500 35.4%	188 13.3%	89 6.3%	590 41.8%	1,412 100.0%
地産地消の推進	13 0.9%	75 5.3%	562 39.8%	118 8.4%	50 3.5%	594 42.1%	1,412 100.0%
農産物の安全・安心の確保	37 2.6%	113 8.0%	548 38.8%	86 6.1%	40 2.8%	588 41.6%	1,412 100.0%
食品流通の支援	12 0.8%	53 3.8%	584 41.4%	97 6.9%	49 3.5%	617 43.7%	1,412 100.0%
川越産農産物のブランド構築	11 0.8%	100 7.1%	513 36.3%	124 8.8%	57 4.0%	607 43.0%	1,412 100.0%
産業間の連携の推進	5 0.4%	43 3.0%	571 40.4%	117 8.3%	48 3.4%	628 44.5%	1,412 100.0%
多様な担い手の支援	9 0.6%	49 3.5%	446 31.6%	202 14.3%	90 6.4%	616 43.6%	1,412 100.0%
担い手への農地の利用集積	11 0.8%	45 3.2%	460 32.6%	180 12.7%	100 7.1%	616 43.6%	1,412 100.0%
農業基盤整備	17 1.2%	54 3.8%	386 27.3%	201 14.2%	149 10.6%	605 42.8%	1,412 100.0%
農業振興地域の農地保全	12 0.8%	34 2.4%	453 32.1%	173 12.3%	121 8.6%	619 43.8%	1,412 100.0%
市街化区域内農地の保全	10 0.7%	33 2.3%	558 39.5%	112 7.9%	70 5.0%	629 44.5%	1,412 100.0%
農の多面的機能と環境の保全	17 1.2%	74 5.2%	430 30.5%	168 11.9%	98 6.9%	625 44.3%	1,412 100.0%
生活環境改善と水質保全	24 1.7%	68 4.8%	516 36.5%	73 5.2%	54 3.8%	677 47.9%	1,412 100.0%
市民が農業とふれあう環境の充実	4 0.3%	40 2.8%	595 42.1%	93 6.6%	39 2.8%	641 45.4%	1,412 100.0%
グリーンツーリズムの推進	12 0.8%	60 4.2%	594 42.1%	64 4.5%	51 3.6%	631 44.7%	1,412 100.0%

【農業振興施策についての満足度】



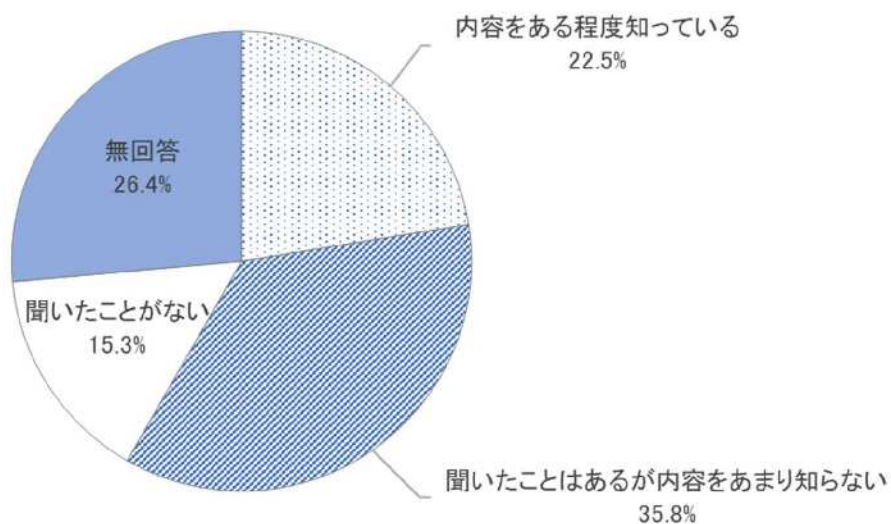
満足である  
  やや満足である  
  ふつう  
  やや不満である  
  不満である  
  無回答

問43 自然災害や農産物の価格低下などによる収入減少を補償する「収入保険制度」についてご存知でしょうか。(1つに○)

「収入保険制度」を知っているかでは、「内容をある程度知っている」「聞いたことはあるが内容をあまり知らない」を合わせた『知っている(聞いたことがある)』が58.3%となっています。

一方、「聞いたことがない」が15.3%となっています。

収入保険制度	回答数	割合(%)
内容をある程度知っている	317	22.5%
聞いたことはあるが内容をあまり知らない	506	35.8%
聞いたことがない	216	15.3%
無回答	373	26.4%
回答者数	1,412	100.0%

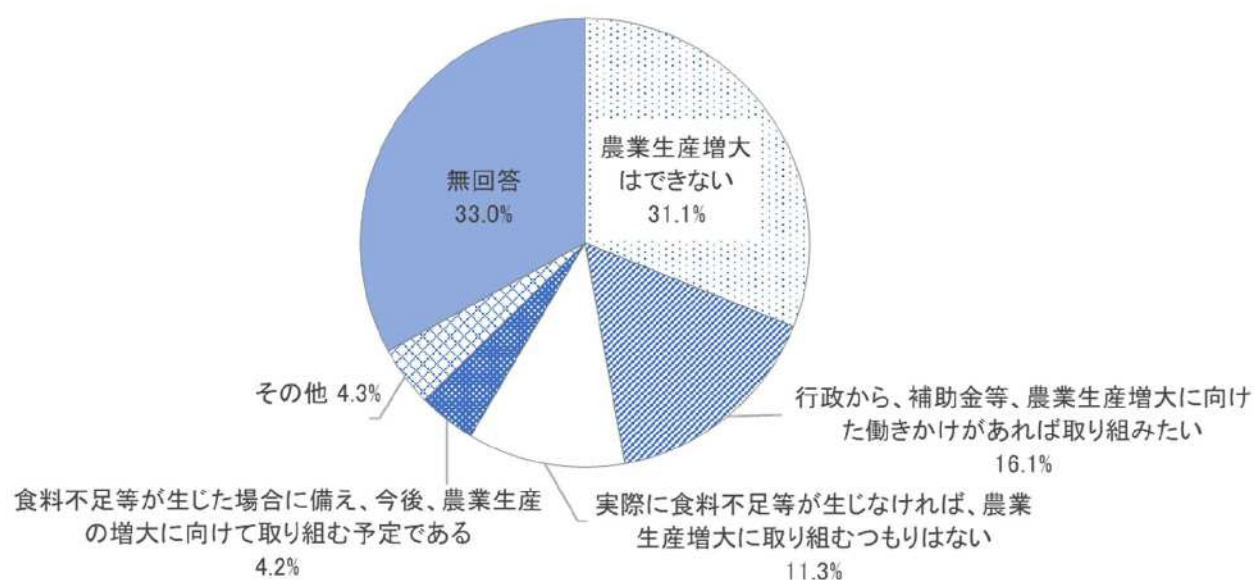




問44 食料安全保障について、あなたのお考えに近いものをお教えてください。(1つに○)

食料安全保障についての考え方では、「農業生産増大はできない」が 31.1%と最も多く、次いで「行政から、補助金等、農業生産増大に向けた働きかけがあれば取り組みたい」が 16.1%、「実際に食料不足等が生じなければ、農業生産増大に取り組むつもりはない」が 11.3%となっています。

食料安全保障	回答数	割合(%)
農業生産増大はできない	439	31.1%
行政から、補助金等、農業生産増大に向けた働きかけがあれば取り組みたい	227	16.1%
実際に食料不足等が生じなければ、農業生産増大に取り組むつもりはない	160	11.3%
食料不足等が生じた場合に備え、今後、農業生産の増大に向けて取り組む予定である	59	4.2%
その他	61	4.3%
無回答	466	33.0%
回答者数	1,412	100.0%





## その他の回答

- ・ 国が自給率向上の具体的施策を進めるべきである。(2件)
- ・ 個人では無理。(2件)
- ・ 自分では拡大は難しいが、安全保障の観点から遊休農地の活用を含めた、国内自給率の向上は取り組むべき事柄。
- ・ 国公営で食糧管理
- ・ 不足してからでは遅い。常に国全体として保険的な意味で補助金を出し、余ったら国際支援物資にすれば良い。
- ・ いずれは後継者ができなくなる時期は近いと思います。川越市の考えはどのようにしたいのか、物の順として決事を管理する機関を作って方向性を出してもらいたい。
  
- ・ 年齢的にできない。(2件)
- ・ 年齢と体調により、自給が精一杯である。
- ・ 現状維持。継続できれば良いと思っている。
  
- ・ 休耕水田の麦作利用。(2件)
- ・ 付加価値のある野菜、果物をつくっていきたい。
- ・ 可能な限り、増大したいと思うが、土地がない。
- ・ 金銭的にもどのくらいできるかわからない。
- ・ 何としても収入少ない。
  
- ・ 消費者に対し食糧生産の重要なことを考えてもらう必要がある。
- ・ 国民の理解は得られない。
  
- ・ 農業に従事する人がいないので考えられません。
- ・ 農業の方に生産増大を願いたいです。
- ・ 農業を廃業したい。
- ・ 農地貸出し中
- ・ 質問の回答とは違いますが、電気、水道が止まったときのために太陽光発電（ソーラーシェアリング）を利用して井戸につなげて稼働できたらいいと考えています。そうすれば災害時に「水」を近隣住民に提供できます。支援策（助成）はないでしょうか。
- ・ 准組合員。

問45 スマート農業について、お考えがありましたらお教えてください。

歳代	性別	記述
30	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>金額が高くて手が出ない。</li> <li>田んぼの除草で活躍が期待されるアイガモロボットを導入したい。</li> </ul>
40	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>川越の畑作農業はスマート農業には向いてないと思う。例えばドローンによる消毒は多品目が隣どなりにあるため、ドリフトの危険がある。水稻など同じ作物ばかりまわりにある地区は良いと思う。トラクターなどの直進機能付きなども区画が狭いためあまり意味がない。</li> <li>無人運転とかばかりに技術が進んでいるが、何か違うように感じている。</li> <li>施設農業であれば導入したいが。露地農業で耕作地が点々としているため不向き。費用対効果を期待できない。</li> </ul>
50	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>規模が小さい川越だとあまり効果がない。</li> <li>資本がないとできない取組みに感じます。スマート農業を推進されるのであれば手厚い支援提供が必要と感じます。</li> <li>スマート農業に取り組むための課題が多すぎる。</li> <li>常に安定した収入が確保されるのであれば取組みを検討したい</li> <li>水稻の場合、水管理のための朝夕の田まわりが一番負担となる。パイプによる給水設備を整備し、監視カメラとスマホを使った水管理システムがあると良い。田植えや稲刈りは農家の楽しみでもあるので苦ではない。この部分については手伝いも含めて農業体験を受け入れるのも良い。現にどの農家も家族・親戚総出である。</li> <li>やりたい人がやればよい。</li> <li>稲作の場合であれば、1区画1ha くらいの大区画でかつ、圃場が集積していなければ、自動運転やリモートセンシングを利用作業支援など、やる意味はない。川越の圃場では費用対効果を考えると全く無理。ただ行政でドローン・衛星によるセンシングデータを利用したサービスを提供していただければ、圃場ごとの状況がわかり、効率的な作業が可能になる。</li> </ul>
60	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>「費用面」が問題だと思う。</li> <li>各戸の生産物と耕作面積を拡大しなければ、スマート農業に適さない地域と考える。</li> <li>今の農業自体 65 歳～80 歳くらいの人たちが頑張っていますが、お金の面やそれをこなせる能力が果たしてできるか？未来に向けてスマート農業はいいこととは思いますが、実際に難しい。</li> <li>かえって農家を疲弊させるだけ。費用が掛かりすぎる。</li> <li>具体策がない。</li> <li>現状では機械代が高すぎると考えます。</li> <li>高価な農業機械の導入による農業は現実的ではない。その地域の実状を見据えたうえで地域にあったものにする必要がある。</li> <li>コストがかかることが心配。</li> <li>今回アンケートの協力することができませんでした。家は農業はやっていません。農地はありますがどうにかならないかという状況です。記入ができなくて申し訳ありませんでした。</li> <li>収入が少ないため、投資的なことが出来ない。農業をやめた方が楽。</li> <li>スマート農業への取組の為に補助金を充実させてほしい。</li> <li>スマート農業も良いが、それ以前に農業意欲を持てる農業従事者の育成が大切である。近年の傾向として農業従事者に対して雑になっているように思える。</li> </ul>

歳代	性別	記 述
60	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大規模農業の方は是非とも進めてもらうよう支援をお願いしたい。</li> <li>・ 田場整備が第一条件と考えます。</li> <li>・ 地域外耕作者も利用ができるように対応してほしい。</li> <li>・ 導入の為のコストが高価で気安く買えない。高齢で技術を習得できるか不安。</li> <li>・ 取り組みに対する支援を策定してほしい。</li> <li>・ なにがスマートなのか？そういう農業はどうなのかと思う。</li> <li>・ 農業機械同様お金のかかることばかりで農業はすべて赤字です。先祖維持できかねません。</li> <li>・ 農業者人口の減少、高齢化を考えるとスマート農業の推進は当然必要であり、先進的農業の取組は重要である。そのためには機械化への助成制度の充実も必要である。</li> <li>・ メリットは認めるが小規模農家では導入コストが課題である。</li> <li>・ 私たちの地域農業は土地もまだ集約されていないし、大型機械導入等は考えづらいです。水管理がタブレットでできるようになったら素晴らしい。</li> <li>・ 安心安全を前提に省力化、効率化は必要だと思う。農業法人のような大規模な圃場が無いと進まないと思うので、資金的にも自分では難しいと思う。</li> <li>・ 私個人では残された時間がなく無理だが、これからは省力化と効率化を進めるためドローンやGPSを活用した農業が必要だが、費用対効果に問題があると思う。この辺の支援方法を検討すべきだと思う。</li> <li>・ 大規模経営を視野に入れている農業経営者は、ロボット技術やICTを活用し、省力化や精密化等を目指して農業を推進する必要がある。しかし、当地区の近隣の多くの農家は、多額の農業投資をしたら、資金の回収が困難となり、生活が立ち行かなくなる。今以上に現実味がないと考える。</li> </ul>
	女	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農機具購入の助成金がないのか。</li> </ul>
	不明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今以上の経費をかけることは考えていない。</li> </ul>
70	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大きな資本が必要となるので時間がかかると思います。</li> <li>・ 基本的には良いと考えます。1～3 町歩、5～7 町歩などのスケールで、どうすれば外国人などに対応できるのか小生には理解できません。</li> <li>・ 現状のままで精一杯です。</li> <li>・ 後継者に任せる。</li> <li>・ 交付金額を増額してほしい。</li> <li>・ 交付金の使用に対して書類の簡素化が必要。</li> <li>・ これからはロボット技術や情報通信技術を活用した農業を主流にした取り組みが求められるので、省力化、精密化や高品質生産化をめざす農業を進められるよう、やる気のある農家を育てるような施策が必要と考える。</li> <li>・ 今後、より必要になると考えるが、推進するには助成制度の充実が大事（重要）である。</li> <li>・ 今後重要だとは思いますが、資金、土地、能力（若さ等）が必要であり自分には無理である。制度的な障害（相続制度、所有地の絶対性 etc）があり、土地集積が出来ないと効果は薄い。法人化や共同化の体制を整えないと難しい。</li> <li>・ 残念だが、農業後継者がいないなどで問 42 は回答できない。</li> <li>・ 市内の農業経営状況では導入不要。</li> <li>・ 就農人口が減少の原因は作業内容によっても収入が少ないから。むしろ赤字。</li> <li>・ 重労働からの解放など利点はたくさんあるが、個人では実施が容易ではない。（特に資金関係）</li> </ul>

歳代	性別	記 述
70	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スマート農業の意味が分からない。(4件)</li> <li>・ 少子高齢化の現状から進めると良い政策である。</li> <li>・ 省力化には限りがある。大規模化だけでは農産物生産拡大はムリ。家族農業が続けられるような施策が大事です。国連が提承する家族農業が主体となる方向を目指すべきと考える。</li> <li>・ スマート農業＝省力化の感じがする＝経済増大。品質向上、安全性の観点で取り組みたい。</li> <li>・ スマート農業を取り組みとするならば今のところ金額がかかりすぎる。行政からの補助金等があれば。私共も年齢も70歳を上回っている。</li> <li>・ スマート農業を行える人(法人)の育成とスマート農業従事者の世代交代にも対応出来る体制作り。</li> <li>・ 積極的に進める。</li> <li>・ 設備投資、パソコン等の能力があまりないので参加は望まない。</li> <li>・ 問44の件は費用対効果が上がらないものに対して誰が再投資しますか。もっと関係部署が農業に入り込んで経営環境、現状把握、夢がある農業を考えていかないと荒地が増加する。</li> <li>・ どんな制度? 農民にどんな効果を。</li> <li>・ 費用が増大する。(個人負担が大きい) 国と県がまずは推進すること。</li> <li>・ メーカーのやることは農業者側からすると無理なことが多い。作る人と使う人の考えが合っていない。自動移植機を使用してみても)</li> <li>・ 良い技術があることは分かるが、もっと安く日常的に当たり前に使えるようになればいいと思う。スマート農業は良い計画で実行したいが田をもっと大きく、水もすぐに何時でも入るようにしていく必要がある。</li> <li>・ よくわかりませんが、無人化、大型化、省力化等 AI の推進、開発が必要だと思います。</li> <li>・ 若い人に農業に関心を持ってもらいうえで欠かせない。</li> <li>・ ほ整備されていない地域においては考えられない。</li> </ul>
	女	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スマート農業という観点だけでは収益は上がりません。大規模化効率化です。</li> <li>・ 無農薬栽培を心掛けたいと常々思っています。</li> </ul>
	不明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハウス栽培の屋内での AI 管理は易しいかもしれませんが、屋外の「米」の場合のスマート農業を知りたい(GPS 設置のトラクター、田植え機? ですか?)</li> <li>・ 必要になると思います。</li> </ul>
80	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家事用の為、あまり考えたことはありません。</li> <li>・ 川越市で遊休農地を買い上げて思い通りに活用した方がいいと思います。</li> <li>・ 現状の状況を基盤に考えても、革新はない。革新な手法を TopDown 的に地域に投下することで、現在の状況の打破は出来ない。このような観点の意識調査をすべきである。</li> <li>・ 高齢なので関心ありません。</li> <li>・ 農業ふれあいセンター施設に増設。(伊勢沼まで 10 km)</li> <li>・ 農産物に対し農機が高すぎて手がでない。</li> <li>・ みつばの価格安定は前から入っています。</li> </ul>
	女	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老齢の為、特に希望無。</li> </ul>
90 以上	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭的に老人。次の世は若手、次に若手が老人になる。もう少し農地法にゆるみがあってなあなあで農地賃借ができればと思う。農家は農地法にしぼられ、固定資産税でいじめられ、戦後米の供出でいじめられ、今になって農家の保全是無理。戦後 70 有余年農業に従事してきた日の暮れた人間。</li> </ul>

問46 多面的機能支払い交付金制度について、お考えがありましたらお教えてください。

歳代	性別	記 述
30	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予算の決まりが多い。</li> <li>・ 記入項目、活動記録等の書式がわかりにくいのもっとスマートにして欲しい。</li> </ul>
40	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 寺山地区の委員では活用能力がない。</li> </ul>
50	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 減反を進めるなら、農地を雑木林にすることを認めるのはどうか。下草を刈り道路に枝葉が出ない程度に管理していれば交付金（管理費として）を支給する。虫取りや散策路など地域に開放すれば良い。自然も増えて脱炭素になるのではないかと。管理状況のチェックは農業組合がやればよい。</li> <li>・ 制度について何も知らないので意見なしです。</li> <li>・ 現在の農地の実態を現場で確認し適正に対応すべきと感じます。制度を有効に活用することが必要です。</li> <li>・ 交付金制度のついでにより詳細な説明を望みます。</li> <li>・ 費用対効果を厳格に検証すべきである。</li> <li>・ 農地の基盤整理。</li> <li>・ 農機具買うための補助制度があると良い。</li> </ul>
50	不明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交付金額の増額してほしい。</li> </ul>
60	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交付金制度はあった方がいいです。交付範囲の拡大。</li> <li>・ 交付金はやめた方が良い。頼りすぎるため、良くない。</li> <li>・ 交付金対応事業は、限界では。</li> <li>・ 残すべき農地、農業の再編成、住宅地が通った地域は農業する環境にないと思います。</li> <li>・ 農道、水路、河川の水止め（堰設備）の維持、管理を充実してもらいたい。水稻生産者が減少する一方、大規模農家を目指している人のために交付金を投入して行ってもらいたい。</li> <li>・ 未実施地区への早期導入。</li> <li>・ 立ち上げ方がわからない。</li> <li>・ 交付金が正しく使われているかどうかしっかり確認してほしい。</li> <li>・ いつ、だれが、場所になぜ申請をしたのか、物事が進んでいること。交付金の支払いについて、例えば4月に用水路清掃をした後、申請してからどのくらいに時期に支払するのか。</li> <li>・ 交付金額の増額が必要と考える。</li> <li>・ 市街化区域内の水路が対象になっていない。生産緑地して維持するのであれば市街化区域内の水路も整備する必要がある。</li> <li>・ 意味不明です。もっと広報が必要では。</li> <li>・ 言いたい事はたくさんありますが、何といたっても食料を生産する農業にもっと力を入れてほしいです。機械を買うときの補助金、助成金とかも。認定農業者になっても何もならない。</li> <li>・ 多面的機能支払い交付金制度が知らないしわかりません。</li> <li>・ 水路の整備、農道に保全に交付金を支援していただきたい。</li> <li>・ 農業経営上の国、県、市からの支援金等も含め情報発信をメールなどで知らせしてほしい(市民センターも多いに活用していただきたい)。</li> <li>・ 耕作放棄地対策</li> <li>・ 参加農家への給料性であれば良いが交付金制度では魅力がない。</li> <li>・ 多面的機能支払い交付金制度についてはわかりません。</li> <li>・ こんな制度がある事を今知った。このような制度をタイムリーに知れるようになってほしいと思った。</li> </ul>



歳代	性別	記 述
60	不明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在、上記の役員をしており、草刈りの中心となって動いています。草刈り参加者が平均 65 歳、草刈り機担当者の平均が 67 歳、あと数年は何とかなりますが、次世代にバトンタッチできそうにありません。先を見越した対策が必要だと考えます。</li> <li>・ 高齢化、少人数化の補助として必要だと思う。</li> </ul>
70	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業者に対して説明不足の為、内容がよく分かりません。支援の条件、受け取りの方法など具体的に農業者に説明してほしい。</li> <li>・ 農地は農業生産以外の多面的価値がある。例えば雨水を調整してゆっくり河川に放流するダムの機能や色々な生物（昆虫など）が生息している。自然環境の維持に貢献している。</li> <li>・ 交付金額が少ない。草刈等に出る交付金を業者に委託してやってもらう。</li> <li>・ 当地域では 2～3 年前前から取り組んでいるが、一向に改善の余地が見られない。もっと行政の指導が必要と思われる。</li> <li>・ 申請手続き等が毎年のように変更があり、より頻繁になってきている感がある。より統一感が必要である。</li> <li>・ 地域の農業生産の向上拡大に役立つと考えます。</li> <li>・ 農業に対して交付金が減少している。</li> <li>・ トラクター 50 万馬力が 1 台 1000 万、青地のみで白地農地がない農家は 100 万円の貯金もないのがほとんどです。今の若い人は車の自己所有しない人が利益のない農業に投資しますか。机上の話ばかりで論外。</li> <li>・ 何のことも特別な人のほか、このようなことは承知していないと思います。小生には何のこともわかりません。</li> <li>・ 地域全体に使用されていない。</li> <li>・ 農地、農道等の整備の維持は大変重要と考えております。今後も継続してほしいと思います。</li> <li>・ 農家の高齢化はますます高まっている。川の藻刈り作業等、昔から共同で行ってきたが、体が弱り出られない人もいる。そういう人からは金銭を要求しているが、これからは共同作業は無理なので交付金で業者の方に行ってもらいたいと思います。本来は荒川古岸の仕事だと思うが。</li> <li>・ 補助整備を行い、農業法人を設立し又、補助を行い、稲作を支援していただきたい。</li> <li>・ 水路堀の機械（ユンボ）を購入して貸し出ししたらと思います。</li> <li>・ 市の道筋がよく見えませんが。</li> <li>・ 機械の購入費用に利用させてほしい。</li> <li>・ 多面的交付金について。人件費のみ支払うのではなく最低程度の機材を購入する金額も。</li> <li>・ 地域の人たちを交流もはかれ良いと思う。私たちの組合には事務に明るい人がいるので大変助かり運営しやすいが、事務手続き等の簡略化も必要と思える。</li> <li>・ 報告書の簡素化（農業従事者が順応できるスペックにすべき）</li> <li>・ 必要な所へ集中して予算を使ってもらいたい。</li> <li>・ 現状の運用を望みます。</li> <li>・ 交付金は基本的に税金から出すことより、不公平になることにより反対します。</li> <li>・ 年々増加する休耕農地を管理する組織を行政と JA は共同で作ってほしい。</li> <li>・ 現状、地域内で取り組みをしている。行政に支援には感謝している。今後も取り組みやすい支援をお願いしたい。</li> <li>・ 遊休農地の草刈りに利用できないでしょうか。</li> </ul>

歳代	性別	記 述
70	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多面的機能支払い交付金制度は、我々農家にとり有効な制度と思われます。しかし、あまりにもチェック体制が正確性（税金を使うこと）を求められて、農業の合間にやれるほど時間を大きくとられています。制度を農家の時間がない時は本当に大変です。</li> <li>・ 多面的交付金制度は大変重要な制度。市民に分かりやすく知らせ機能の充実を図ることが農業を守ることにつながる。</li> <li>・ 施設費や資材費の補助が必要です。</li> <li>・ 今後も交付金制度を続けていただきたい（短期的な取り組みでなく）。</li> <li>・ 後継者が一番望んでいることが何かがわかっているのか。結婚しやすい環境づくりも必要かと思います。</li> <li>・ 制度についての内容が十分理解できていないため、今後検討したい。</li> <li>・ 行政と話し合いたい。</li> <li>・ 経営規模を拡大するには、整備され効率よく耕作できる必要がありますが、整備されていない農地は、引き受け手がいないため、耕作放棄地になります。兼業農家が農業を続けられるように農業機械（トラクター、田植え機、コンバイン等）の共同利用ができる仕組みを作っていただきたい。</li> <li>・ 高齢化に伴い、離業します。地域の方々の協力が必要不可欠です。</li> <li>・ 交付金があるのなら下水道に使えばいかがですか。</li> <li>・ 文字通り、水田の多面的機能を維持するためには、用排水路の整備が不可欠です。用排水路整備につかえる交付金に重点をおいてほしい。</li> </ul>
	女	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無知のため、どういう交付制度があるかもわかりません。ちなみに専業農家でないと利用できないのではないかと考えています。機会がありましたらお知らせいただきたくお願いいたします。</li> </ul>
	不明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 難しいですね。</li> <li>・ 金額が低いと思います。</li> <li>・ 2期目の1年が終了。2年の活動中。毎年3月提出（活動報告・会計報告）の書類が多く又難しく大変です。もう少し簡素化を願う。</li> <li>・ 金の使い方が良くわからない点がある。</li> </ul>
80	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各地の。</li> <li>・ 交付金日本の国が 1,000 兆もの借金があるので交付金などあてにできないのではないのでしょうか。</li> <li>・ 足りていない。</li> </ul>
	女	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農道路の幅の狭さや水路の悪いことが理由で田んぼを借りてくれる人もなく、何も作らない人もなく、何も作らない草など沢山生える為、除草代や草刈りなどにかかる費用が大変です。そういう場所は使う人がいたら売ってもよいとだけできません。</li> </ul>
90	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農地全部売りたい。</li> </ul>

問47 川越市において「最も力を入れるべき農業施策」についてご意見がありましたら自由にご記入ください。

歳代	性別	記述
30	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地産地消</li> <li>・ 農業の跡継ぎや農家を守っていくため、婚活支援や女性に農業に参加してもらえるような活動が必要。農家は家業なので結婚や出産、子育て支援など重点的行うべき。</li> <li>・ 有機農業の推進</li> <li>・ 近所の農家が夫婦で 300 アールほどやっているが、正直あと 10 年もすれば耕作放棄地になると思う。現状でも草が生えていて整備されているとは言い難い。その農地を買いたいけど資金的にも限度があるし、もし借りるとしても、いつまで借りられるのかわからないという不安もある。今後農地を譲渡できる法律も必要ではないかと思います。また、この問題は川越市だけの問題ではないが肥料や資材、燃料の価格が高騰しているわりには野菜の価格はこの 10 年の間にも落ちている。野菜の価格のベースアップと農業コストにおける補助金も検討してほしい！野菜が安くて当たり前という消費者のイメージを払拭してほしい。</li> <li>・ 新規就農事業</li> </ul>
40	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業の担い手による効率的かつ円滑な営農を実現させる為、農地集積、集約化に反対する地権者への注意喚起及び罰則の強化。</li> <li>・ 霞ヶ関地区にも直売所があっても。</li> <li>・ 農業ができなくなった人々の土地活用の支援。今後増加し空き地増大。</li> <li>・ いらなくなった田んぼを何とかしたい。</li> <li>・ 規模拡大しようとしている人への補助。</li> <li>・ 資材、肥料の補助。</li> <li>・ 農産物のブランド化</li> </ul>
50	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業からの脱却。</li> <li>・ 農地区画整理、雨水調整池</li> <li>・ 川越市から全国に出荷できるような特産品を考えてほしい。さつまいも+α。大農家（専業）だけでなく零細農家（兼業）も参加できるようにしてください。</li> <li>・ このアンケートを基に農家をまわって意見を聞いてみると農業施策が見えてくると思います。アンケート→集計→報告は大変時間がかかりきつい仕事ですが、その先に動かないと何も変わりません。平成 30 年度に参加した「農政モニター」での意見がどう何かに反映されたのか報告してほしいです。</li> <li>・ 耕作放棄地削減。営農しない地主から農地を取り上げられないか。</li> <li>・ 野菜の値段が安すぎる。</li> <li>・ 補助金</li> <li>・ 農道整備。雨が降ればぬかって軽トラが滑るところが多い。ぜひ拡幅、舗装工事を進めてもらいたい。</li> <li>・ 後継者育成を見据えた取り組みがポイントと感ずります。農業離れを如何に喰いとめるかが現状の課題を認識し対応する。儲かるすべを作ることがすべてと感ずります。工場のような機械が生産するのではなく人間が気持ちを込めて生産するのが農業である、モチベーションを高められる施策が必要であります。よろしくお願ひ致します。</li> <li>・ 農地所有に対する固定資産税の免除を望みます。</li> <li>・ 農地の保全、活用の自由化。</li> <li>・ 儲かる農業方法を教えてほしい。</li> <li>・ 水田においては、圃場整備及び農道整備並びに水路整備。水の入りの悪い水田、狭く路面の悪い農道に面した水田は、作業を請け負うのが難しい。</li> </ul>

歳代	性別	記述
50	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の農業収入では、仕方なく農業を続けているのが現状ですが、土地を借りてももっと米作りがしたいと思えるくらいの収入が見込めるのであれば、大変でもやる気のある担い手は増えると思いますし、増やさなくてはいけない！日本の農業衰退を止められるかは川越市に委ねたい。</li> <li>補助金に頼らない農家の育成。</li> <li>市として農業に対するビジョンを明確にして欲しい。規模を拡大するにも、自分で販路まで営業しなければならないとなると積極的になれない。</li> </ul>
	女	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業のことは全く分かりません。使用していない土地は病院等の何かに使用してはいいのでしょうか。例えば埼玉医大の近くなりハビリセンター、介護等の建物にする。</li> </ul>
	不明	<ul style="list-style-type: none"> <li>機械を購入し、借金を返済しながら赤字経営をしている現状です。機械を買ってまで続ける仕事ではありません（借金が増えるだけ）。農業を推進する方向を考えてほしいです。</li> </ul>
60	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊休農地の有効利用</li> <li>農道、整備、道が狭い。</li> <li>生産指定の条件を無しにして全ての市街化区域の農地について希望があれば指定できるようにしてほしい。</li> <li>市が中心となって変形している田や畑を正方形や長方形になるように企画を考えてほしい。</li> <li>農地を必要とする方への売却や賃借を市の政策として取り入れる必要がある（このアンケートは農業経営をしている方用であり、農地は所有しているが経営していない方には難しい）。</li> <li>食料自給率 38%。しかし生産に必要な資材は、ほとんど輸入に頼っている。本当の自給率といえるのでしょうか。</li> <li>農業専属米作り。公務員募集し農地を守る。川越から全国へ。モデル農公務員制度を広げてください。</li> <li>現在の施策の延長の対応のはなし、新たな対応、組織が必要ではないか。（小麦等の購入による物価が安いという理由だけでなく国内で長期での対応が必要（一時的な赤字をおそれない）。</li> <li>遊休農地の維持管理（保全）</li> <li>霞ヶ関地区（八瀬大橋付近）の耕作放棄地を解消するための農地開発について以下を要望します。ほ場区画整備事業、農産物直売所、観光農園の整備、農業法人の積極的受け入れ。</li> <li>農道及び水路の整備</li> <li>今後水田の保全と米作に必要な施策として農業経営法人の設立及び水田の集約化（3反～5反/1枚）が必要と考えます。例えば5軒の農家が共同で100haの水田を耕作するなどです。</li> <li>担い手の確保。担い手への農地の集積</li> <li>耕作放棄地対策とその土地の有効活用</li> <li>農道の整備</li> <li>用水路の管理。流れていけば良いと思っている職員の方もいますが、現状をよく見て適切な対応をしてもらいたい。空いた土地に建物ができる場合の水質管理。</li> <li>多様な担い手、農地の田面的機能については色々な場面で取り上げられるが、定年帰農し、専業農家となり、日々勤しんでいます。現状全ての施策が認定農業者、地域の担い手の為であり、多様な担い手への施策は皆無のように思えます。川越市の田園風景が次世代への引き渡せるよう埼玉方式の基盤整備まで拡大しなくても道路、水路の整備をいち早く取り組むことを望みます。</li> </ul>

歳代	性別	記述
60	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農道、用水路整備</li> <li>・ 平地林の維持について。農家が平地林の維持ができなければ問 21 にある有機農業はできないのではないか。</li> <li>・ 地産地消の魅力 UP。資材高騰への対処をお願いします。</li> <li>・ 生産から消費まで結びつけるため、JA 直売所の有効な活用を図り、行政の支援策を更に進めるべき。</li> <li>・ 農業経営の安定に向けた施策の充実に大いに期待します。</li> <li>・ 水の消費が減少している状況で、今後も水田から作物が減少することが予想される。水田の畑地代を考えていくべきだと思います。</li> <li>・ 特産品のブランド化へのアピールに力を入れる。</li> <li>・ 米価の下落が止まりません。輸出を進めてほしい。世界一美味しい日本米が余っているってどういうこと。行政は何をしているの。農協が価格を決めているってどういうこと。</li> <li>・ 荒地をなくすことが重要であるが、赤字になってしまう農業では農家としても農地の保全には限界があります。最近家庭菜園を楽しむ市民が増えています。農業を楽しみながら自分で作る安全安心な野菜作りを通じて農業を理解してもらうことは大変重要であります。このことから次の施策を進めるべきだと思います。一般市民に家庭菜園として農地を貸し出し、荒地をなくしていく（減らしていく）。市街化調整区域の農地でも「畑付き住宅」を提供できるようにしていく。一般市民も役所も農家もみんなが WinWin になるような施策を進め、荒地をなくしていきましょう。</li> <li>・ 大仙波地内の砂利道の整備を強く望みたい。1 年に 1~2 回は平らにするようにブレードというのか、機械というのか、車というのが分からないのですがそんなに経費はかからないと思うのですが。コンバインやトラクターの通行に支障があるほどなのです。</li> <li>・ 工業団地の大型化に伴い田畑へのごみの投げ捨てが多く特にビン（栄養剤）は欠けて困っている。</li> <li>・ 農業の継続可能な発展のために地産地消の推進、川越産産物のブランド推進、多様な担い手の支援については市の支援をぜひともお願いしたい。今後川越市の農業の発展について、もっとも重要なキーワードだと思います。</li> <li>・ 継続できる条件は効率化（人手不足、価格を考えると）考えます。</li> <li>・ 若い人が農業をやりたくなるのは価格の上昇だけです。一生懸命にやってもどんどん苦しくなっていくのはどういうことでしょうか？農業に未来はないと思うのが本当につらい。</li> <li>・ 生産緑地以外の農地もなるべく残るように税金の軽減などお願いします。現市長は市街化に農家が残っているのが煩わしいと思っておられる気がします。考えを公表してください。</li> <li>・ 川越市が力を入れるべきか疑問がありますが、お米（コシヒカリ）玄米が 30 kg 数年前~昨年まで 3,500 円~4,000 円でした。お米農家にとってあまりにも安すぎです。これでは農業をやれという方が無理です。仲買人が 10 kg 3,200 円ほどで売る？何かおかしいような気がします。もっと生産者を大事にしてください。時給 ¥200 で農業はできません。</li> <li>・ 頑張っている若年農業者に対しては、補助、助成に関し充実させ要件等を簡素化するべき。</li> <li>・ 水田（米作）農業は歴史が物語っているように生かさず殺さずで発展（儲からない）はないので農業施設よりも地域環境開発により調整農家より市街化農家に変身して発展（儲かる）農業を目指したい。</li> </ul>



歳代	性別	記 述
60	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業経営は無理(特に米作り)。最後は畑、田んぼ草だらけになる。</li> <li>・ ニーズにあった農作物の奨励を進めてもらいたい。</li> <li>・ 新しく来た住民の方々に農業の理解をしてほしい。</li> <li>・ 機械への補助金の充実をお願いしたい。人で不足への支援。かんがい設備への支援。住人への理解(消毒や他)</li> <li>・ 農面道路の整備。車幅が狭く車の通行に危険。</li> <li>・ 山田地区は水田が多いが、水路整備が十分でない。荒川右岸事務所に相談しても回答が得られず、「市にも要望を伝えた」で終わってしまう。</li> <li>・ 農業基盤整備</li> <li>・ 農業が儲かる農業</li> <li>・ 休耕地などを利用して受給率上げる。</li> <li>・ 地域の強みを生かしたブランド生産物が必要 参考にサツマイモ。</li> <li>・ 農地保全</li> <li>・ 米耕作 388a で JA 出荷で約 390 万円で経費を引くと約 50 万円では生活は出来ない。また 7 月から肥料も 150%と大幅 UP では米農家の廃業が増加するのでは？市役所では何が出来ますか？</li> <li>・ 農業公社等の設立</li> <li>・ 川越市の農業施策で、古谷地区は「農業振興地域」となっている。我が家は、将来的に、高齢化と後継者不在で「離農」を考えている。今後、心配・懸念されるのは、所有している田畑の荒廃(耕作放棄地となってしまうこと)である。現状を考えると、農業に従事(拡大)したい人は、農地を買わなくても借りればよい。例えば、米作りにおいては、米作りをしない農家から、小作料なし、(荒川右岸用排水に係るお金は地主払い)で、借りられる。まだ、借りてくれる人がいればよい。今後、近隣での高齢化が進むと、借り手が不足し、大変な状況が予想つく。(多少なりとも田・畑を所有する地主サイドから述べると、)買い手がなく売れない田・畑の固定資産税金(優遇されているが)を支払う、米作りの面積に応じた荒川右岸用排水に係るお金を払う。草刈り等できずに耕作放棄地となってしまう状況を作りだしてしまう。</li> <li>・ 時代の変遷とともに、行政の作る計画が、ある市民にとって試練となるような事態は避けてほしい。農地における需要と供給のアン・バランスの検討から始めてほしい。農業に対して人々の魅力がないのがそもそもの問題である。(農家に生まれてこのようなことを言って恥ずかしが。</li> <li>・ 省力農業は毎年度投資と収入は見合わず赤字、周辺は放棄農地が散見。早期に農地改革が必要転換期と思う。</li> <li>・ 川越市は農地が減り宅地が増えているようなので、農業者はトラクターをかけるのも音を気にしながら耕運している。裏を返すと宅地が増えて消費者が増加していると言う事なので、収穫した野菜を新鮮なうちに販売できるメリットもある。個人が庭先で販売するのでは品揃えも偏ってしまい魅力に欠けるので、各地区に農産物直売所を設けて販売機会を増やし、小さな畑で採れた少量の野菜でも販売できるようにしたら良いと思う。</li> </ul>
	女	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後継者もなく、寡婦となったため、農業継続が苦しい状況です。地区内の農家も近郊の都市化に伴い、農業規模は年々縮小している様子です。ただ、今後の農作物の輸入が不安定となるであろう状況から、出来るだけ自給率を上げるため、農地の保全の施策を考えて頂きたい。</li> <li>・ 個人としての農業経営をしている方が多く、協力性に昔から欠けている。川越市として皆が同じ方向を向いて頑張り、豊かな生活を皆が同じようにできることを願います。</li> </ul>

歳代	性別	記 述
60	女	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウクライナ情勢やコロナ禍、さらには急激な円安により輸入（食）品が急騰している。食品安全保障の視点から農作物の国内自給率向上は早急の課題です。しかし実態は米価が下落し、逆に肥料など生産物資の上昇によりこのままでは日本は大変なことになってしまいます。食糧の自給率アップと農家支援は待ったなしです。</li> <li>雑木林や畑が住宅地や資材置き場となり、緑がどんどん減ってアスファルトで固められた川越市になりつつあるのがとても残念です。税金を投入しなければならないような人口増加（税収の増えない）と自然環境の破壊。雑木林からの恵みを大切に農地保全を考えてほしいです。</li> </ul>
	不明	<ul style="list-style-type: none"> <li>米の価格が上がればすべて解決することです。収入が得られれば人は集まり、パトタッチも可能です。仕事として今は「完結」できずにいます。「高く売る努力」を自分自身もしていないのでやむを得ないとは思っていますか。</li> <li>川越市型農業の構築。</li> <li>農業経営の安定、年々米価の値下がり</li> </ul>
70	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>市のレベルとしては、ブランド化の推進と思う。小江戸米や小江戸野菜等のキャラクターやシール、ラベル、旗のぼり等具体的に検討願いたい。</li> <li>農業地の保全に力を入れてほしい。調整区域は、農業関係の保全のために作られた制度であるにも関わらず、調整区域に住宅を建てられると農業を抑制する方向に向かってしまっている。農業委員会事務局農政課は農業者、つまり農業を守る立場でいてほしい。</li> <li>私たちは、年なので今更農業したいと思わないです。</li> <li>農業では生活が出来ない。息子もいるが厳しい。高く土地を売りたい。</li> <li>生産者米価が低下しているので、大規模農家が不安であると思う。米価を買い支える制度を考えるべきと思う。ほ場整備などのハードの充実により、大規模化と生産効率を支えるべき。</li> <li>2年前より農機具が次々と壊れ米作りもやめました。あちらこちらで草の生いた田んぼを見受けます。何か活用できたらと思います。</li> <li>農地が調整区域等、売却が無理である。売却したいとか色々あると思うし、早めに整理したいが、そのような相談や AC などもっと力を入れるべきだと思います。次世代が農業やらないので困っています。</li> <li>市というよりも国として食糧安全保障として農地の保全に努めるべきと思う。食料自給率の低い日本として早急にその向上に努める必要があると思う</li> <li>行政と生産者で話し合いが必要。とにかく我々はどうしていいかわからないのだから。</li> <li>家庭菜園程度の為、アンケート内容に当てはまりません。申し訳ございません。</li> <li>川越に来る観光客が、帰りに農作物をお土産にするような直売所の充実、土産品の開発</li> <li>耕作放棄地への支援と対策</li> <li>地域の中で経営の拡大、生産品目の拡大、生産量の拡大を志向している農業者が、容易に農地を入手できる、あるいは借用出来る施策を進めることが大切と考えます。</li> <li>国、県、市町村、本気で取り組むこと。この種のアンケートを何度もやってきて今まで行政の方からアイデアの提出があったことは1度もない！！今、農業を継ぐべき農家の長男さえ他産業に従事し、何世代も続く旧家か、荒地と化していく現状に行政が「桃」をやりますか。「柿」ってやりますか？何をとぼけたアンケート本気でもっと現状を考える。</li> <li>米、野菜のブランド化</li> </ul>

歳代	性別	記 述
70	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業所得の増大、農業従事者の育成、ブランド米</li> <li>・ 農業所得向上における施策</li> <li>・ 農機具の補助金を支援してもらいたい。</li> <li>・ 後期計画の参考にするというものの設問事項が多く、非該当事項も多くアンケートと言っては欲張りすぎ。調査結果の公表は。協力者に変換は。</li> <li>・ 衣食住という言葉があります。衣と住はすぐに生命に危険はないが食は1日でも欠けると生命に危険が生じます。食料について安ければ外国のものでも良い、また販売店での安売り対象について考え方を市民に勉強してもらう必要があるかと思えます。</li> <li>・ 水田農業における圃場整備、以前の米価の半値のような状態では経営も成り立たないし後継者も出てこない。</li> <li>・ 治水対策を考慮し用排水の整備に努める。荒川右岸水利組合（巨丈代）による弊害あり。特に府川地区、岸田地区の水路堰の撤去。</li> <li>・ 宅地並の課税農地の扱い、中止、耕作させる。</li> <li>・ もっと規制緩和をしてもらいたい。</li> <li>・ 農地を借りる人が貸す人（自分で農業ができないため）からお金を取ってやっており、その金額が個人により異なっています。要するに「できないのならやってみるからお金をよこせ」という態度。また口約束なので水利費やポンプの電気代などはすべて貸す側が支払っている状況です。また農業委員会を通さないで、その人の子どもは自分の家の土地がどこかがわからなくなってしまいます。たとえ分かったとしても他人が耕作していれば返してほしいと言えなくなります。また耕作権を主張する場合もあり、大きな問題が現実起きています。ぜひ土地の貸借の場合は必ず農業委員会を通すよう指導してほしいです。</li> <li>・ 市内の水田、平地林、畑の保全と活用。農地は誰のものなのかを考え教育に反映させる。</li> <li>・ 農業経営について。一農家が田植えの時期、刈り取りの時期それぞれ機械を所有しているので、機械代金が農業収入を上回っていると思われる。これでは農業を継続する人がいなくなります。機械を共同で使用できる仕組みを考えるべきである。そうすることにより機械代金の減少につながり、農家を守ることもでき、農業を継続する人も出てくると思います。</li> <li>・ 市街化調整区域である農地に単価（土地）が安いうちに基本道路計画を策定、実行すべきです。隣の家に行くのに500mも廻ることがなき様。</li> <li>・ コロナ禍、ロシア・ウクライナ紛争で肥料、資材等が急騰しています。至急、援助、緩和策を創設してほしい。</li> <li>・ 農地売却への簡素化</li> <li>・ 担い手の育成</li> <li>・ 耕作放棄地の解消</li> <li>・ 青地に指定して区域については、ほ場整備または再ほ場整備事業をぜひ進めていただきたい。下広谷地区は必ず進め、計画に盛り込んでほしい。</li> <li>・ 稲作栽培による水路整備を至急検討いただきたい。特に鴨田地域の現状を見て戴きたく。</li> <li>・ こまめな情報発信</li> <li>・ 小規模農業の拡大、人材の流入努力、農地の利用拡大</li> <li>・ 米の価格が上がればすべて解決することです。収入が得られれば人は集まり、パトタッチも可能です。仕事として今は「完結」できずにいます。「高く売る努力」を自分自身もしていないのでやむを得ないとは思っていますか。</li> <li>・ 川越市型農業の構築</li> </ul>

歳代	性別	記 述
70	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業経営の安定、年々米価の値下がり</li> <li>・ 市街化区域内の農地保全。地以内のニーズにあった作物を考える。生産緑地制度期間延長 10 年単位では高齢になると先が見えないので期間を短くする。耕作放棄地を活用した施策。平地なのでメガソーラーを作りやすいので誘致するなど。</li> <li>・ 国は有機農業を 20%以上にしようとしているが、川越市の施策に我々には見られません。どうぞ孫子の代まで薬漬けの農業ではない農業にしていけるよう助言が必要と思える。</li> <li>・ 食料安定生産のための条件整備</li> <li>・ 今のままの米価では農業が続けられない。国に米、麦、大豆等の価格保証と農家、特に若い農業後継者への所得保障を行うよう政府に要請すべきです。川越市にもできる農業後継者支援の方法を考え実行すべきです。</li> <li>・ 市民農園、農家民泊等々すべて良い施策と思いますが、変わった農業に取り組むと税務署がすぐ眼をつけて嫌な気持ちになるので表向きにはやりたくない。</li> <li>・ 農地の地価が安い時に農道の拡幅が必要です。農道を拡幅することによって便利になって土地の有効利用ができます。少なくとも 6m 以上。</li> <li>・ 農道整備</li> <li>・ 農産物の価格の安定</li> <li>・ 今の米作りで利益を出している農家は何%になりますか。これでは農民の通帳が底をついたなら離農。これを国は望んでいるのでしょうか。元気のある若者もいます。援助と仲間づくり、指導を広く知らせ輪を広げて楽しめるようになれば良いですね。</li> <li>・ 農地の保全、安定した農業経営</li> <li>・ 我が家の農地はすべて休耕地で申請してますので、このような質問をされても答えようがありませんので、次回からは”なし”をお願いします。</li> <li>・ 農業従事者の高齢化が進んでいない。組織化・法人化に移行する等の指導をお願いしたい。</li> <li>・ 新住民と交流を持ちたい。</li> <li>・ 持続化、不可能状態です。資金繰りに苦慮しています。</li> <li>・ 耕作放棄地の取締り、改善指導強化。休耕農地の取締り、改善指導強化。圃場整備。</li> <li>・ 農地の蚕食的宅地化で農地集約化が削がれることに対して施策を進めていく。</li> <li>・ 労働時間に見合った収益の確保！政策</li> <li>・ 昭和 45 年から農業（米作）しているが当初より減反政策に翻弄された経営でした。数えきれないほどいろいろな政策、施策がありましたが、成功したもの何ものもなし。どれほどの金と労力をかけたか。平成 25 年には減反政策はやめますとのこと。これからの農業（米作）は、仕事のしやすさ（面積の集約）と高所得。（ほっとけば米価格はアップする。作る人が減るから）仕事が楽になって、儲かれば担い手など探す必要ない。（生活のできない仕事など誰もやらない）今はまだ面積の集約などできない。10 年から 15 年過ぎれば耕作放棄地が 2 割 3 割になる。農家から（行政でない）何とかしようの声が出るまで待つ。（農業基盤整備、規模拡大、農地の集約、一番早く目的に達する）行政はそれまで口も手も金も出さない。面積の集約に関する農地の所有権を含む諸問題を研究する。固定資産税の高額化など根本解決にならない。やめる農家の相談窓口を作る。後のことを考えると。農地の管理、売るか、貸すか、放棄地にするか、農機も安く引き取りされる。物置も何か利用できないか。農地は 2 階 3 階にはできない。10 町歩の農家を作るには 9 軒の農家がやめなければできない。やめる農家を大切に。うちの農地あなたに全部任せます位の、相談に乗れないかな。</li> </ul>

歳代	性別	記述
70	女	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業農業の促進</li> <li>・ 20代、30代の後継者の育成。10年後には農業は壊滅となるかも。</li> <li>・ 私共は医療従事者で農家をしたことなく土地は草との対等で300坪の土地にビニールを強いて現在管理してまいります。土地を買い手がいても農地はダメと言われ許可が下りず困ってます。</li> <li>・ 耕作をしていない土地が近くにたくさんある。このような土地をまとめて作付けをしてもらう（そばとか小麦等）ことはできないものか。後継者がいないので土地そのものが不要である。</li> <li>・ 農地も持っているが農家をやっていないので、すみやかに農地を安心して売却できるようにしてほしい。</li> <li>・ 農業の従事者が高齢化しているので担い手の確保、育成等に力を入れてほしいです。（企業、個人を問わないので）</li> <li>・ 遊休農地、耕作放棄地についての対策。</li> <li>・ 農道への理解をお願いします。砂利をすいたりして酷いところもあります。農業機械が入れますように。乱文乱筆ですみません。どうぞよろしくお願い申し上げます。</li> <li>・ 農産物だけでなく、これから米作りをしていく中で肥料等、生産資材が値上がりとの報告を受けていますが、何らかの形で行政として支援等を希望いたします。</li> </ul>
	不明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利益が上がる農業です。</li> <li>・ 衰退する農業を守れる自治体になってほしいです。</li> <li>・ 水田、作業環境、水、水路。畑、作業のしやすさ。</li> <li>・ 生産物の価格安定とともに生産物の出来高払い（国として）を行うべきである。</li> </ul>
80	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農地改良、農道の拡張</li> <li>・ 民家のできる農地を外せばよいと思う。</li> <li>・ 農振地域の再設定</li> <li>・ 問29の通り相続で隣の土地や所有が変わるとき、開発で住宅地になる前に不動産会社からの説明や売買に関する話が全くないため、農道が狭く、農機具の出入りができない状況で困っています。その農地に入れない。米も作れない。生産緑地として継続しようとしてもできない状況です。今後の市街化が心配です。川越市の生産緑地担当の課と開発担当の課で連携して、生産緑地を継続する側の立場も考えて対策とってほしい。</li> <li>・ 休耕地を借り上げ、定事運転者（シルバー等）含めて保全生産を高めてほしい（野菜類など）。</li> <li>・ 当該農地は現農業施策では将来の発展は困難です。従来の線引きの修正検討をお願いします。</li> <li>・ 農業ふれあいセンターの増設</li> <li>・ 農地の所有面積が少ない（3反～5反）人はトラクター等の機械が破損した場合は、機械が高額の為耕作の徹底を考える。その時の相談窓口を希望。</li> </ul>
	女	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今、娘2人（結婚している）の名義になっている10の畑があるのですが、東西南北全部家があるのですが、この畑だけ調整区域となっているため、売ることも出来ません。管理するのも大変です。こういう場所はなんとか市がいかんしていただけないでしょうか。皆さまのお力で宜しくお願い致します。場所は小江戸農協駐車場のすぐ南側ですので宜しくお願い致します。</li> <li>・ とにかく稲作専門農家ですので機械の費用が大変で赤字です。肥料、農薬等も高いです。」これからの稲作は大型化しかありません。米も安すぎます。</li> </ul>



歳代	性別	記 述
80	女	・ 農業に従事する人がいないので農地の委託などの制度ができたらありがたいです。
	不明	・ 川越市が農業振興にどれだけ注力されているのか全く分かっていません。それが実感できなければこの先のことを申し上げることは何もしません。
90 以上	男	・ 農業中止のところは市街化にしてほしい。 ・ 家族経営や高齢者経営などに力を入れるべき。